

( 図 表 集 )

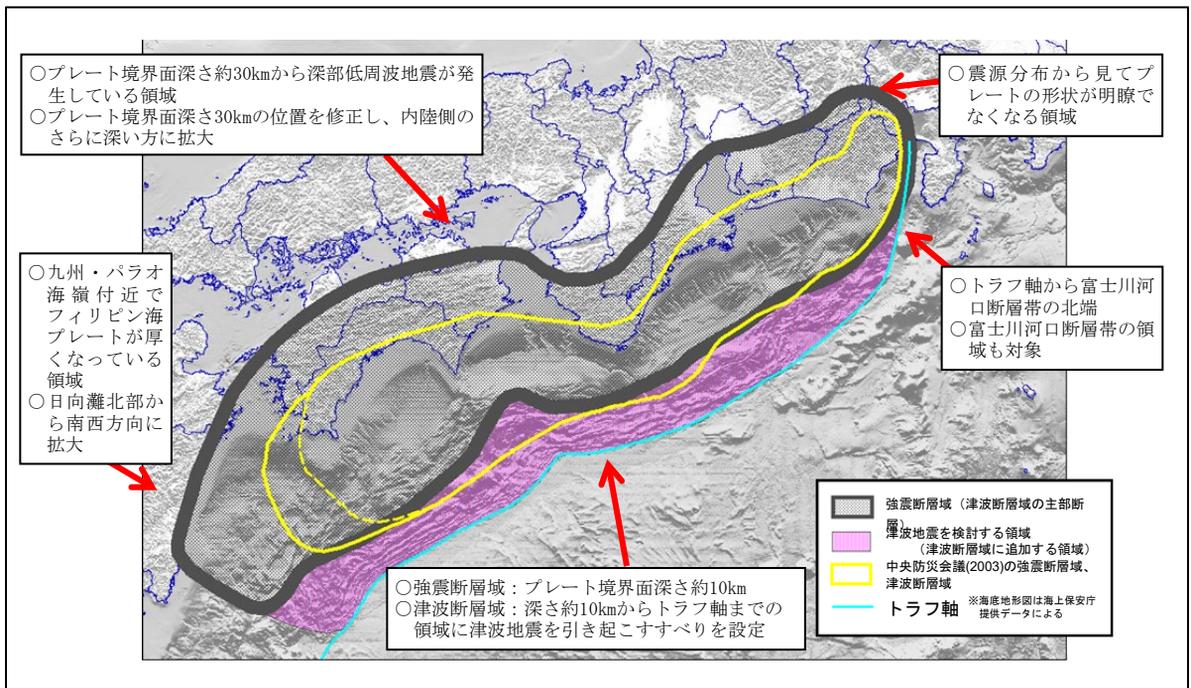


図2.1 南海トラフ巨大地震の想定震源域

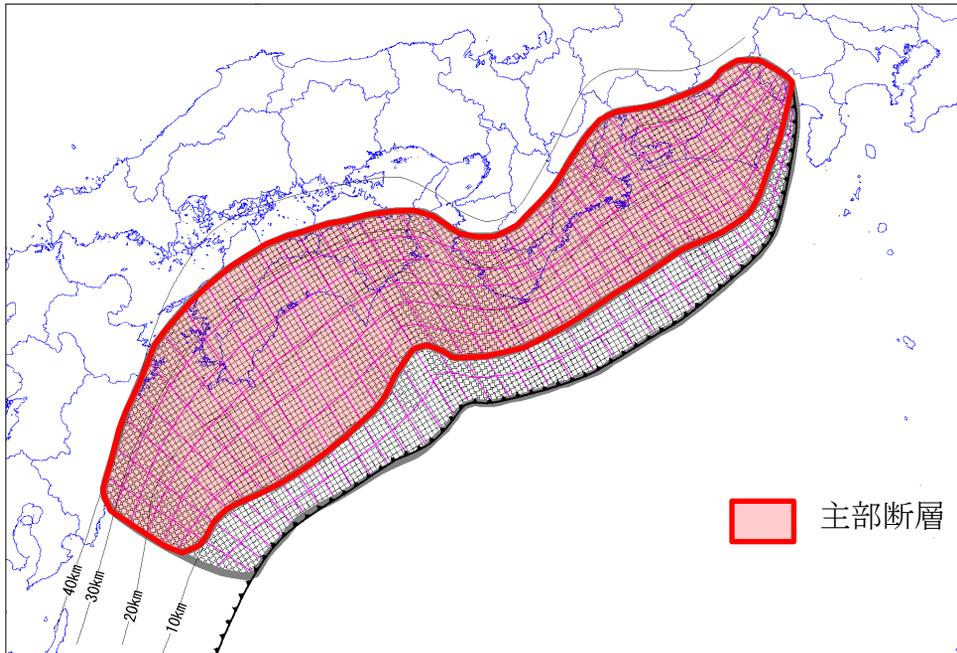


図3.1 津波断層面の設定  
深さ10 km以深の領域が主部断層

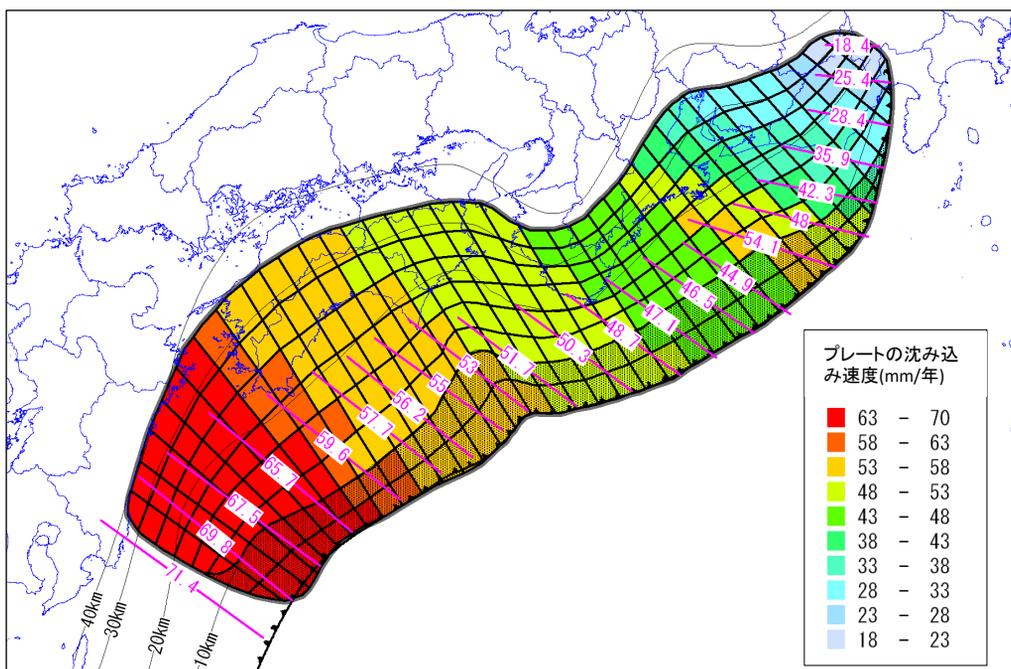
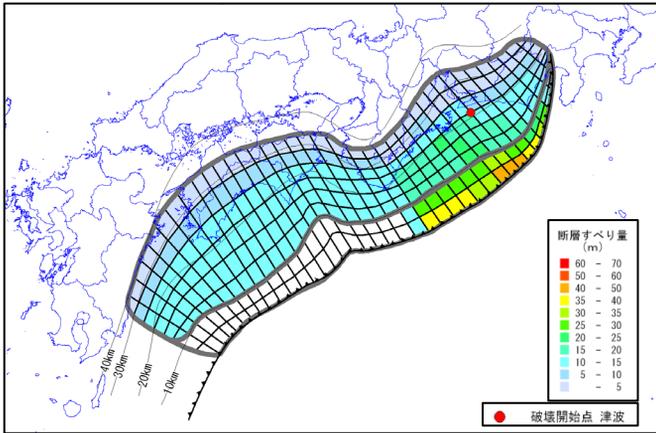
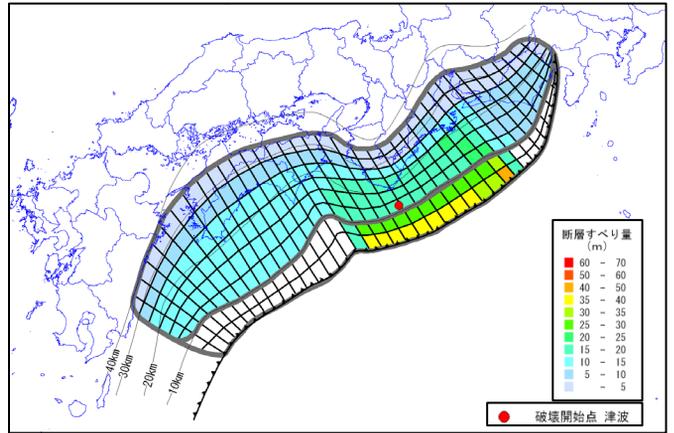


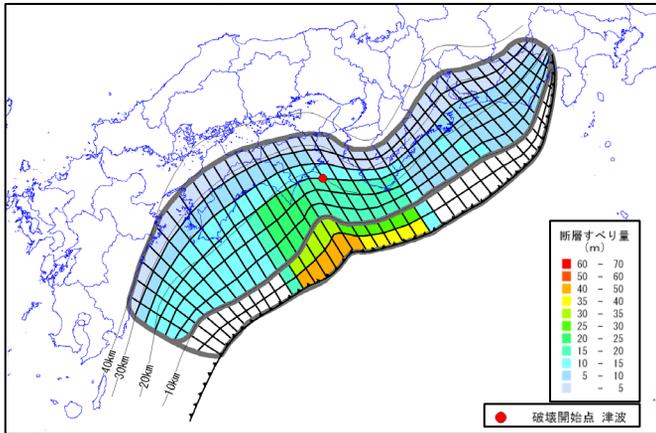
図3.2 津波断層面のすべり量の配分に用いたプレートの沈み込み速度(赤数字)  
ハッチはトラフ軸沿いの小断層



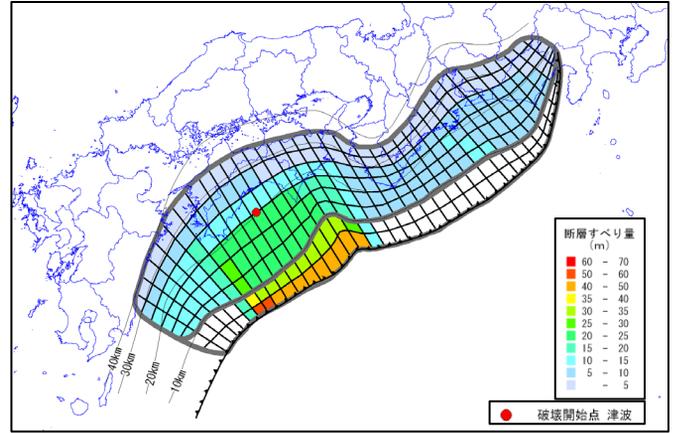
【ケース①「駿河湾～紀伊半島沖」に  
「大すべり域+超大すべり域」を設定】



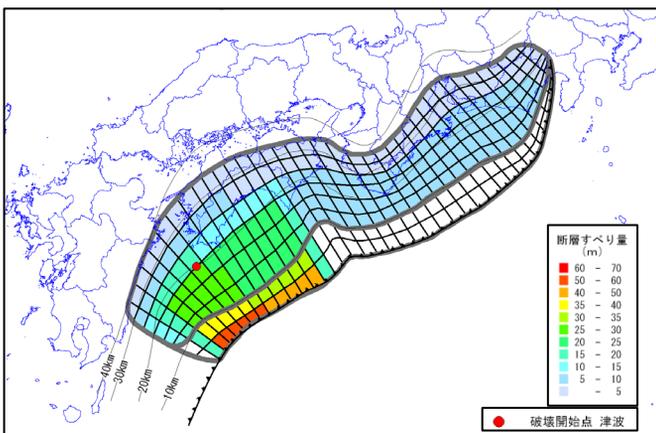
【ケース②「紀伊半島沖」に  
「大すべり域+超大すべり域」を設定】



【ケース③「紀伊半島沖～四国沖」に  
「大すべり域+超大すべり域」を設定】

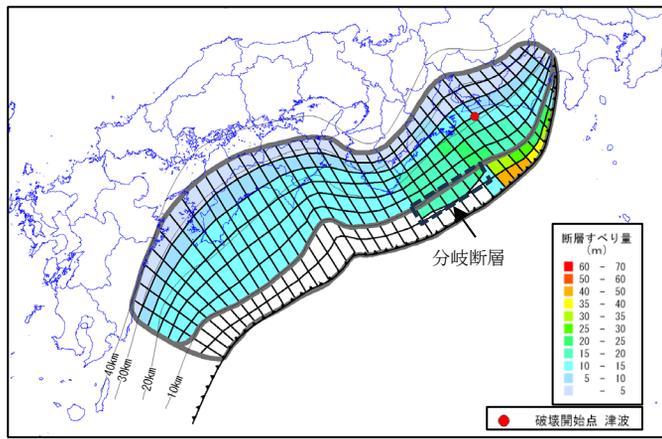


【ケース④「四国沖」に「大すべり域+超大すべり域」を設定】

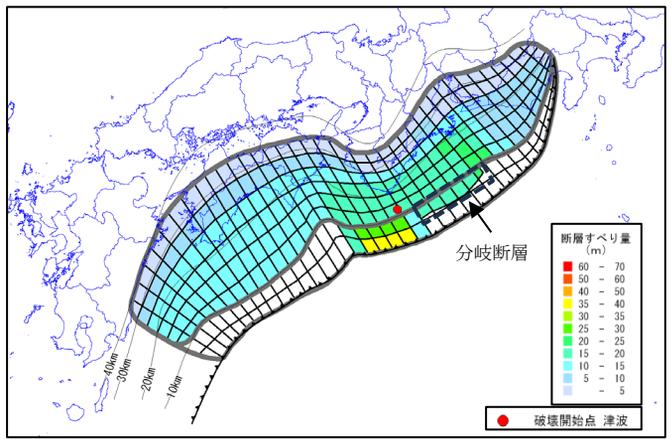


【ケース⑤「四国沖～九州沖」に  
「大すべり域+超大すべり域」を設定】

図3.3(1) 基本的な検討ケース(大すべり域+超大すべり域が1箇所のパターン)【5ケース】

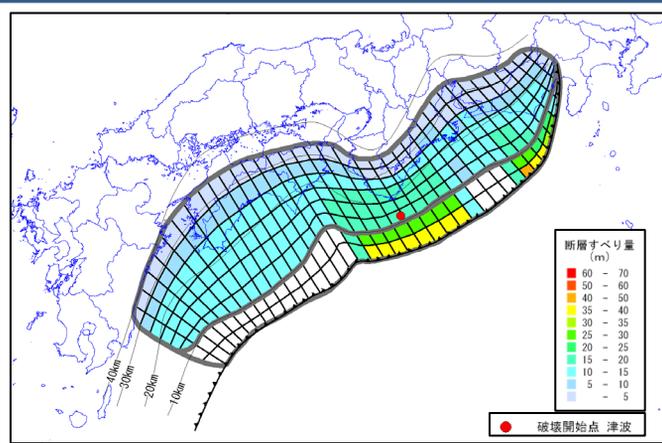


【ケース⑥「駿河湾～紀伊半島沖」に  
「大すべり域+(超大すべり域、分岐断層)」を設定  
(ケース①に分岐断層を考慮)】

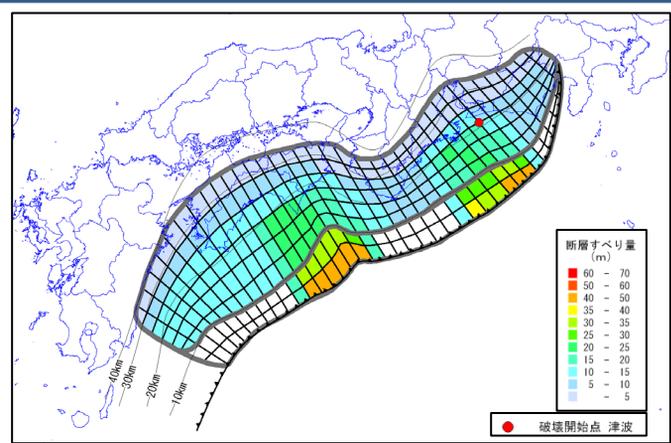


【ケース⑦「紀伊半島沖」に  
「大すべり域+(超大すべり域、分岐断層)」を設定  
(ケース②に分岐断層を考慮)】

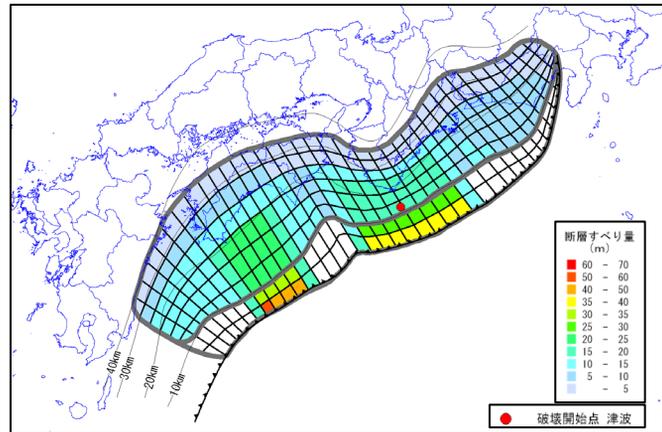
図3.3(2) 大すべり域+超大すべり域が1箇所に分岐断層も考えるパターン【2ケース】



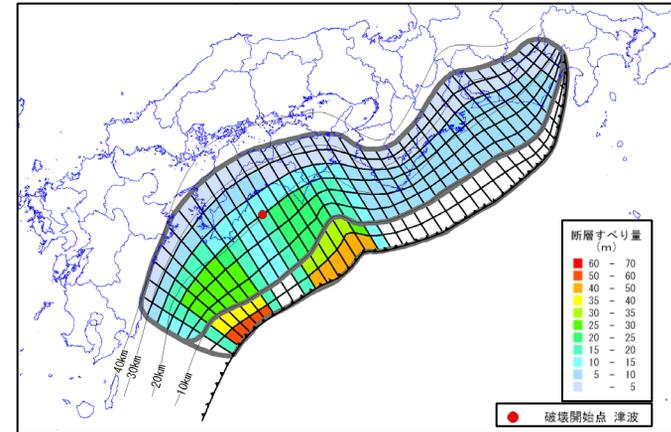
【ケース⑧「駿河湾～愛知県東部沖」と「三重県南部沖～  
徳島県沖」に「大すべり域+超大すべり域」を設定】



【ケース⑨「愛知県沖～三重県沖」と「室戸岬沖」に  
「大すべり域+超大すべり域」を設定】



【ケース⑩「三重県南部沖～徳島県沖」と「足摺岬沖」に  
「大すべり域+超大すべり域」を設定】



【ケース⑪「室戸岬沖」と「日向灘」に  
「大すべり域+超大すべり域」を設定】

図3.3(3) 大すべり域+超大すべり域が2箇所のパターン【4ケース】

表3.1 各ケースの地震モーメント(Mo)及びモーメントマグニチュード(Mw)等

ケース	断層面の面積(m <sup>2</sup> )	Mo(Nm)	Mw
ケース①	$1.4 \times 10^{11}$	$6.1 \times 10^{22}$	9.1
ケース②	$1.4 \times 10^{11}$	$6.3 \times 10^{22}$	9.1
ケース③	$1.4 \times 10^{11}$	$6.4 \times 10^{22}$	9.1
ケース④	$1.4 \times 10^{11}$	$6.4 \times 10^{22}$	9.1
ケース⑤	$1.4 \times 10^{11}$	$6.3 \times 10^{22}$	9.1
ケース⑥	$1.4 \times 10^{11}$	$5.4 \times 10^{22}$	9.1
ケース⑦	$1.4 \times 10^{11}$	$5.3 \times 10^{22}$	9.1
ケース⑧	$1.4 \times 10^{11}$	$6.2 \times 10^{22}$	9.1
ケース⑨	$1.4 \times 10^{11}$	$6.7 \times 10^{22}$	9.1
ケース⑩	$1.4 \times 10^{11}$	$6.4 \times 10^{22}$	9.1
ケース⑪	$1.4 \times 10^{11}$	$6.6 \times 10^{22}$	9.1

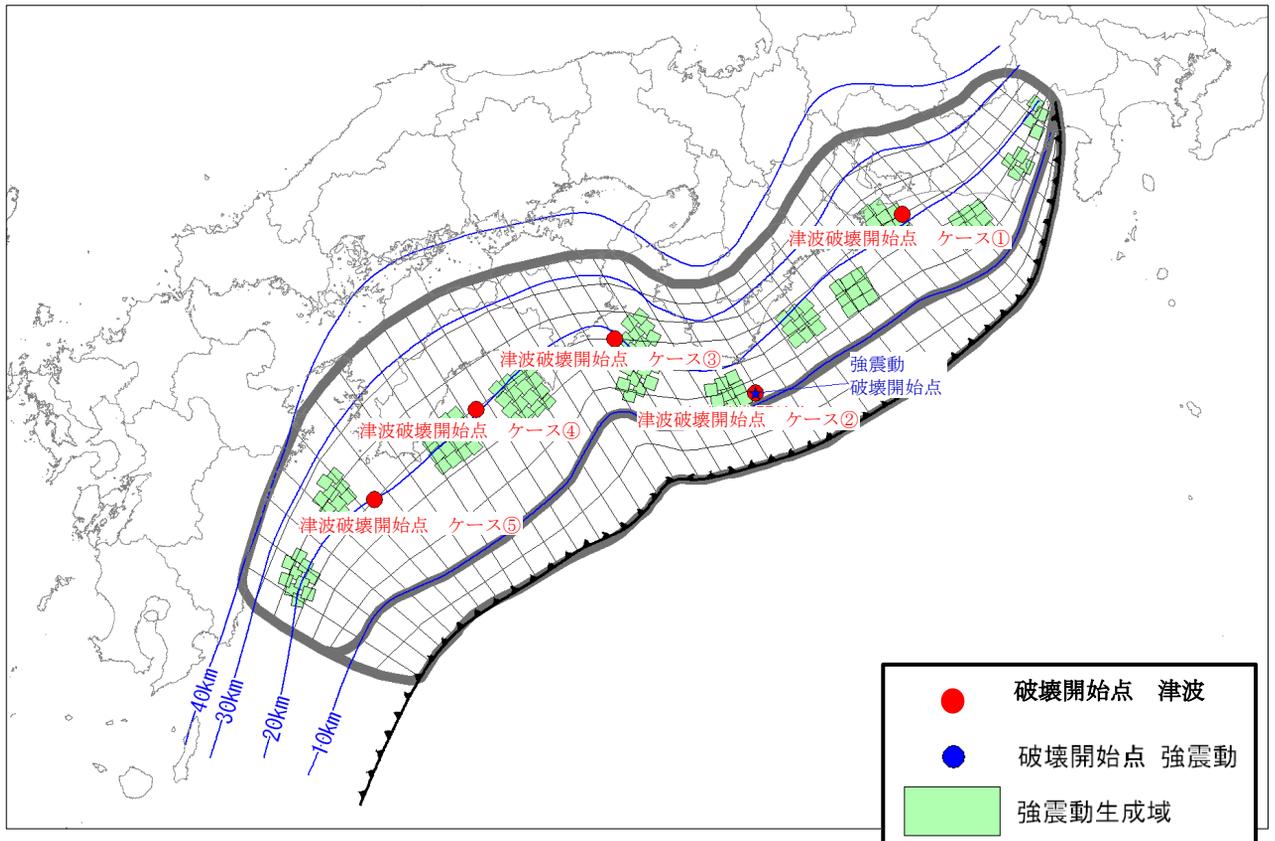
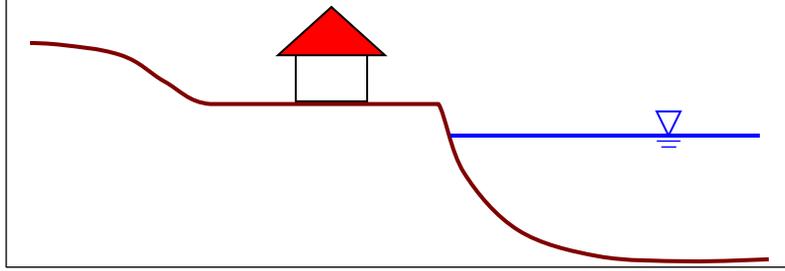
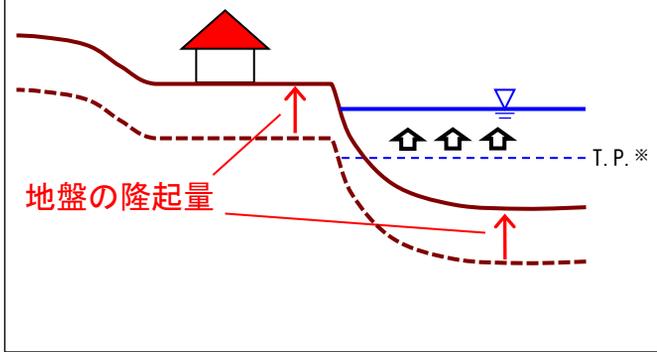


図3.4 ケース①～⑤における津波断層モデルの破壊開始点  
 (強震断層モデルの破壊開始点及び強震動生成域(基本ケース)も重ねて表示)

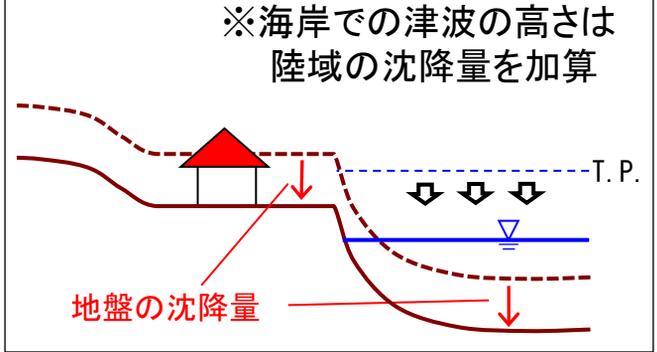
地震発生前



陸域が隆起した場合



陸域が沈降した場合



※海岸での津波の高さは  
陸域の沈降量を加算

※T.P. : 東京湾平均海面



陸域の隆起量をゼロとする

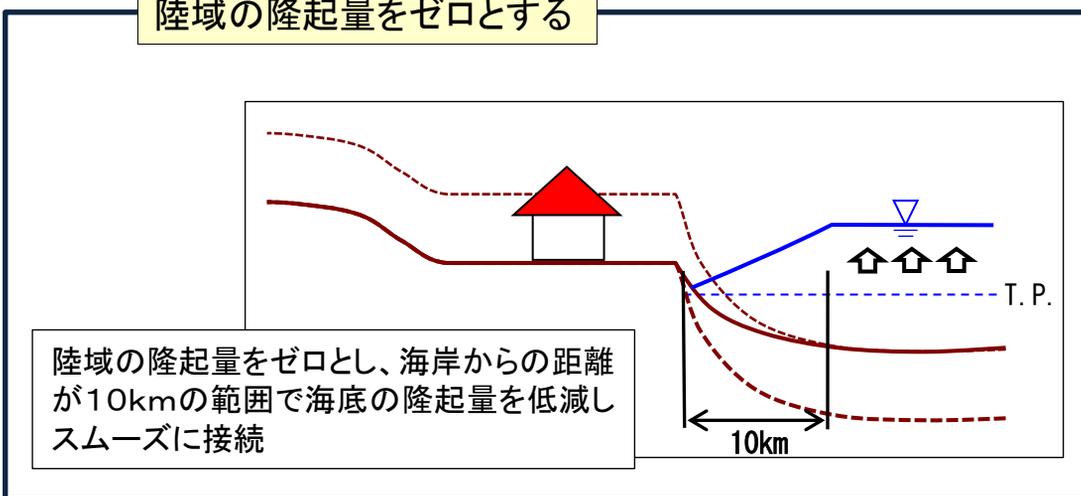


図3.5 隆起量の低減概念図

ケース①「駿河湾～紀伊半島沖」に「大すべり域+超大すべり」域を設定

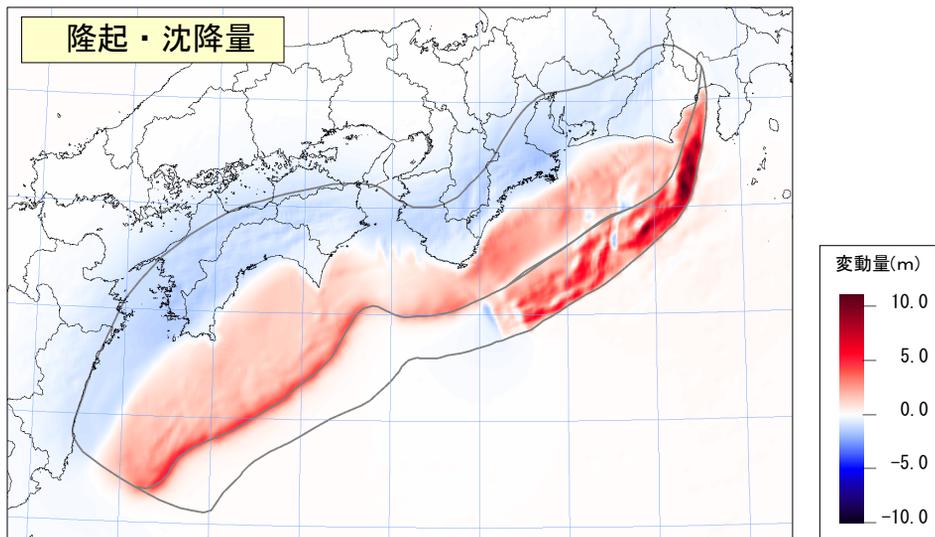
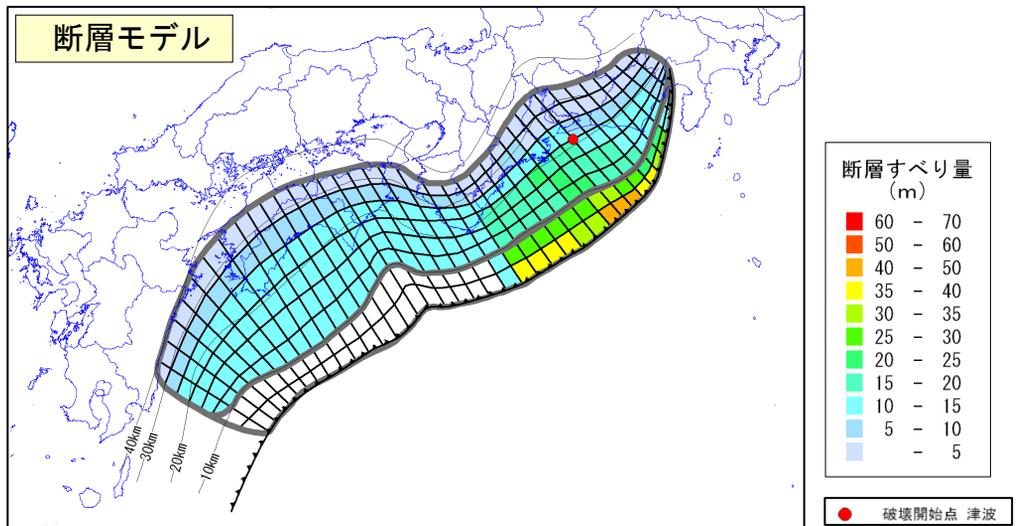


図3.6(1) 隆起・沈降量(ケース①)

ケース②「紀伊半島沖」に「大すべり域+超大すべり域」を設定

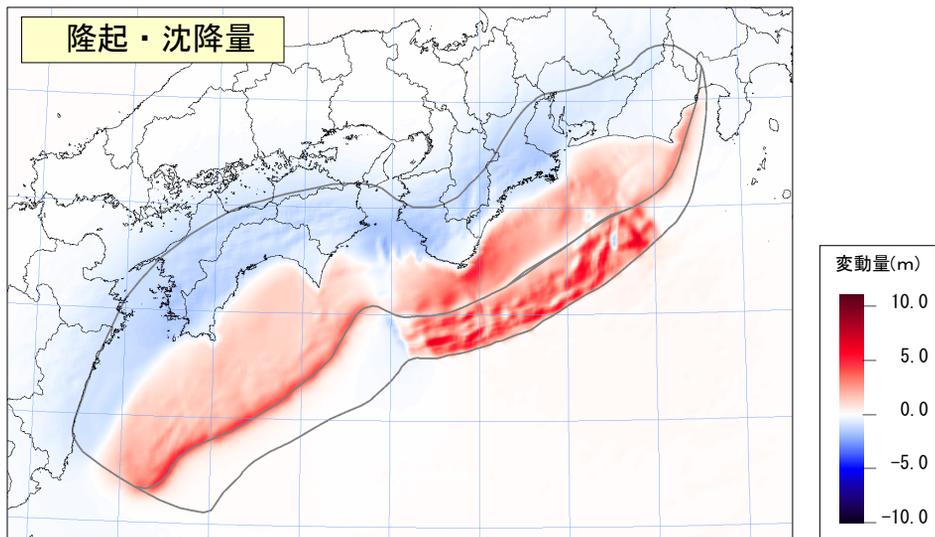
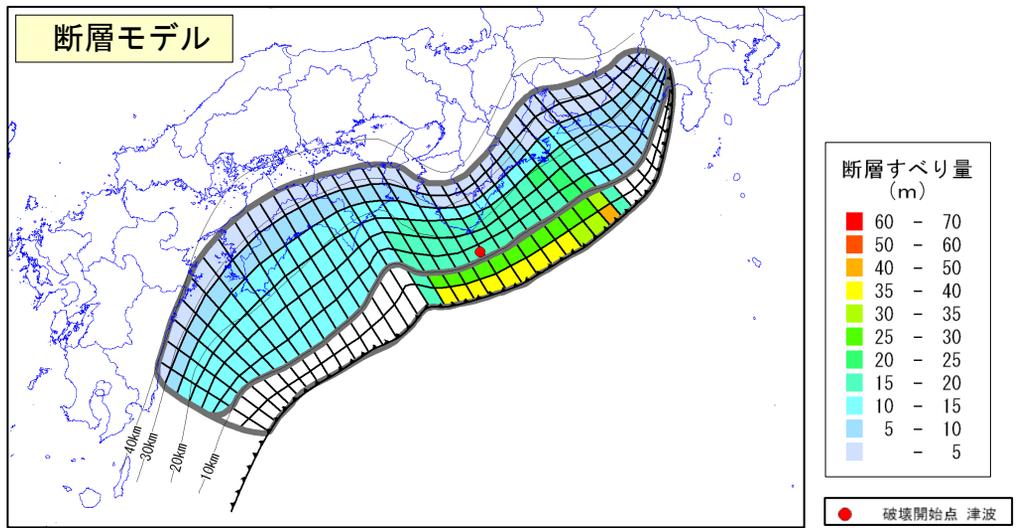


図3.6(2) 隆起・沈降量(ケース②)

ケース③「紀伊半島沖～四国沖」に「大すべり域＋超大すべり域」を設定

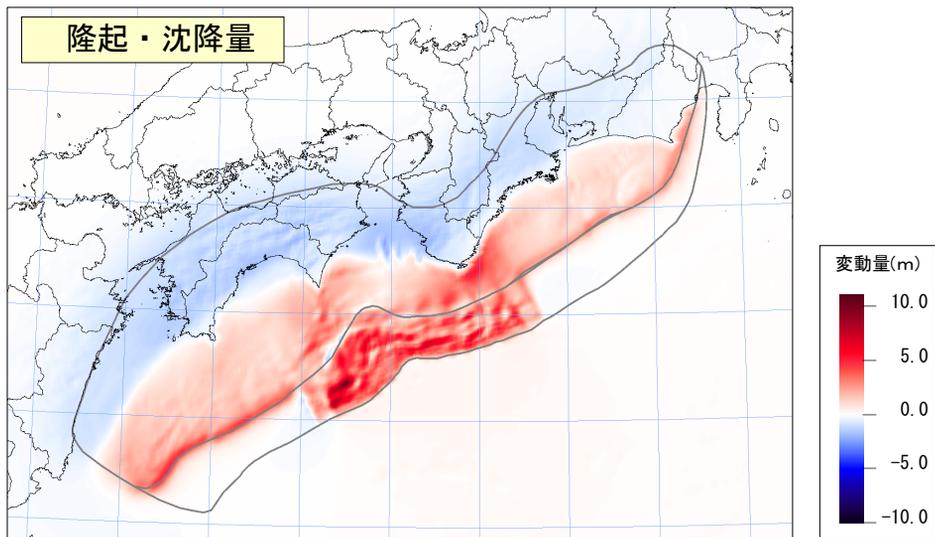
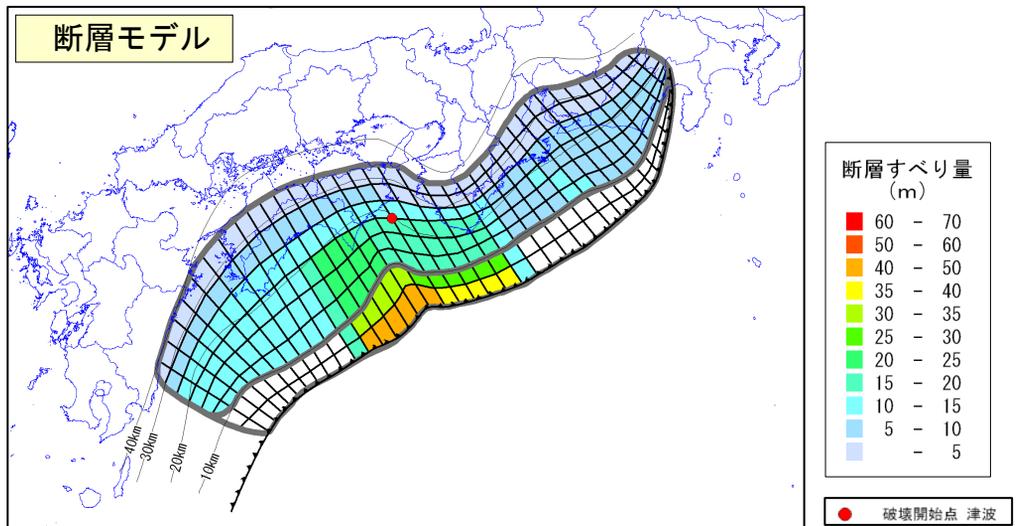


図3.6(3) 隆起・沈降量(ケース③)

ケース④「四国沖」に「大すべり域+超大すべり域」を設定

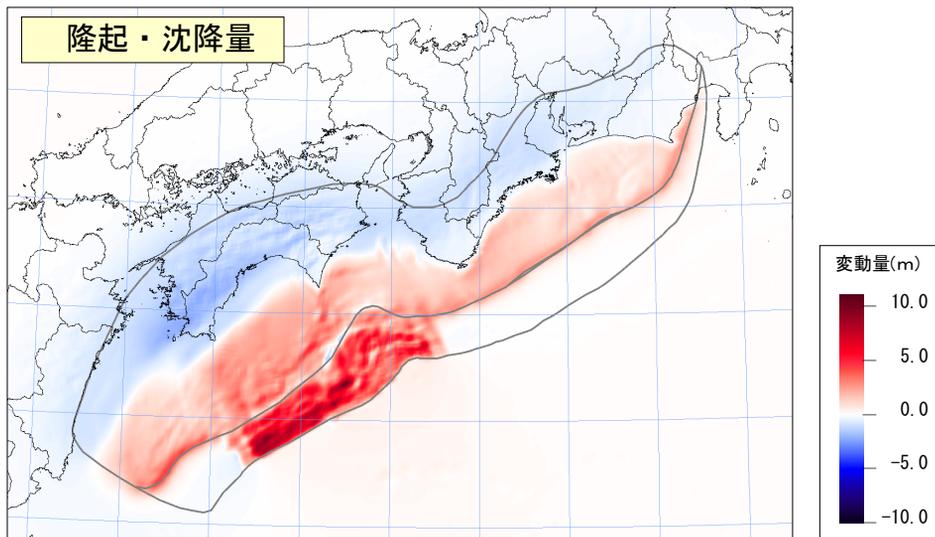
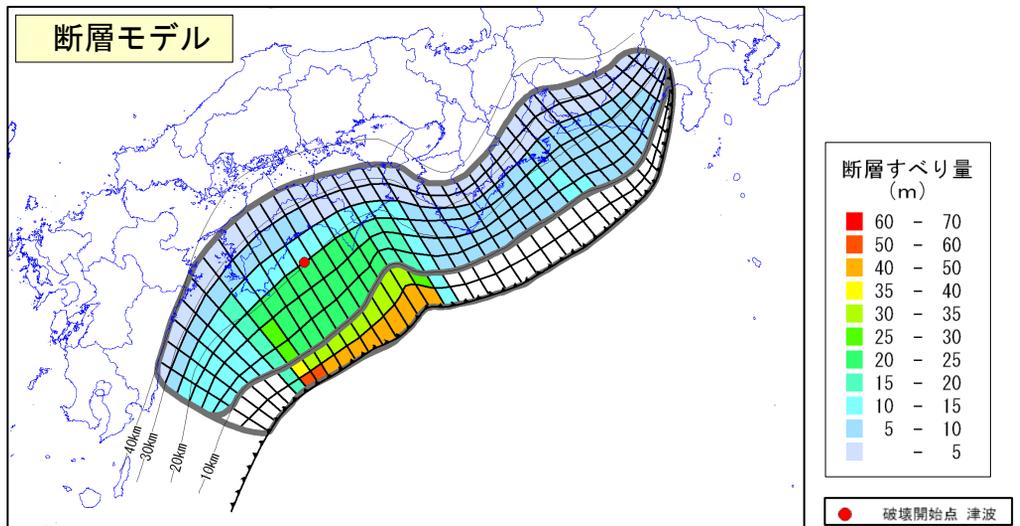


図3.6(4) 隆起・沈降量(ケース④)

ケース⑤「四国沖～九州沖」に「大すべり域＋超大すべり域」を設定

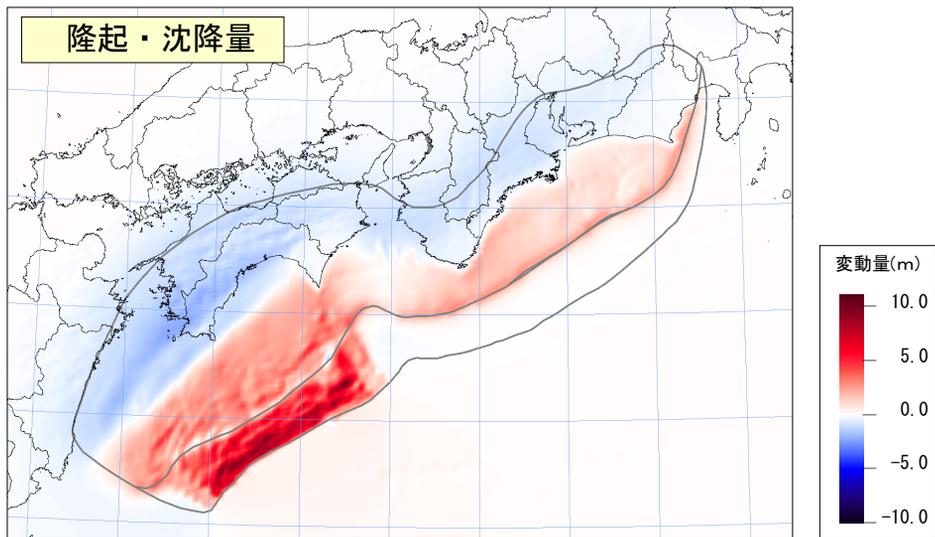
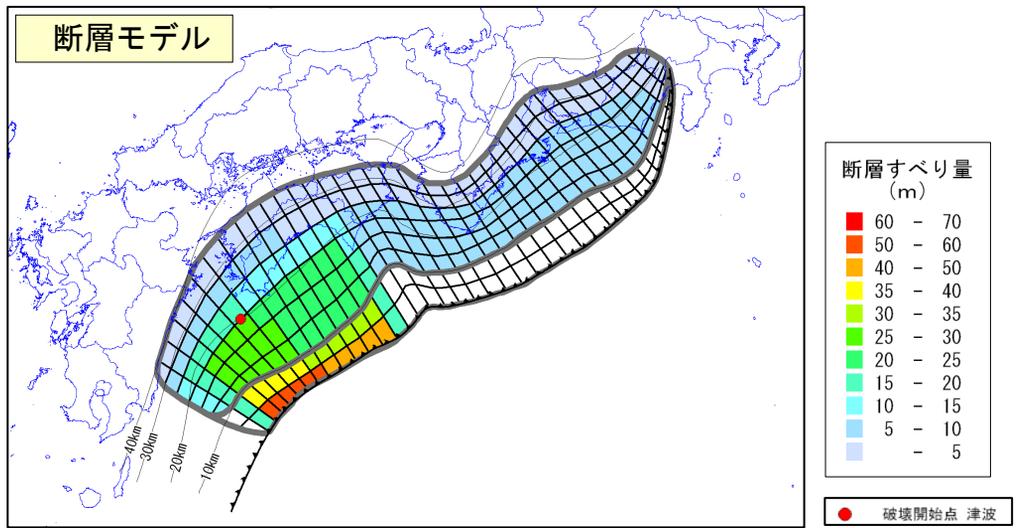


図3.6(5) 隆起・沈降水量(ケース⑤)

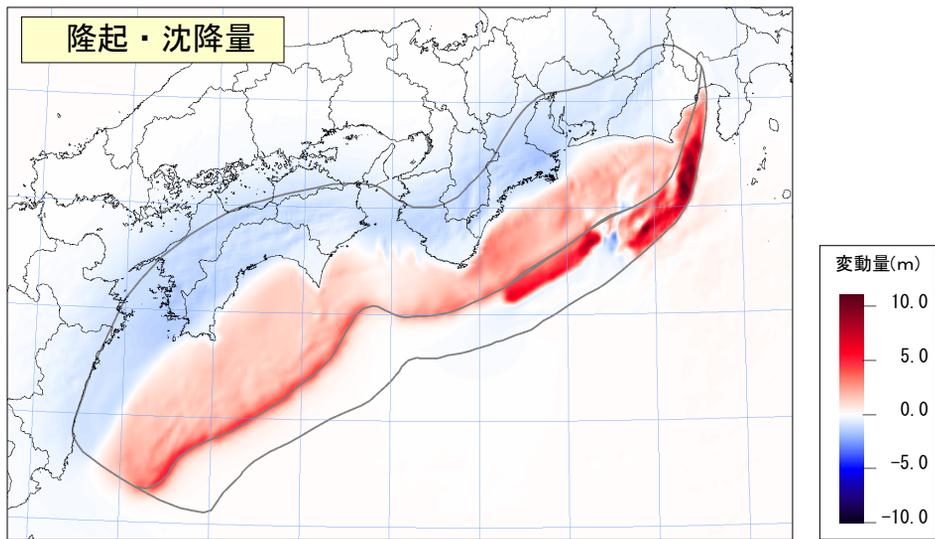
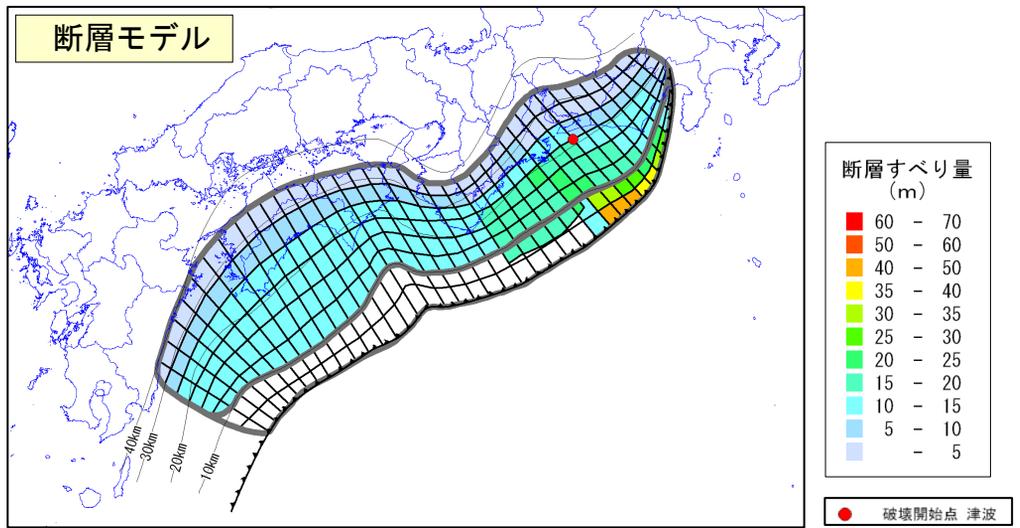


図3.6(6) 隆起・沈降量(ケース⑥)

ケース⑦「紀伊半島沖」に「大すべり域+(超大すべり域、分岐断層)」を設定

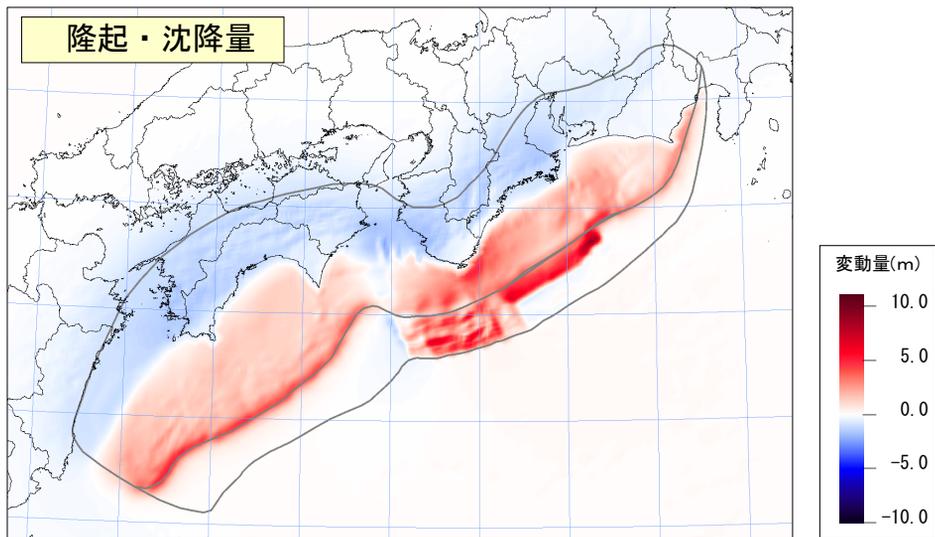
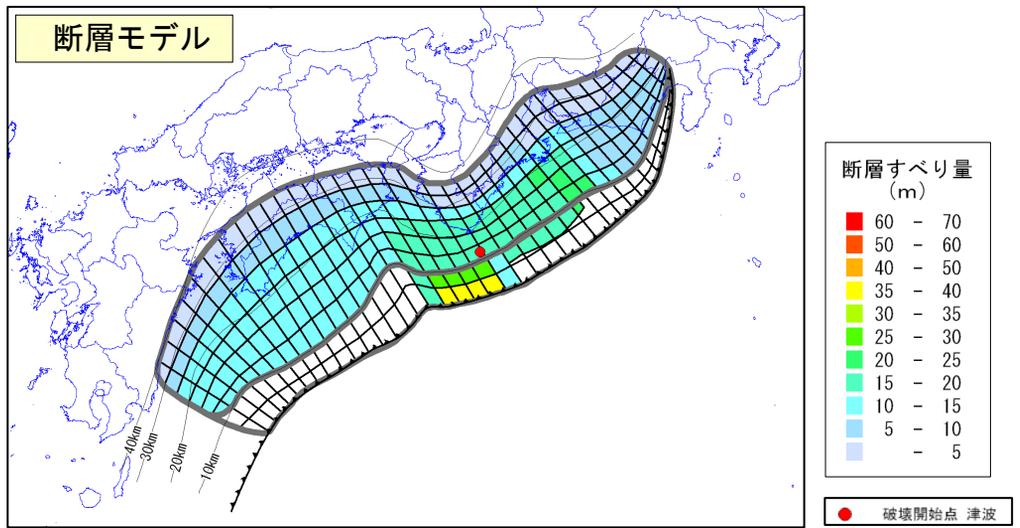


図3.6(7) 隆起・沈降量(ケース⑦)

ケース⑧「駿河湾～愛知県東部沖」と「三重県南部沖～徳島県沖」に  
「大すべり域+超大すべり域」を2箇所設定

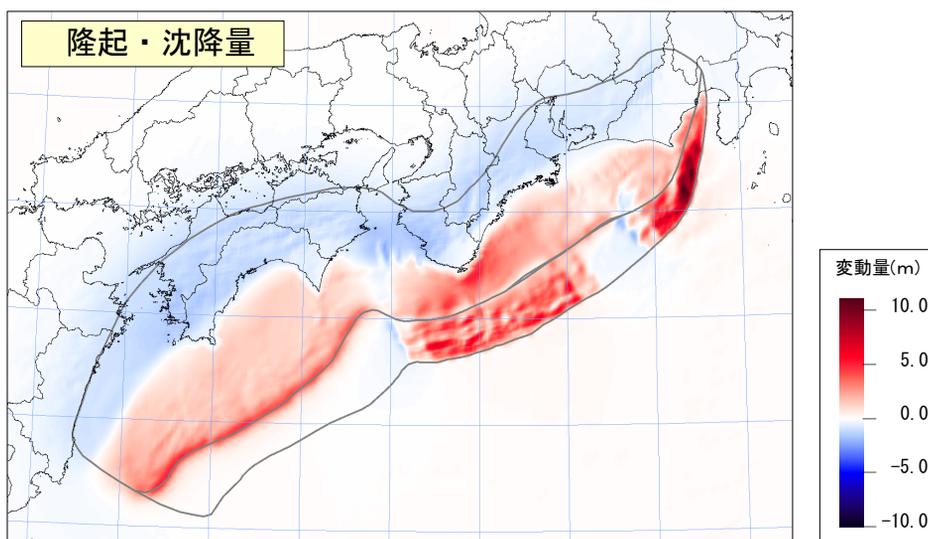
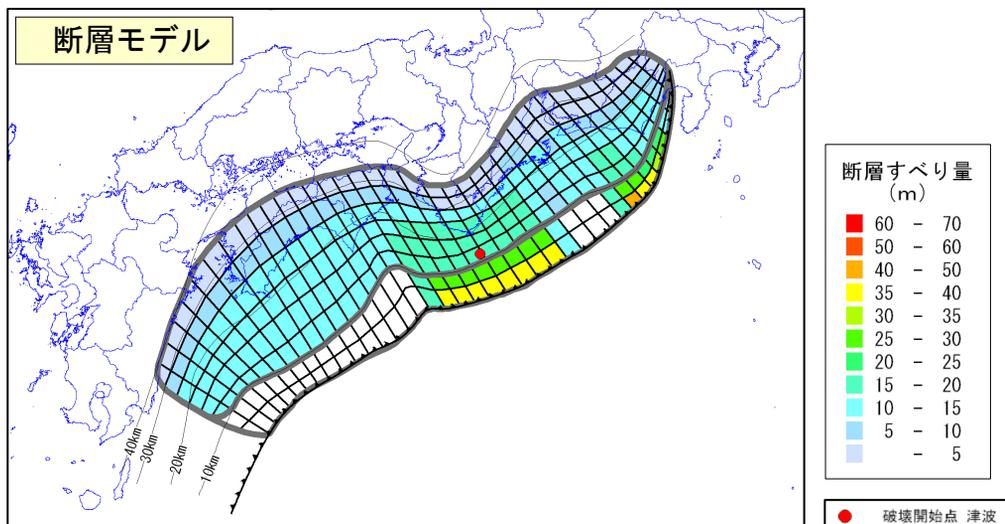


図3.6(8) 隆起・沈降量(ケース⑧)

ケース⑨「愛知県沖～三重県沖」と「室戸岬沖」に  
「大すべり域+超大すべり域」を2箇所設定

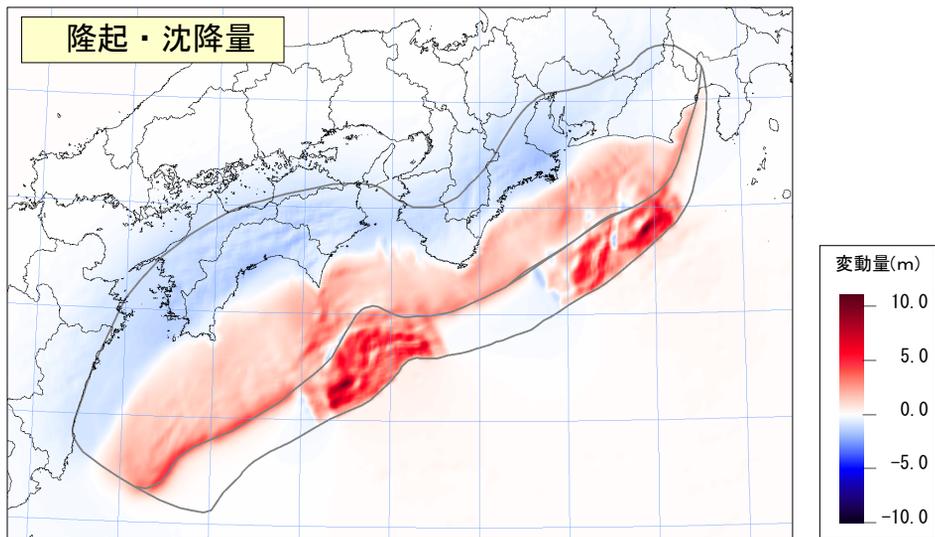
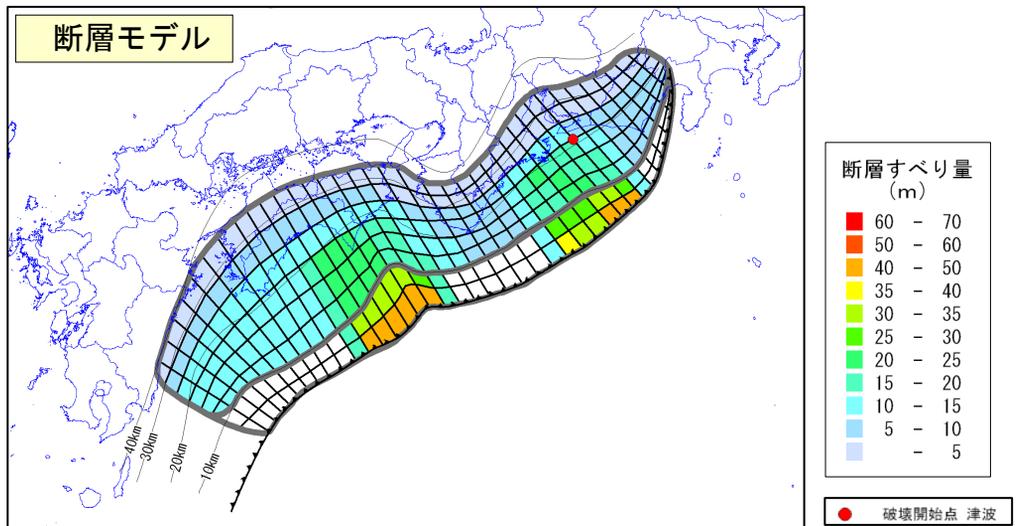


図3.6(9) 隆起・沈降量(ケース⑨)

ケース⑩「三重県南部沖～徳島県沖」と「足摺岬沖」に  
「大すべり域+超大すべり域」を2箇所設定

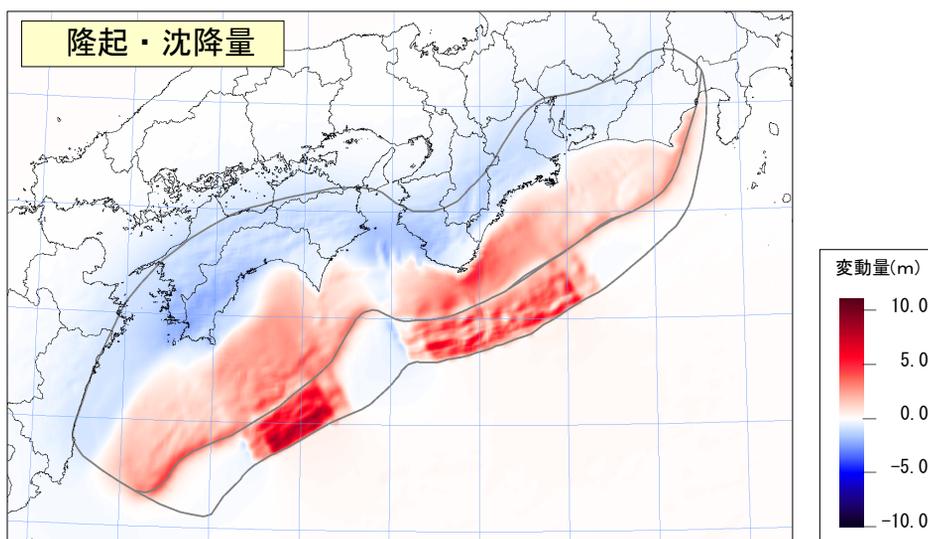
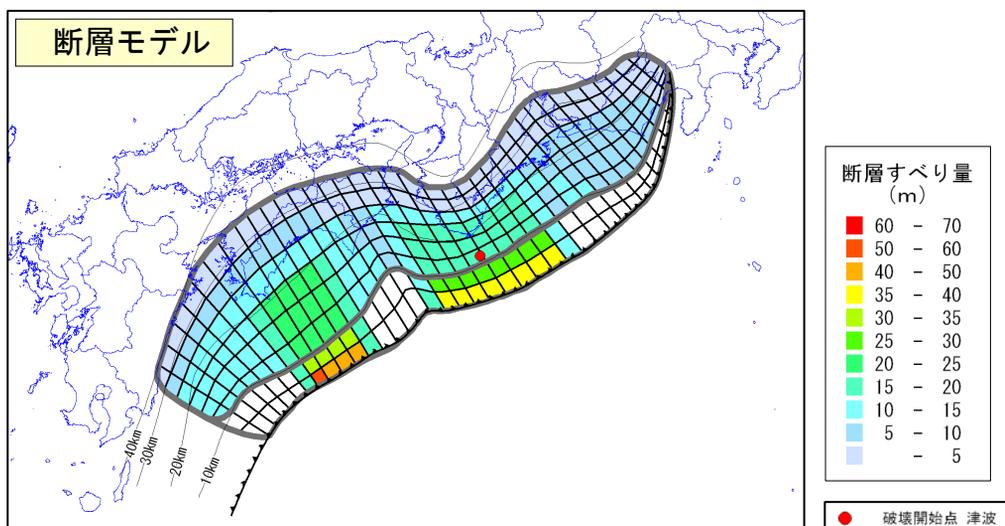


図3.6(10) 隆起・沈降量(ケース⑩)

ケース⑪「室戸岬沖」と「日向灘」に  
「大すべり域+超大すべり域」を2箇所設定

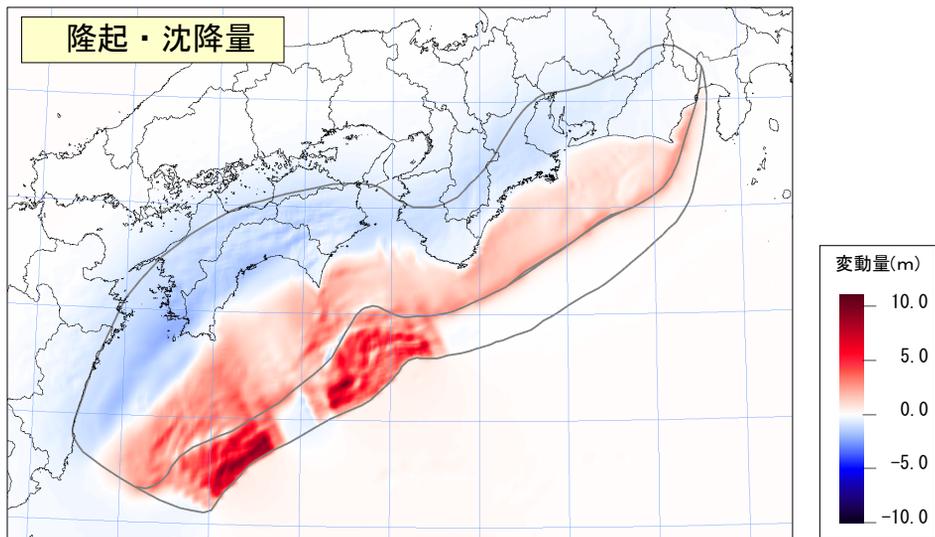
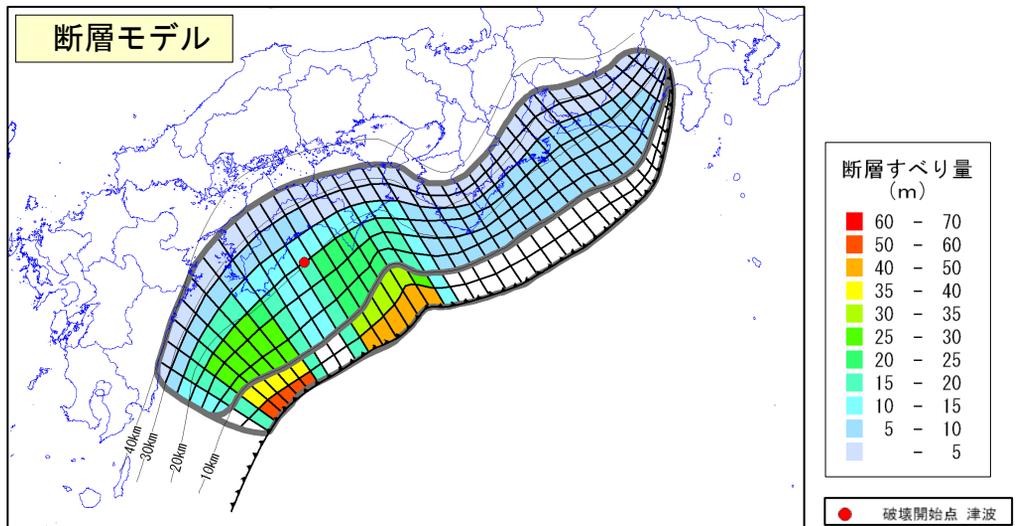


図3.6(11) 隆起・沈降量(ケース⑪)

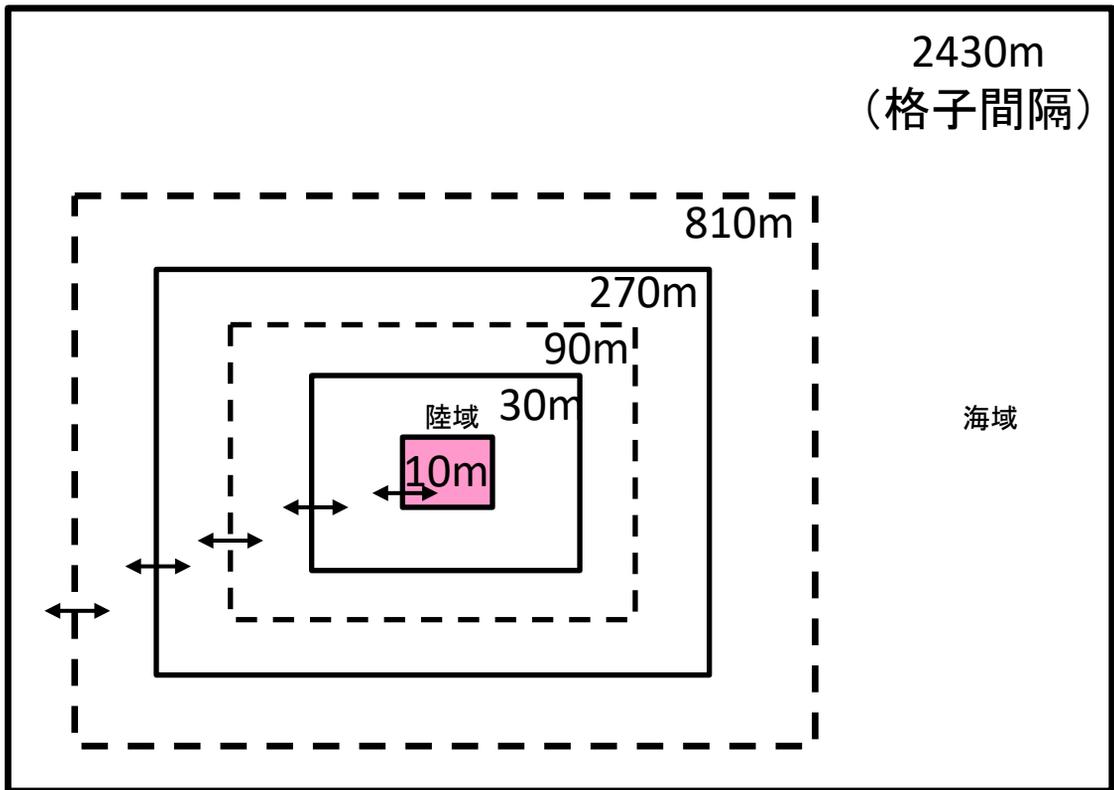


図3.7 津波計算に用いるメッシュの概念図

計算に用いる地形メッシュデータの間隔は、最小10m,30m,90m,270m,810m,2430mと設定した。

表3.2 津波の浸水計算に用いた地形データ等

	地形	粗度	堤防
福島県	「津波浸水想定策定検討業務委託（海岸・交付（再復）」データ	「津波対策に関する検討業務委託」報告書データ	「津波浸水想定策定検討業務委託（海岸・交付（再復）」データ
茨城県	茨城沿岸津波浸水想定図活用業務（平成25年3月）		
千葉県	東日本大震災千葉県津波調査業務委託（平成24年3月）		
東京都	南海トラフ巨大地震等による東京都の被害想定（平成25年5月）		
神奈川県	前回報告		前回報告 神奈川県高潮浸水想定データ（平成30年）
静岡県	前回報告		静岡県第4次地震被害想定調査（第一次報告） （平成25年6月）
愛知県	愛知県高潮浸水想定データ（平成29年）	前回報告	愛知県高潮浸水想定（平成29年）
三重県	平成24年度南海トラフの巨大地震等を想定した三重県被害想定調査 「三重県新地震対策行動計画（仮称）」策定に係る業務委託（平成26年3月）	前回報告	平成24年度南海トラフの巨大地震等を想定した三重県被害想定調査 「三重県新地震対策行動計画（仮称）」策定に係る業務委託（平成26年3月）
大阪府	大阪府 地震津波被害想定及び対策検討委託（2014年3月）	前回報告	現況堤防高分布（平成30年時点）
兵庫県	平成24年度兵庫県津波被害想定業務	前回報告	
和歌山県	和歌山県津波浸水予測調査業務（平成26年3月）	和歌山県津波浸水予測調査業務（平成26年3月）	
岡山県	岡山県地震・津波被害想定調査（平成25年7月）	前回報告	岡山県地震・津波被害想定調査（平成25年7月）
広島県	基盤地図情報（国土地理院）	前回報告	広島県地震被害想定調査事業（平成25年10月）
山口県	基盤地図情報（国土地理院）	前回報告	平成24年度管内一円津波浸水想定に伴う調査業務委託
徳島県	平成24年度徳島県津波浸水予測調査（平成26年2月）		
香川県	香川県地震・津波被害想定調査（平成26年3月）	前回報告	香川県地震・津波被害想定調査（平成26年3月）
愛媛県	現況データ（令和3年時点）	前回報告	愛媛県地震被害想定調査（平成25年3月）
高知県	平成24年度高知県南海トラフ地震被害想定調査（平成25年12月）	前回報告	平成24年度高知県南海トラフ地震被害想定調査（平成25年12月）
福岡県	福岡県津波浸水想定図作成業務（平成28年2月）	前回報告	福岡県津波浸水想定図作成業務（平成28年2月）
長崎県	長崎県津波浸水想定区域図作成業務委託（平成25年12月）	前回報告	長崎県津波浸水想定区域図作成業務委託（平成25年12月）
熊本県	津波浸水想定区域検討業務委託（平成25年9月）	前回報告	津波浸水想定区域図作成業務委託（平成25年9月）
大分県	大分県津波浸水予測調査（平成25年1月）	前回報告	大分県津波浸水予測調査（平成25年1月）
宮崎県	宮崎県地震・津波被害想定調査業務委託（平成25年9月）	前回報告	宮崎県地震・津波被害想定調査業務委託（平成25年9月）
鹿児島県	平成25年度津波防災地域づくり法による津波浸水想定予測調査業務	前回報告	平成25年度津波防災地域づくり法による津波浸水想定予測調査業務
沖縄県	沖縄県津波浸水想定設定業務委託（平成27年3月）		

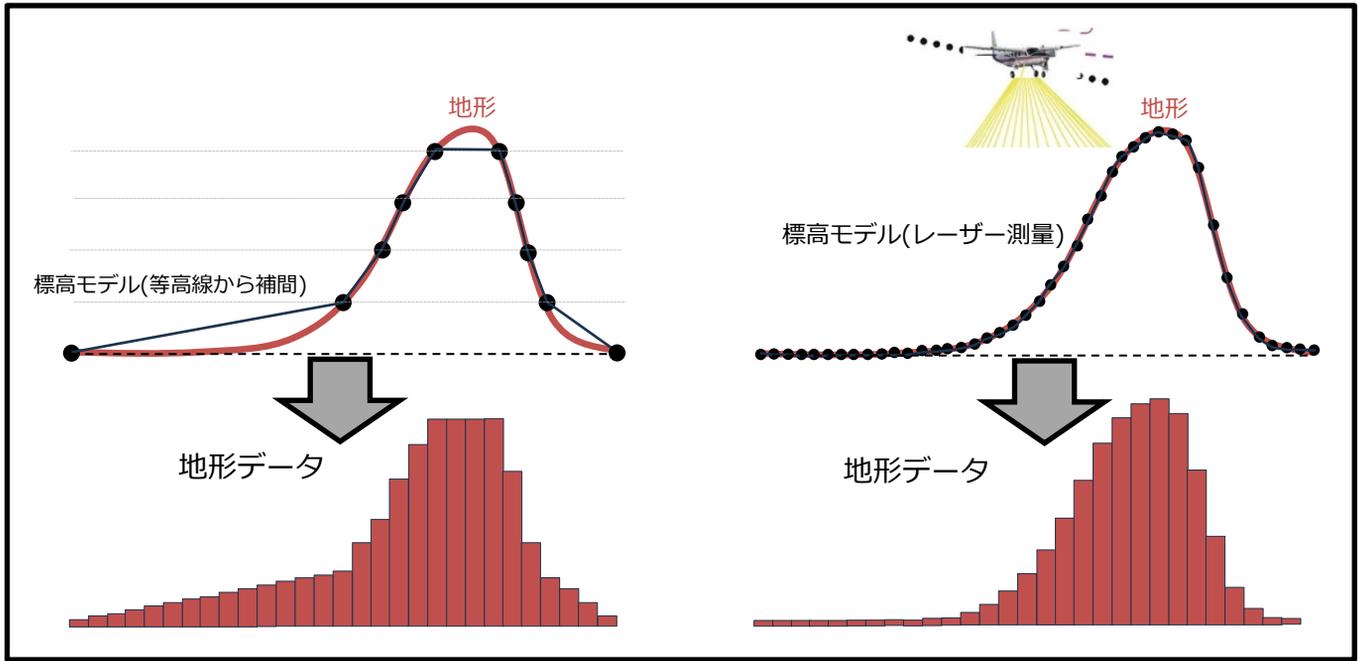


図3.8 地形データの高精度化のイメージ  
 左: 地形図の等高線による標高モデル、右: 航空レーザー測量による標高モデル

# 【基本的な検討ケース】(計5ケース)

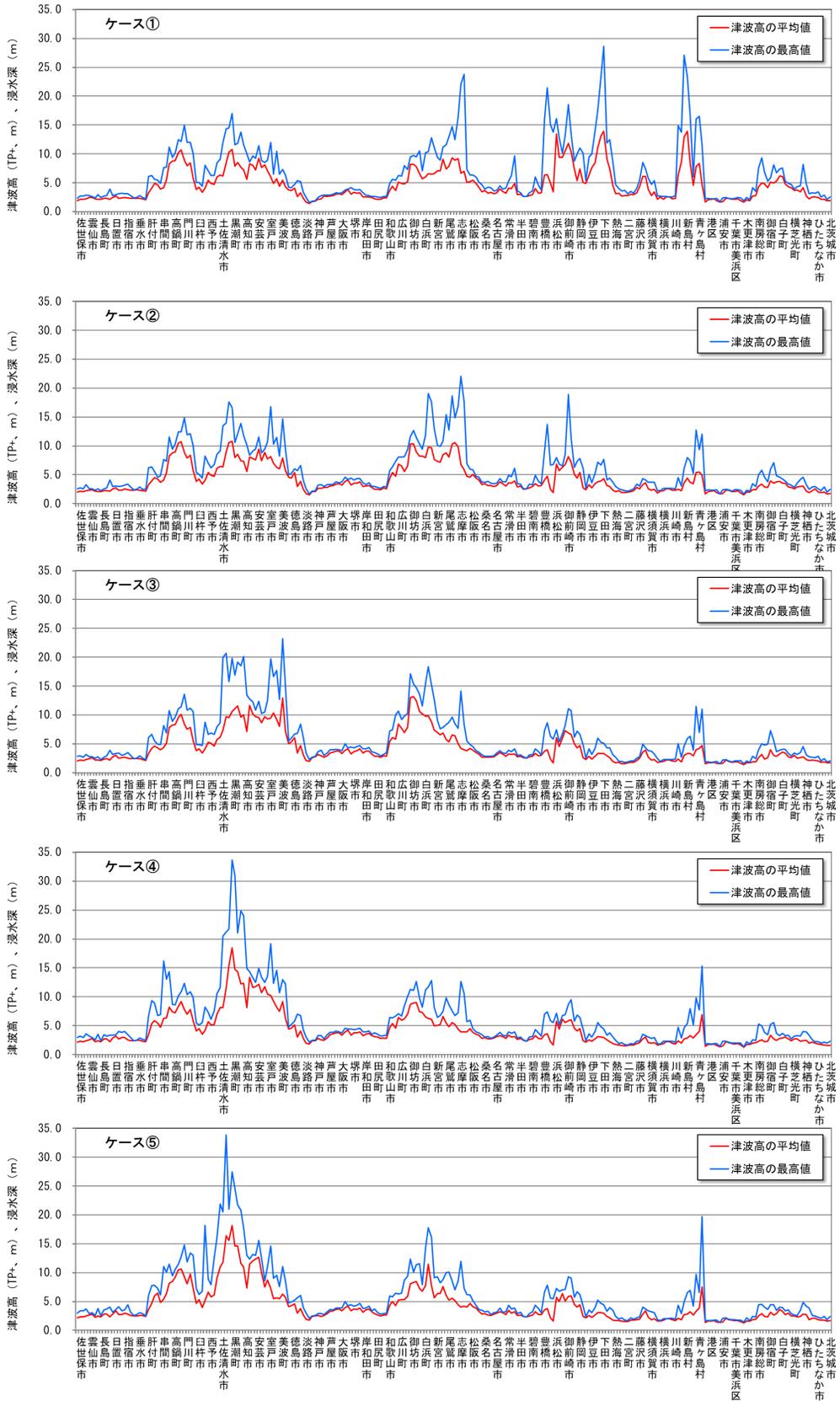


図3.9(1) 各市町村の津波高の最高値と平均値【基本的な検討ケース】

# 【その他派生的な検討ケース】(計6ケース)

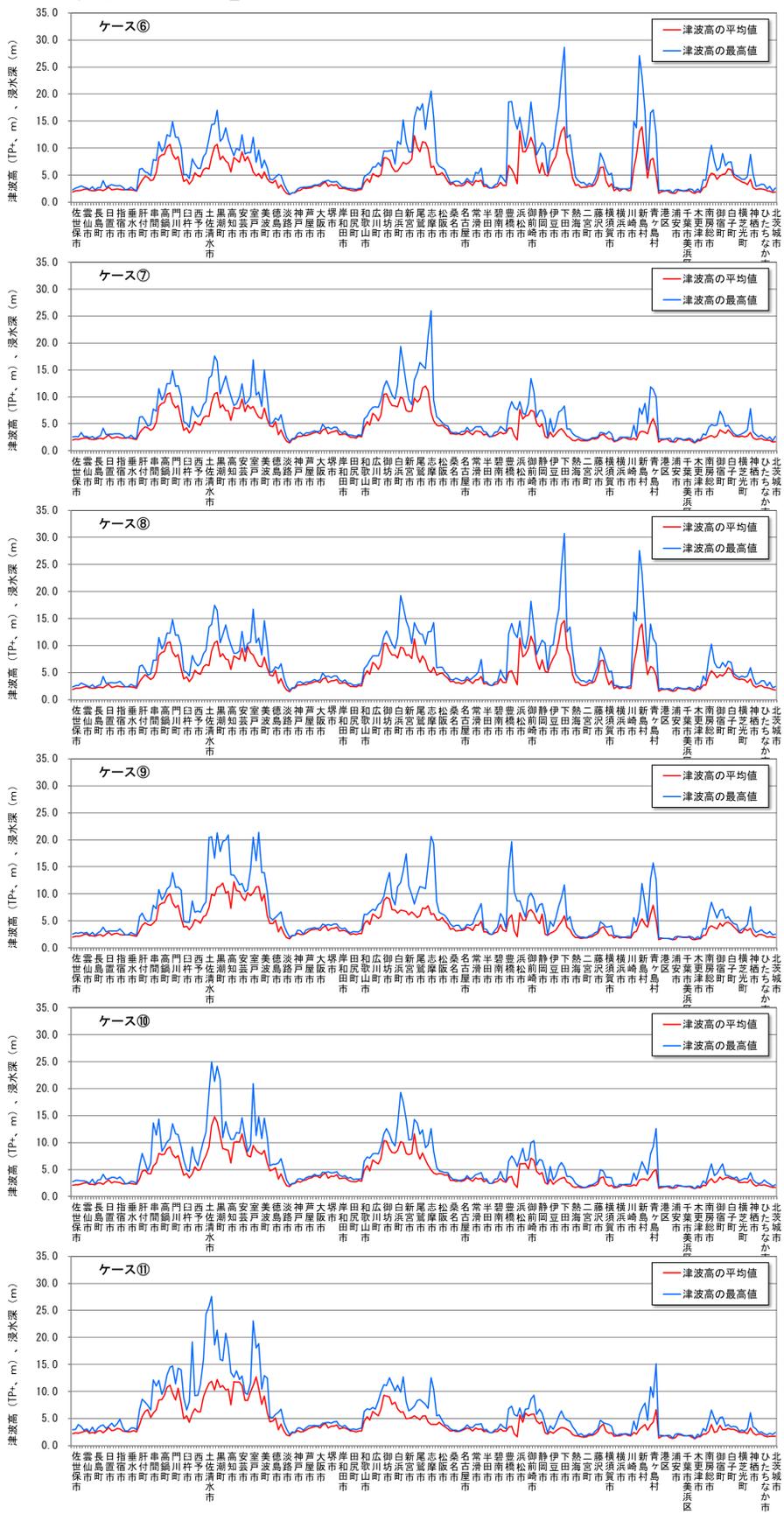


図3.9(2) 各市町村の津波高の最高値と平均値【その他派生的な検討ケース】

表3.3 ケース別 市町村平均津波高の各都府県内最大値

都道府県名	ケース① (m)	ケース② (m)	ケース③ (m)	ケース④ (m)	ケース⑤ (m)	ケース⑥ (m)	ケース⑦ (m)	ケース⑧ (m)	ケース⑨ (m)	ケース⑩ (m)	ケース⑪ (m)	最大値 (m)
福島県	3	3	2	2	2	3	3	3	2	3	2	3
茨城県	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
千葉県	7	4	4	4	4	7	4	6	5	4	4	7
東京都(区部)	3	3	2	2	2	3	3	2	2	2	2	3
東京都(島嶼部)	14	6	5	7	8	14	6	14	8	5	7	14
神奈川県	7	4	4	3	4	7	4	8	4	4	4	8
静岡県	14	9	8	7	7	14	8	15	8	8	6	15
愛知県	7	5	4	4	4	7	5	6	7	4	4	7
三重県	10	11	7	7	8	13	12	12	8	12	6	13
大阪府	4	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5
兵庫県	4	4	5	5	4	4	4	4	4	5	4	5
和歌山県	9	11	14	9	12	9	11	11	10	11	10	14
岡山県	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
広島県	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
山口県	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
徳島県	6	8	13	10	7	6	8	8	12	9	11	13
香川県	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
愛媛県	6	7	6	7	9	6	7	7	6	7	9	9
高知県	11	11	12	19	19	11	11	11	13	15	13	19
福岡県	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
長崎県	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
熊本県	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
大分県	6	6	6	6	8	6	6	6	6	6	8	8
宮崎県	11	11	11	10	11	11	11	11	11	10	12	12
鹿児島県	5	5	5	6	7	5	5	5	5	5	7	7
沖縄県	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3
全域	14	11	14	19	19	14	12	15	13	15	13	19

表3.4 都府県別ケース別 最大津波高(満潮位・地殻変動考慮)

都道府県名	ケース① (m)	ケース② (m)	ケース③ (m)	ケース④ (m)	ケース⑤ (m)	ケース⑥ (m)	ケース⑦ (m)	ケース⑧ (m)	ケース⑨ (m)	ケース⑩ (m)	ケース⑪ (m)	最大値 (m)
福島県	4	3	3	3	3	4	3	3	4	3	3	4
茨城県	5	4	4	4	5	6	4	5	4	4	4	6
千葉県	10	8	8	6	5	11	8	11	9	7	7	11
東京都(区部)	3	3	2	2	2	3	3	3	2	2	2	3
東京都(島嶼部)	28	13	12	16	20	28	12	28	16	13	16	28
神奈川県	9	5	5	4	4	10	4	10	5	5	5	10
静岡県	29	19	12	10	10	29	14	31	12	11	10	31
愛知県	22	14	9	8	8	19	10	15	20	8	8	22
三重県	24	23	15	13	12	21	26	15	21	15	13	26
大阪府	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5
兵庫県	6	7	9	7	7	5	7	7	7	7	7	9
和歌山県	13	19	19	13	18	16	20	20	18	20	13	20
岡山県	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4
広島県	4	5	4	4	4	5	5	4	4	4	5	5
山口県	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
徳島県	11	15	24	15	11	10	15	15	22	15	19	24
香川県	4	4	4	5	4	4	4	4	5	5	5	5
愛媛県	9	9	9	11	19	9	9	9	9	11	20	20
高知県	17	18	21	34	34	17	18	18	22	25	28	34
福岡県	4	5	4	5	5	5	5	5	5	4	4	5
長崎県	3	4	4	4	4	3	4	4	3	3	4	4
熊本県	3	3	3	4	4	3	3	3	3	4	4	4
大分県	11	11	11	10	13	11	11	10	11	10	14	14
宮崎県	15	15	14	17	15	15	15	15	14	15	15	17
鹿児島県	8	8	8	10	11	8	8	8	8	8	13	13
沖縄県	5	4	4	4	5	5	4	4	5	4	5	5
全域	29	23	24	34	34	29	26	31	22	25	28	34

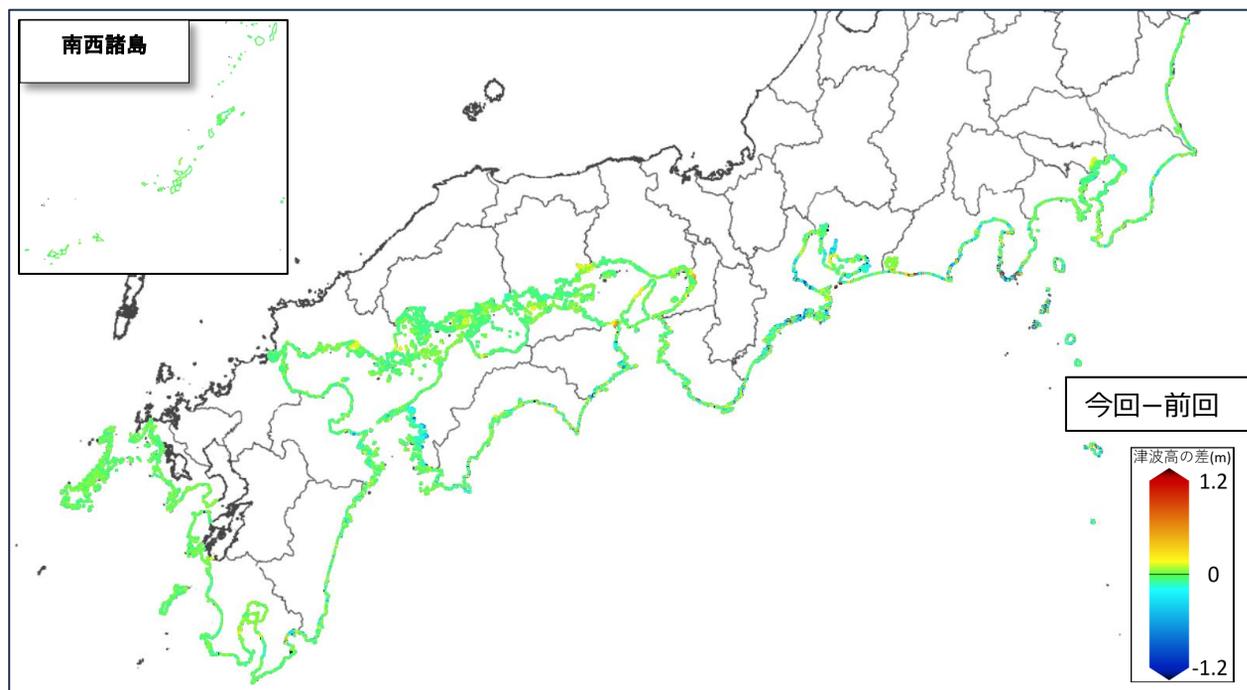
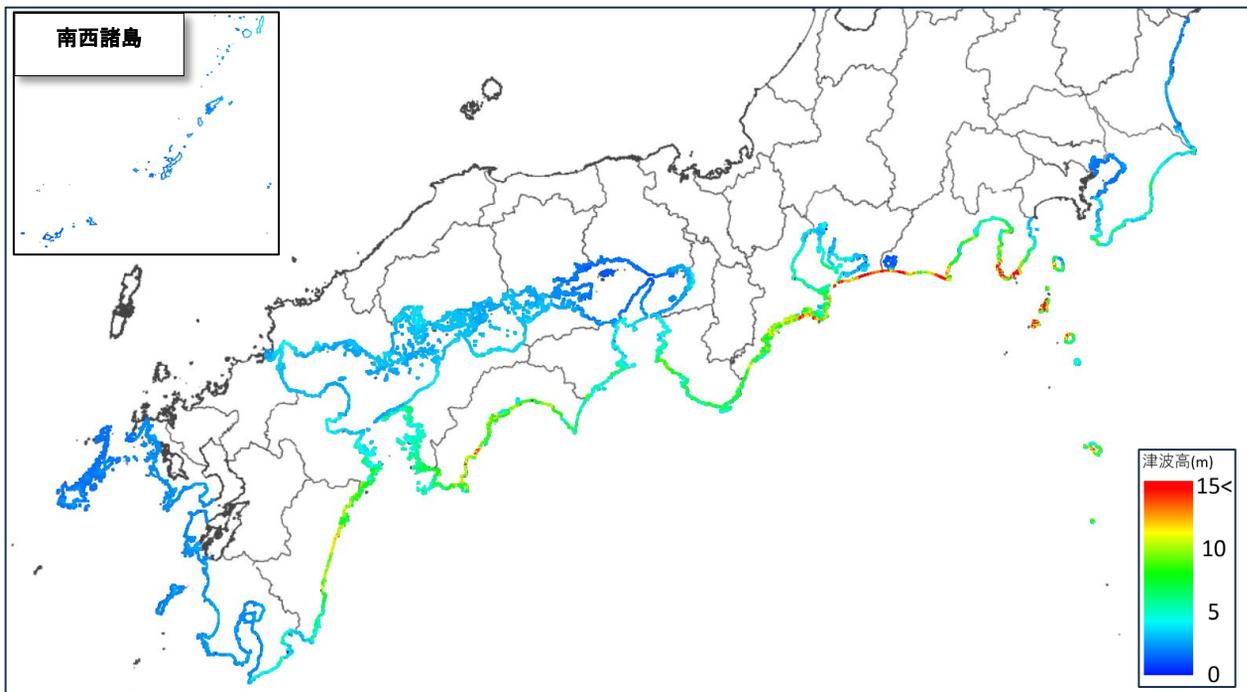


図3.10 沿岸における津波高（ケース①）（上図）及び前回報告との差（下図）

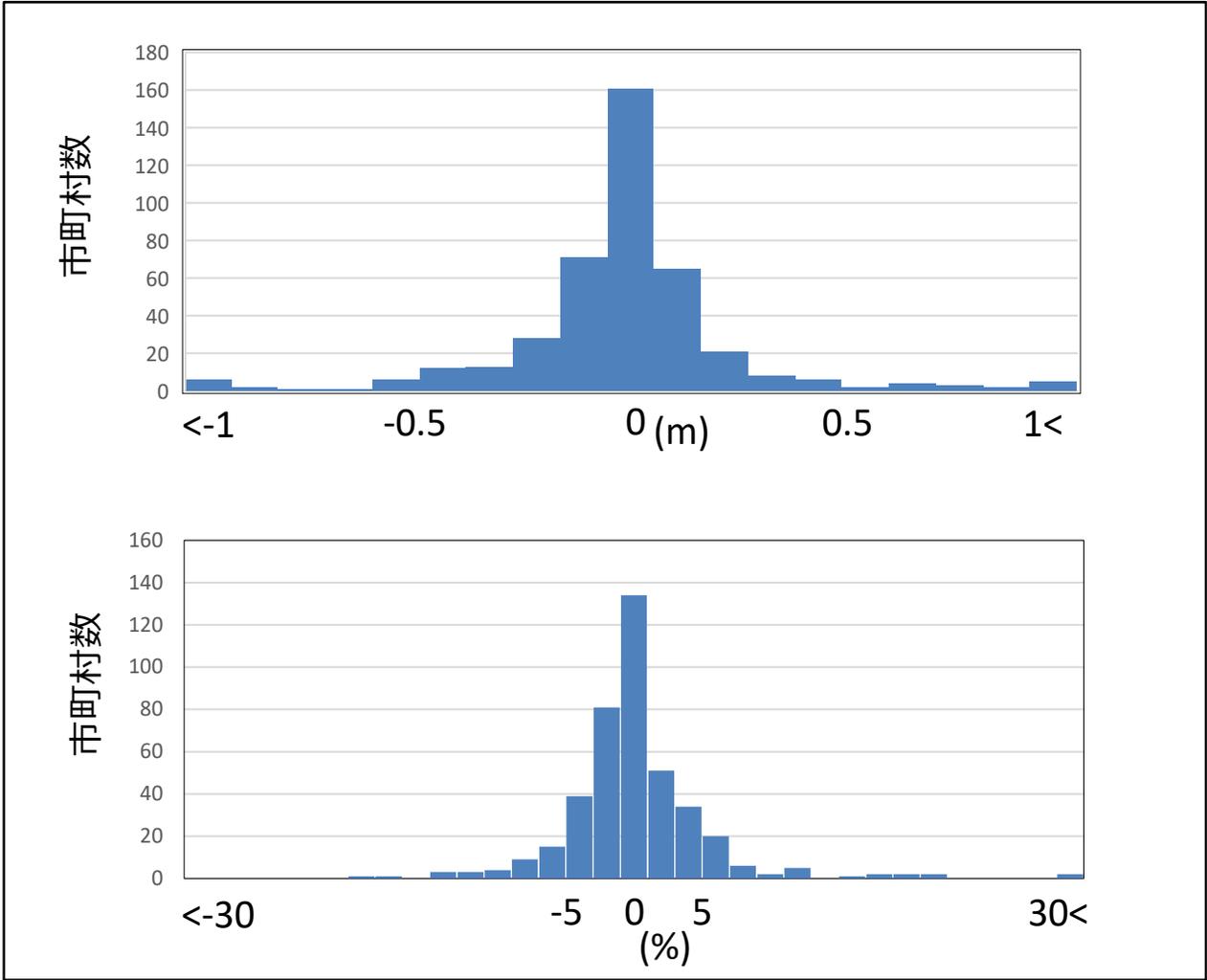


図3.11 各市町村における津波高(ケース①)の最大値の前回報告からの差(今回-前回)のヒストグラム(上図)及び差の比((今回-前回)/前回)のヒストグラム

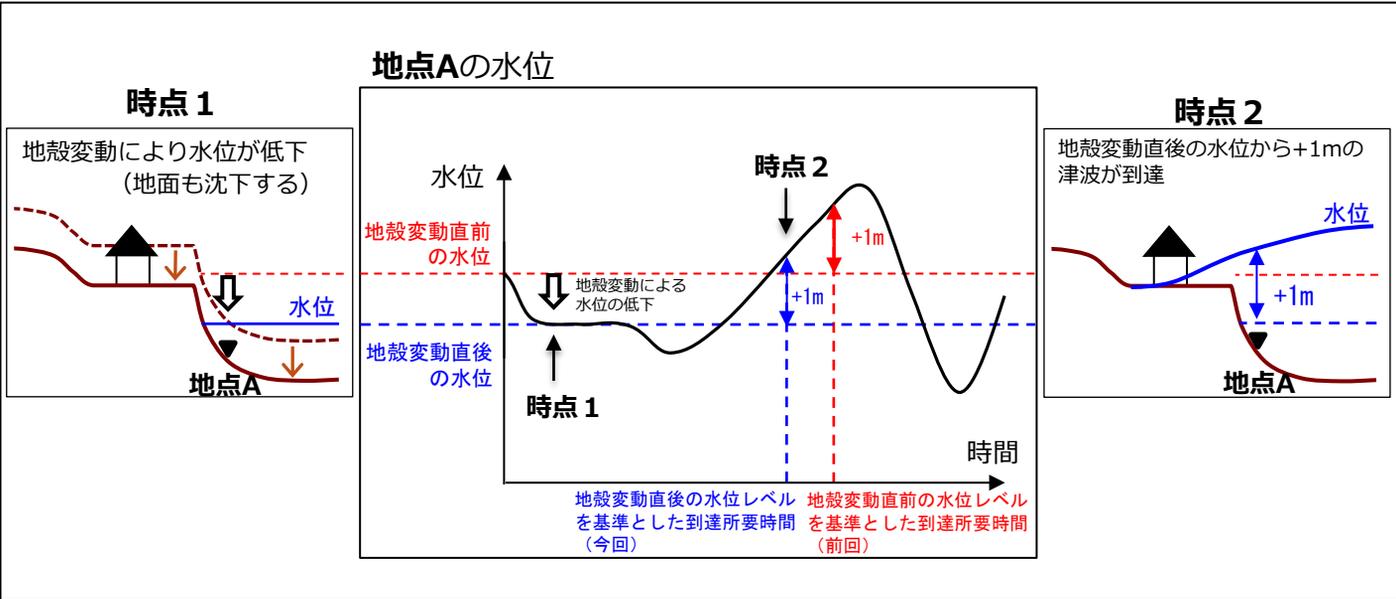


図3.12 沿岸における津波到達時間の計測方法の精査

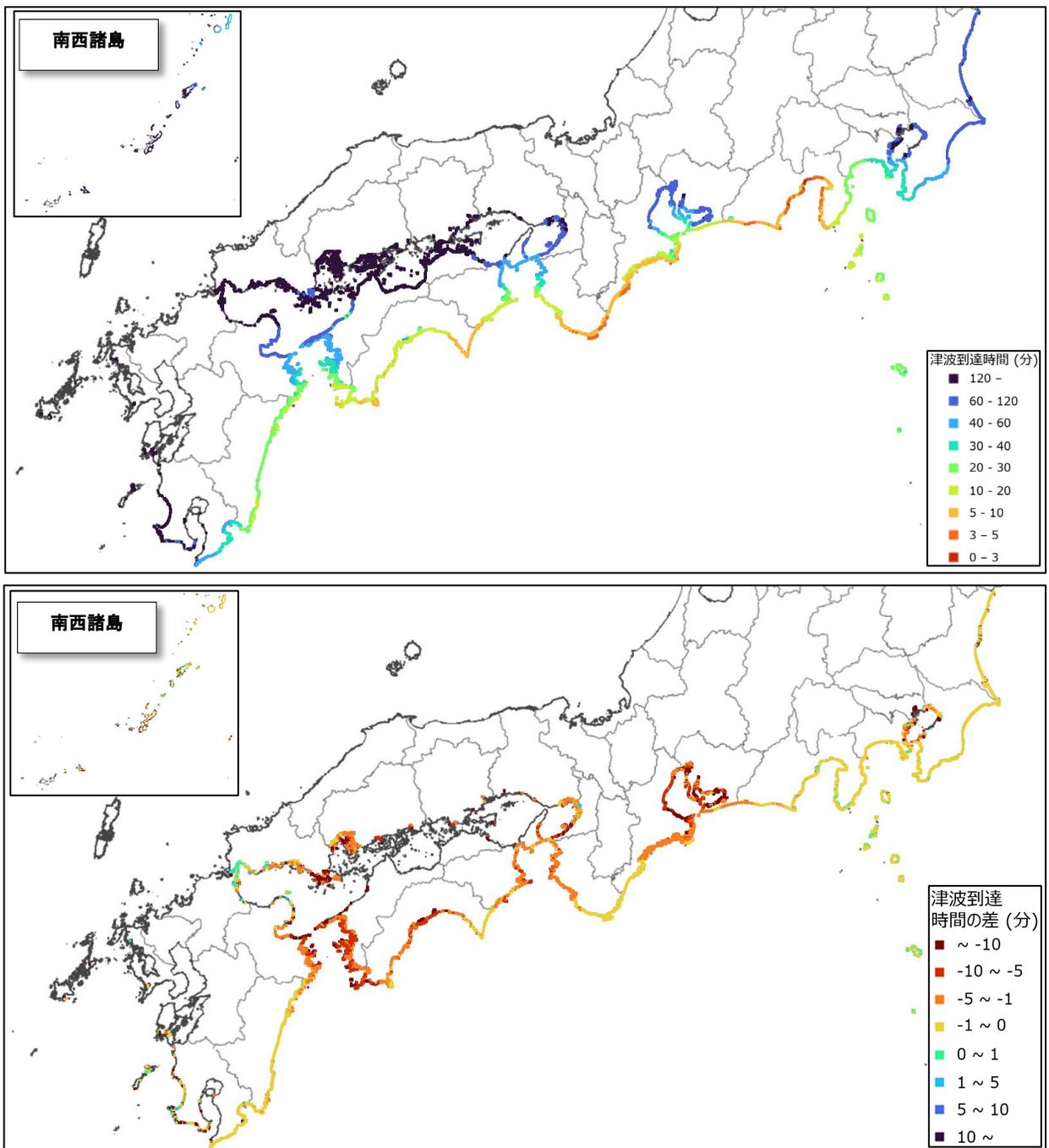


図3.13 沿岸における1mの津波到達時間（ケース①）（上図）及び前回報告との差（今回－前回）（下図）

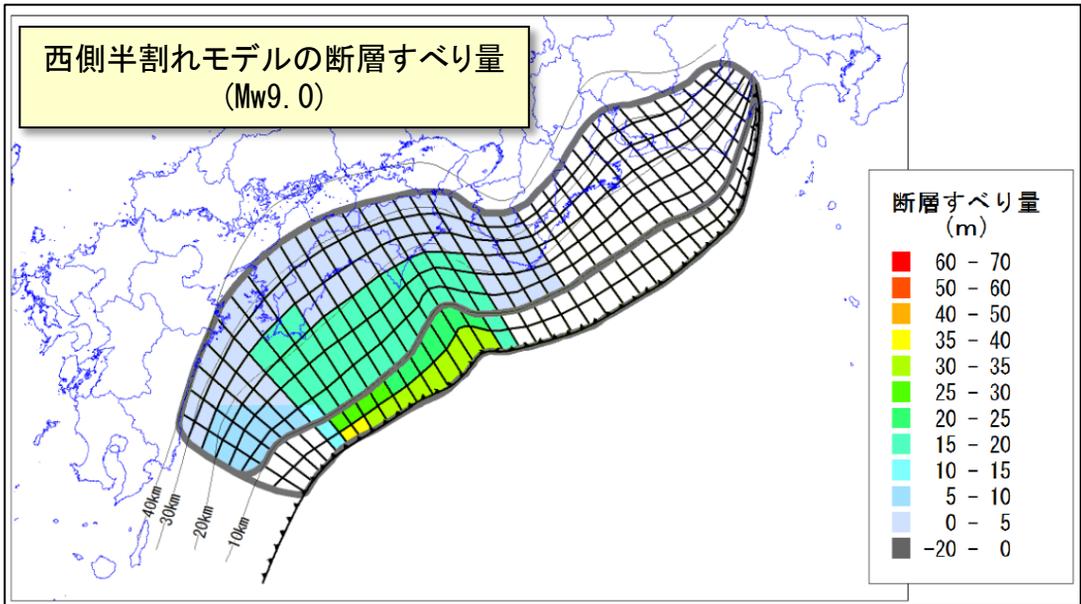
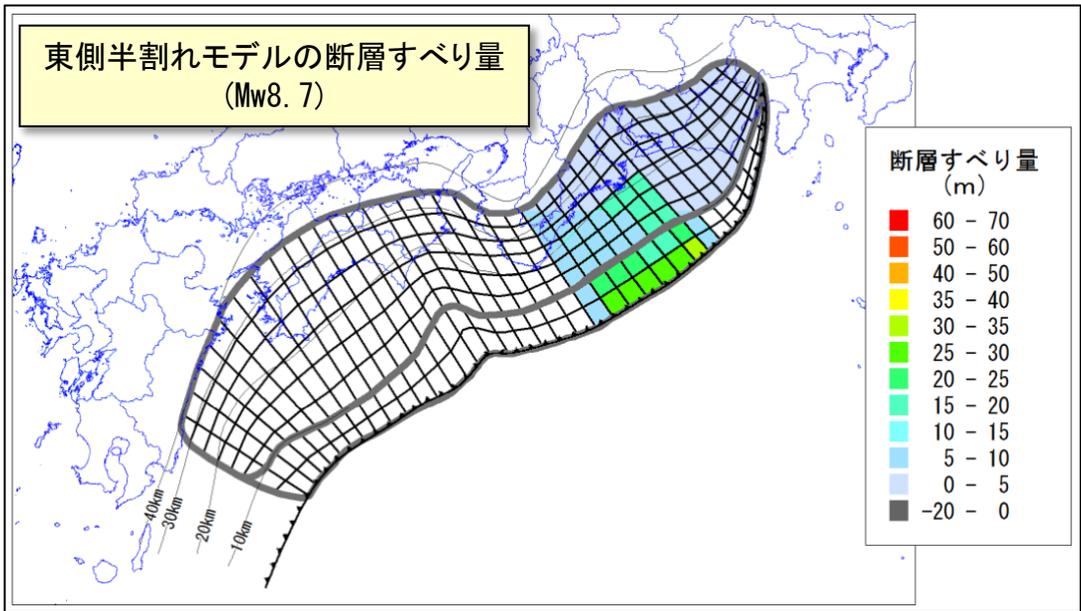


図3.14 半割れ地震の津波断層モデル

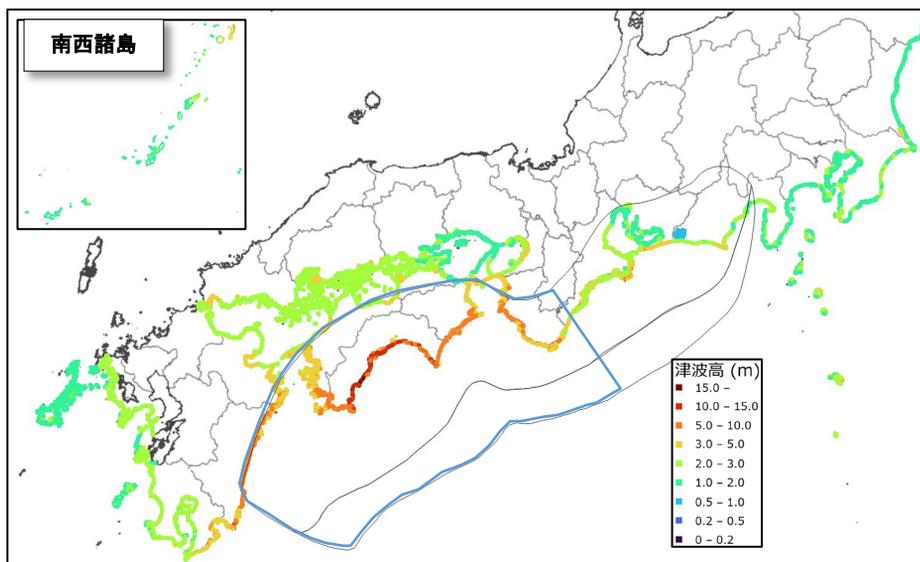
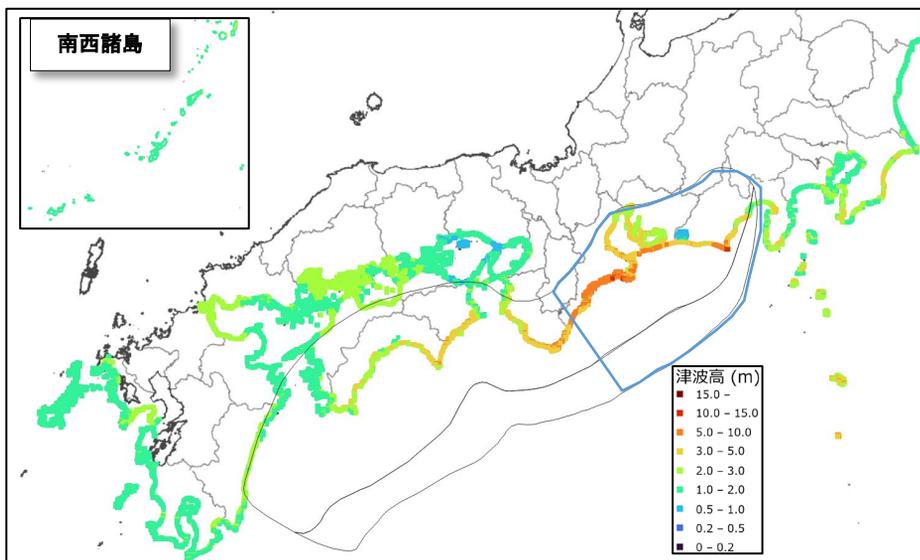
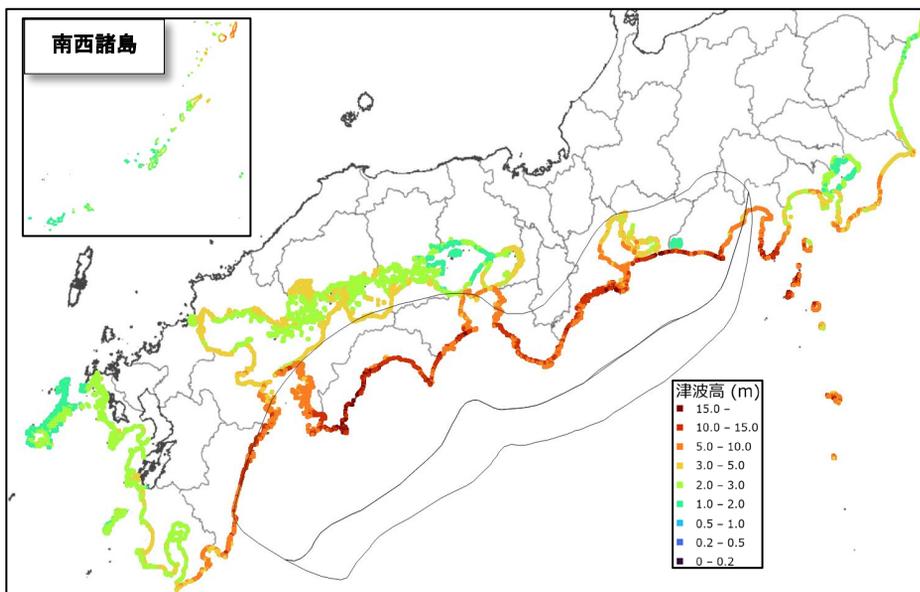


図3.15 最大クラスの地震の沿岸津波高の11ケース最大包絡(上図)、東側半割れモデルの沿岸津波高(中図)及び西側半割れモデルの沿岸津波高(下図)

浸水面積(浸水深1m以上)(ha)

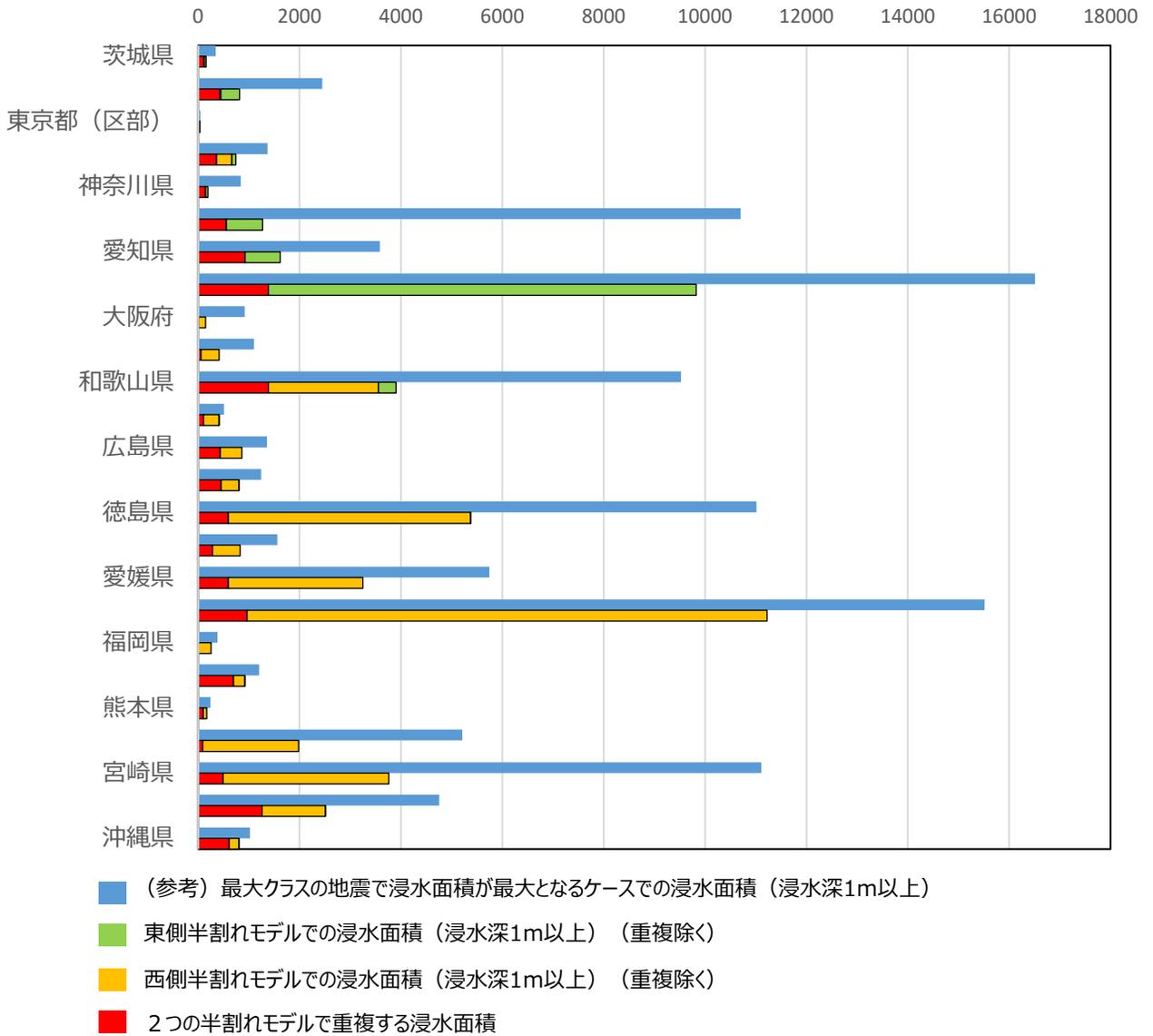


図3.16 各都府県の浸水深1m以上の面積(ha)

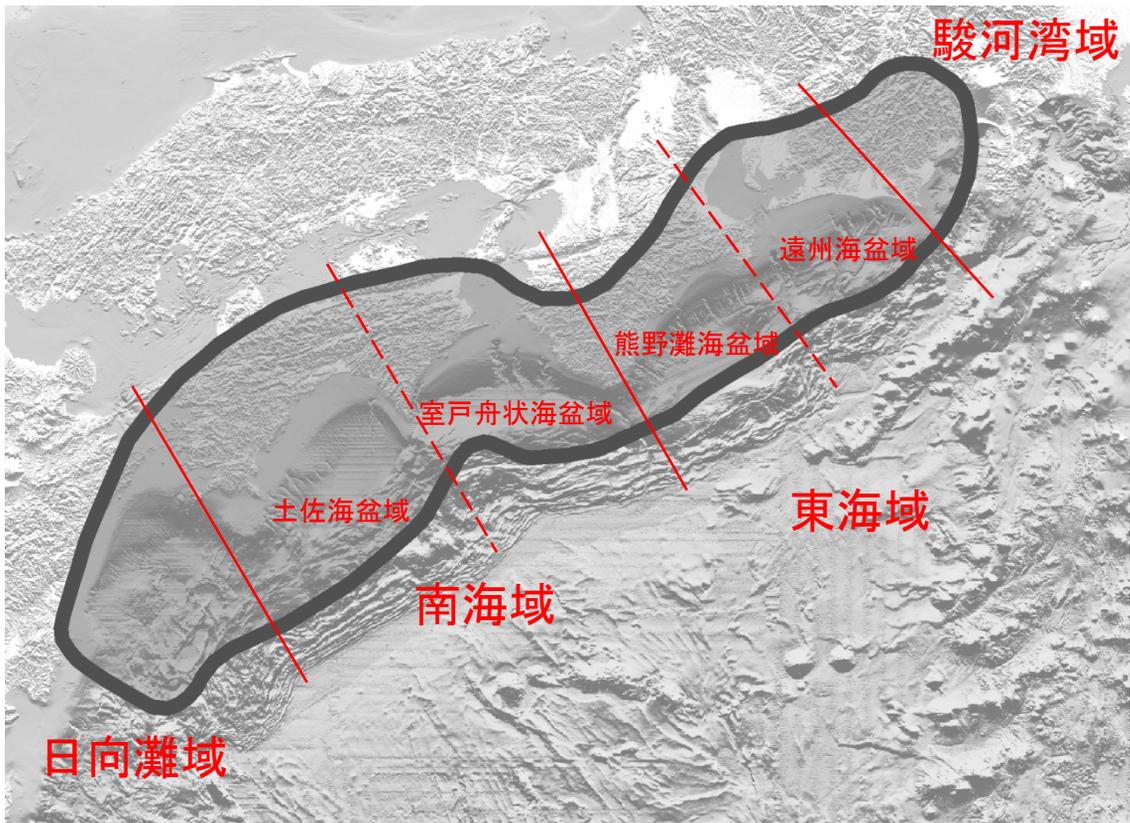


図4.1 セグメント分けと各セグメント

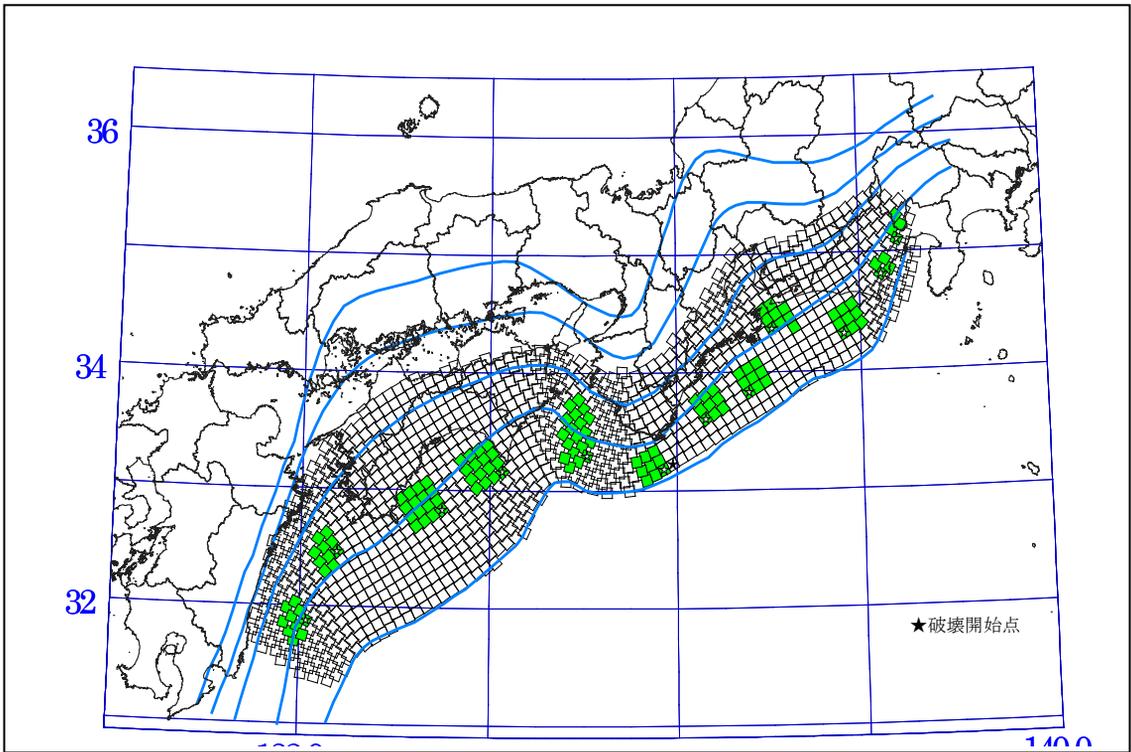


図4.2 強震動生成域の設定の検討ケース(基本ケース)

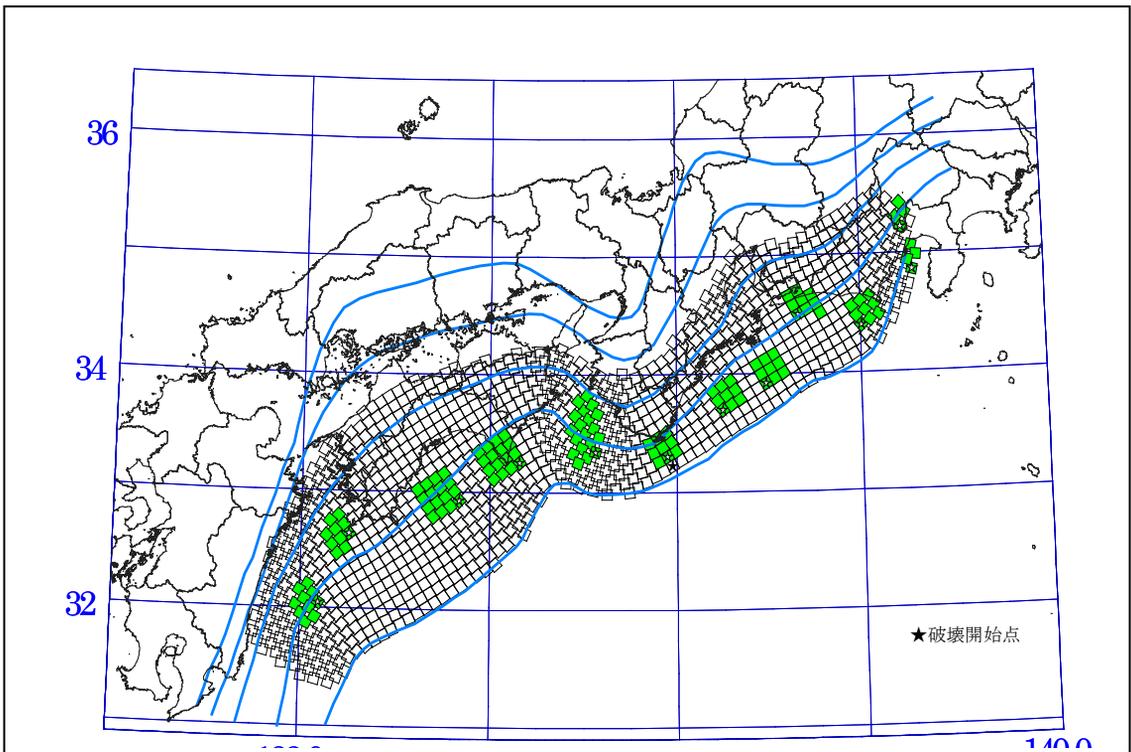


図4.3 強震動生成域の設定の検討ケース(東側ケース)

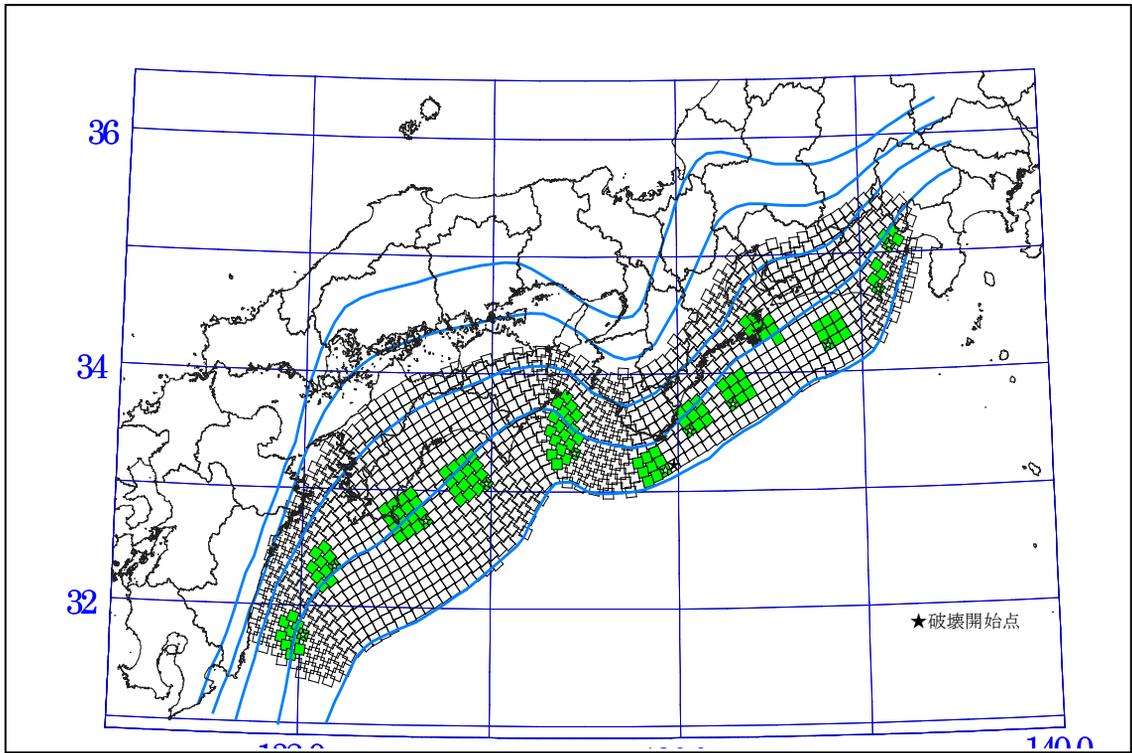


図4.4 強震動生成域の設定の検討ケース(西側ケース)

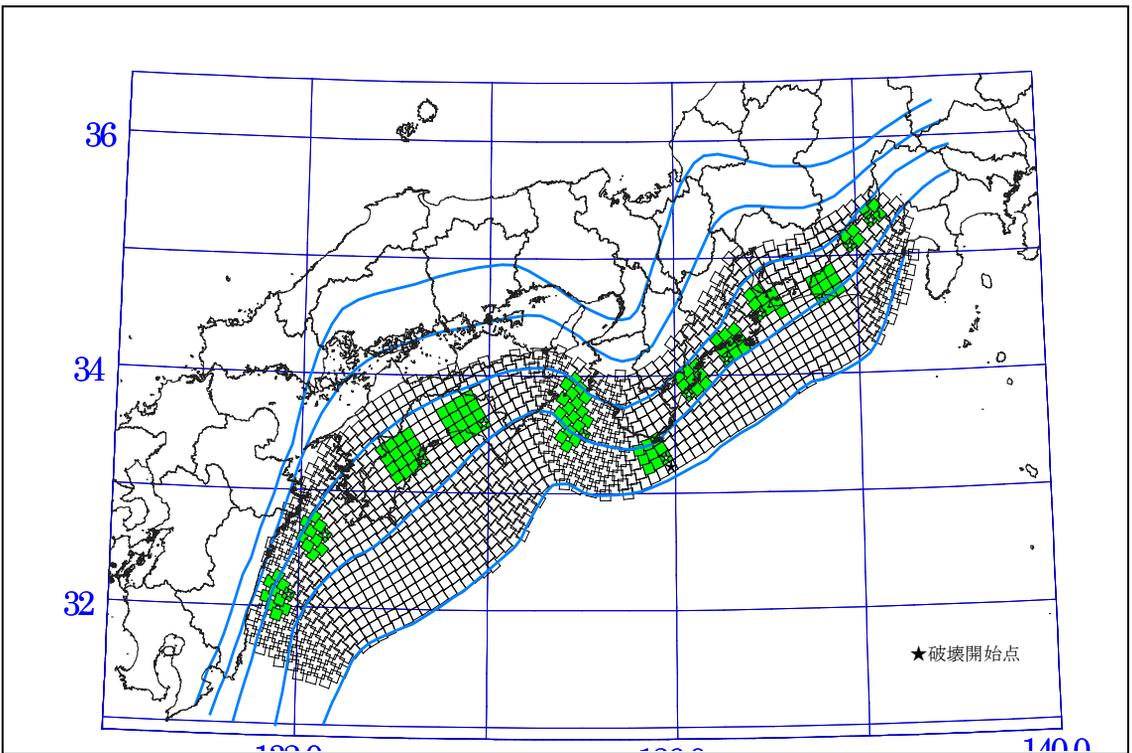


図4.5 強震動生成域の設定の検討ケース(陸側ケース)

表4.1 強震断層モデルのパラメーター一覧(基本ケース)

全体	面積(km <sup>2</sup> )	110,150			
	応力パラメータ (MPa)	2.3			
	平均すべり量(m)	7.6			
	地震モーメント(Nm)	3.4E+22			
	Mw	9.0			
各セグメント	セグメント名	日向灘域	南海域	東海域	駿河湾域
	面積(km <sup>2</sup> )	19,053	53,790	29,419	7,888
	平均応力降下量(MPa)	4	4	4	4
	平均すべり量(m)	5.5	9.3	6.9	3.6
	地震モーメント(Nm)	4.3E+21	2.0E+22	8.3E+21	1.2E+21
	Mw	8.4	8.8	8.5	8.0
強震動生成域 (セグメント全体)	面積(km <sup>2</sup> )	2,047	6,109	3,661	853
	面積比	11%	11%	12%	11%
	平均すべり量(m)	11.1	18.6	13.7	7.1
	地震モーメント(Nm)	9.3E+20	4.7E+21	2.1E+21	2.5E+20
	Mw	7.9	8.4	8.1	7.5
強震動生成域 (個別)	面積(km <sup>2</sup> )	1,018	1,953	910	438
	応力パラメータ (MPa)	34.5	46.4	45.4	34.4
	平均すべり量(m)	11.0	20.5	13.7	7.2
	地震モーメント(Nm)	4.6E+20	1.6E+21	5.1E+20	1.3E+20
	Mw	7.7	8.1	7.7	7.3
強震動生成域 (個別)	面積(km <sup>2</sup> )	1,029	1,615	914	415
	応力パラメータ(MPa)	34.5	46.4	45.4	34.4
	平均すべり量(m)	11.1	18.7	13.7	7.0
	地震モーメント(Nm)	4.7E+20	1.2E+21	5.1E+20	1.2E+20
	Mw	7.7	8.0	7.7	7.3
強震動生成域 (個別)	面積(km <sup>2</sup> )		1,612	913	
	応力パラメータ (MPa)		46.4	45.4	
	平均すべり量(m)		18.7	13.7	
	地震モーメント(Nm)		1.2E+21	5.1E+20	
	Mw		8.0	7.7	
強震動生成域 (個別)	面積(km <sup>2</sup> )		929	924	
	応力パラメータ (MPa)		46.4	45.4	
	平均すべり量(m)		14.2	13.8	
	地震モーメント(Nm)		5.4E+20	5.2E+20	
	Mw		7.8	7.7	
背景領域	面積(km <sup>2</sup> )	17,006	47,681	25,758	7,035
	応力パラメータ (MPa)	3.7	3.7	3.7	3.7
	平均すべり量(m)	4.9	8.1	5.9	3.1
	地震モーメント(Nm)	3.4E+21	1.6E+22	6.2E+21	9.0E+20
	Mw	8.3	8.7	8.5	7.9
その他	破壊伝播速度(km/s)	2.7	2.7	2.7	2.7
	fmax(Hz)	6Hz	6Hz	6Hz	6Hz
	剛性率(Nm <sup>2</sup> )	4.1E+10	4.1E+10	4.1E+10	4.1E+10

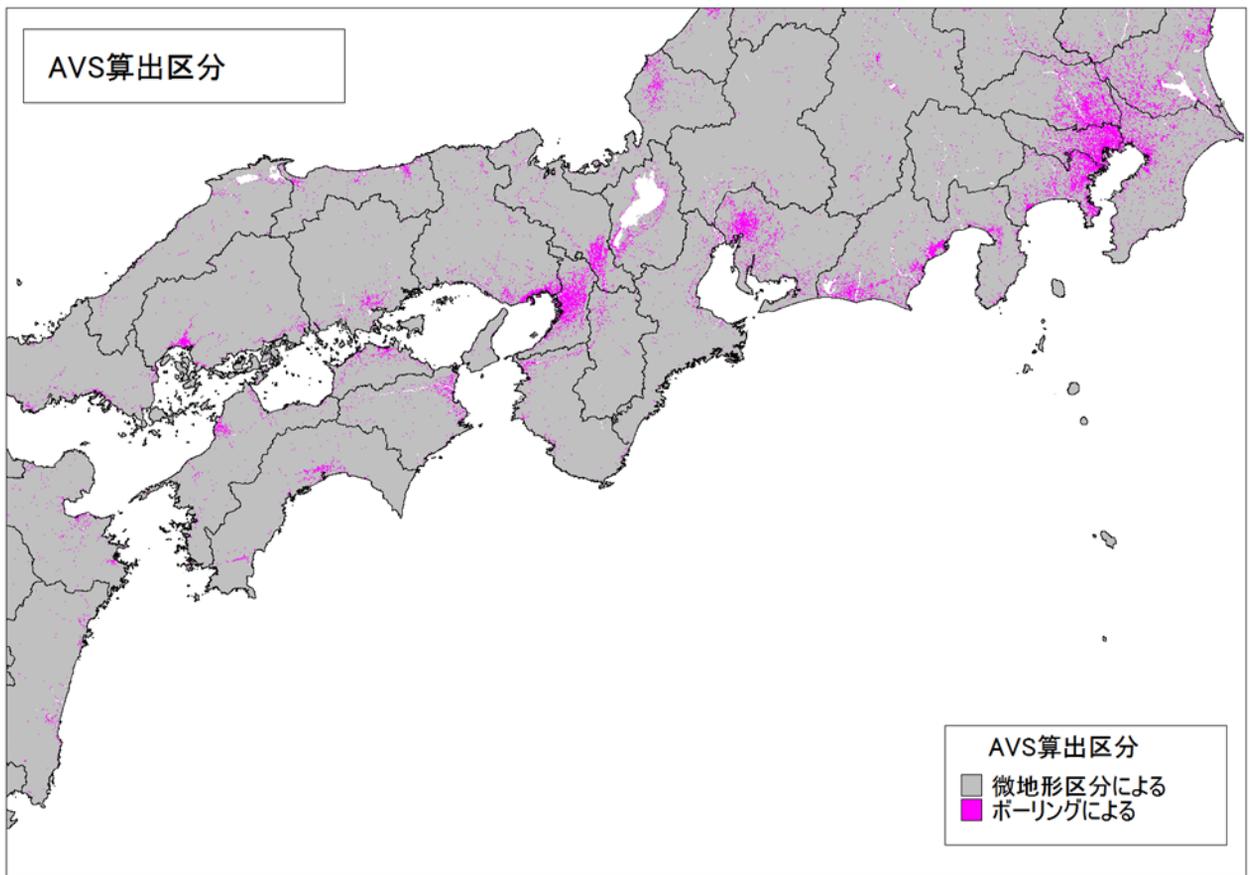


図4.6 AVS30の算出に用いたボーリング位置図（PS検層データも含む）

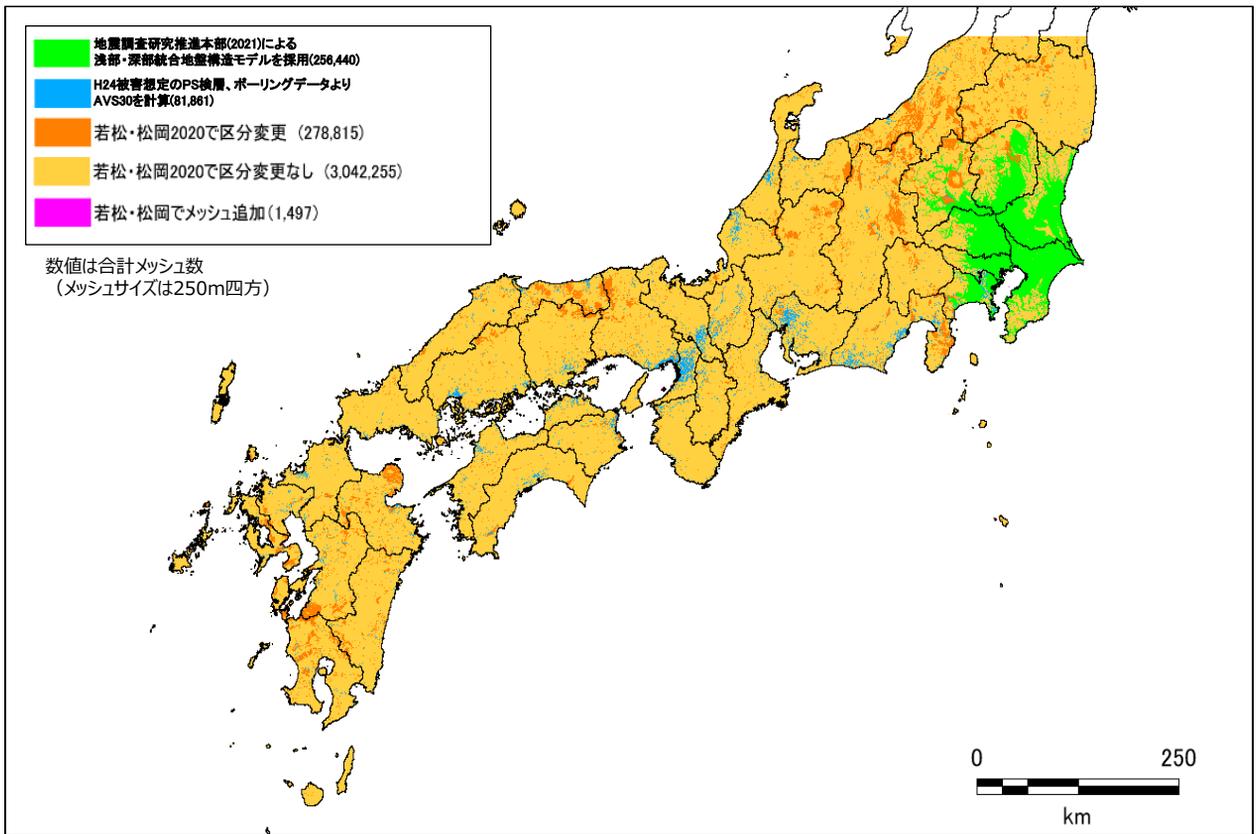


図4.7 浅部地盤構造モデルの更新

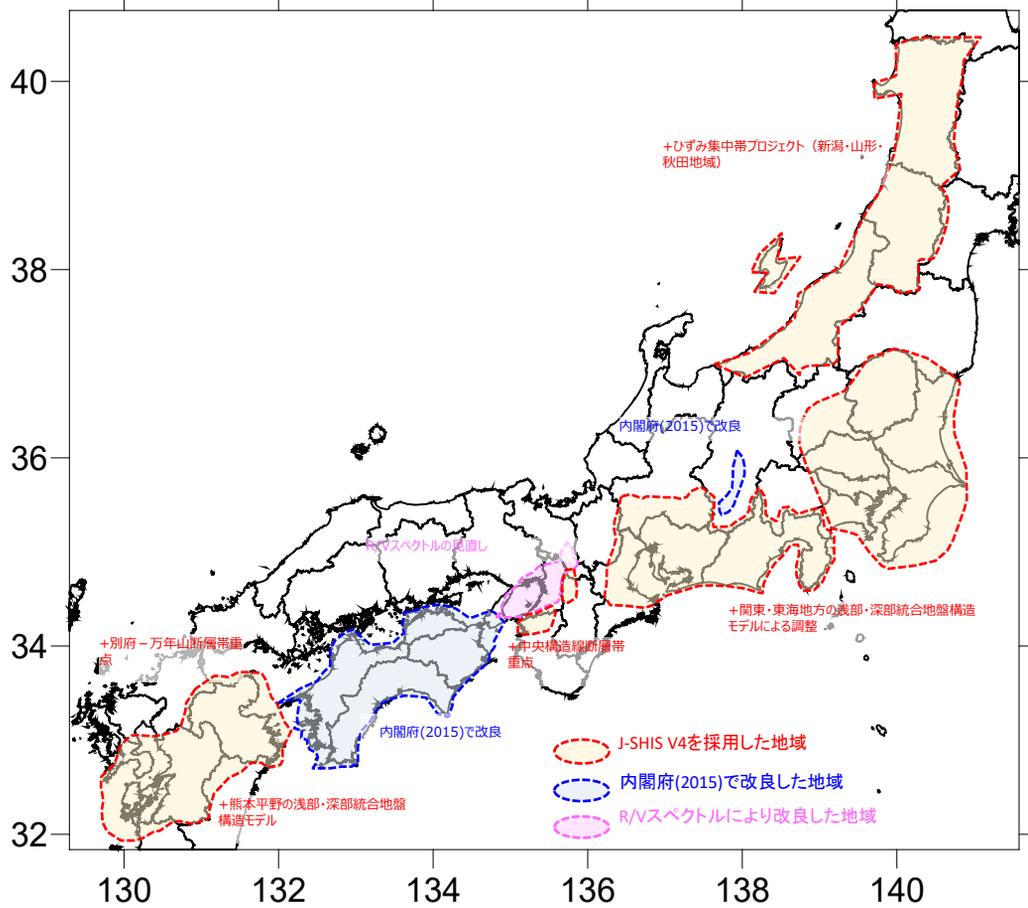


図4.8 深部地盤構造モデルを更新した地域

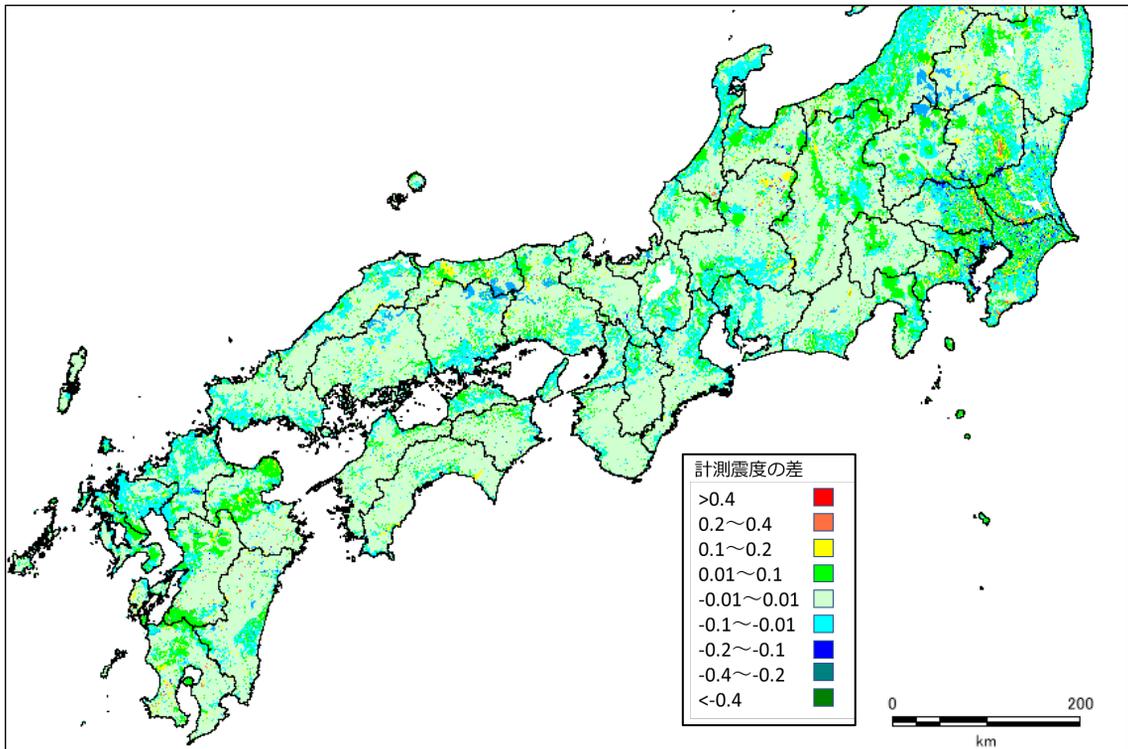
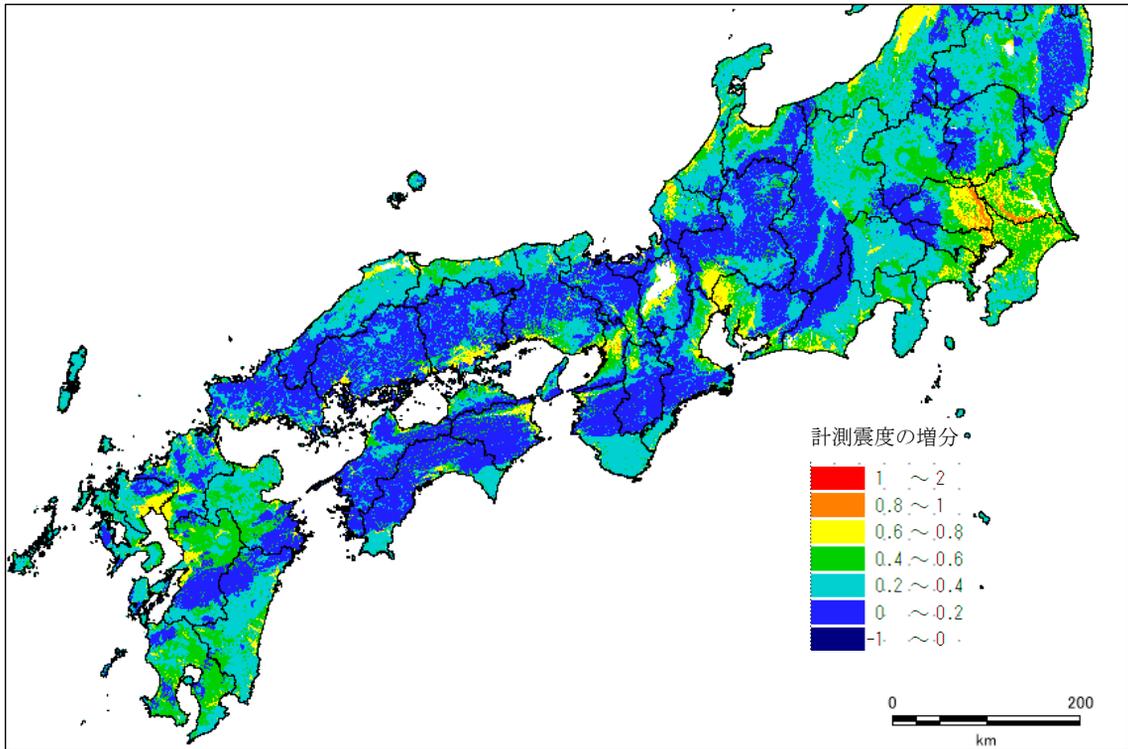


図4.9 本報告の浅部地盤構造モデルによる震度増分(上)と本報告と前回報告の浅部地盤モデルによる震度増分の差(下)

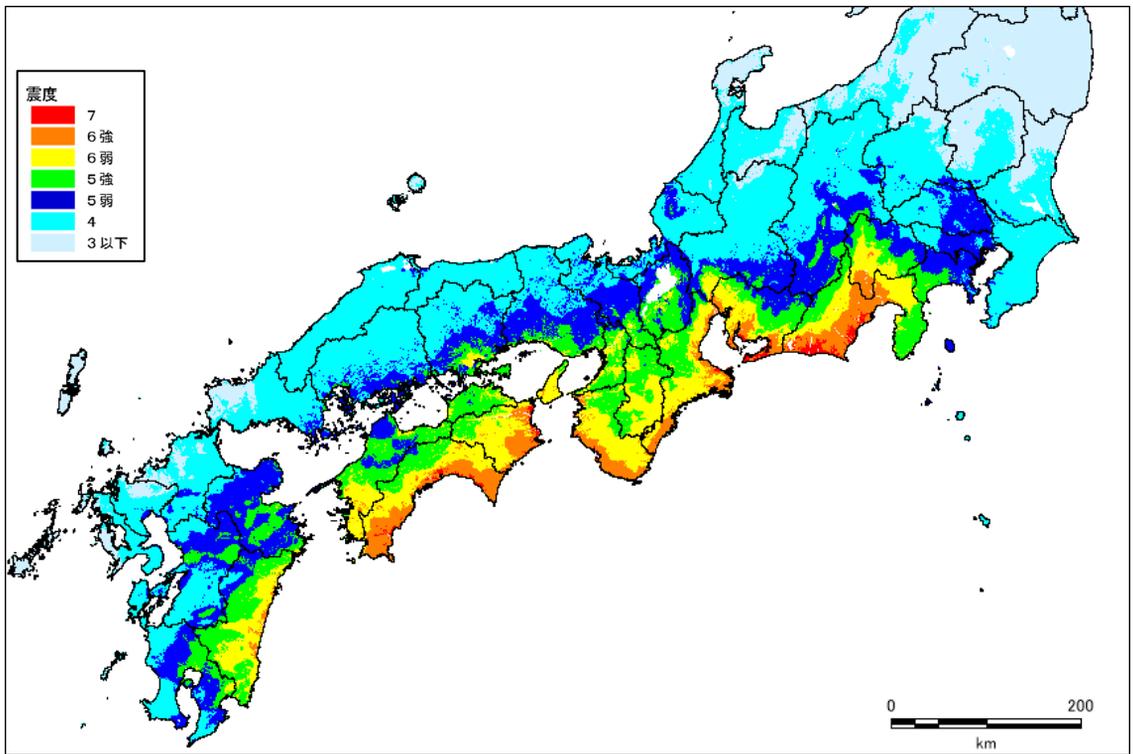


図4.10 基本ケースの震度分布

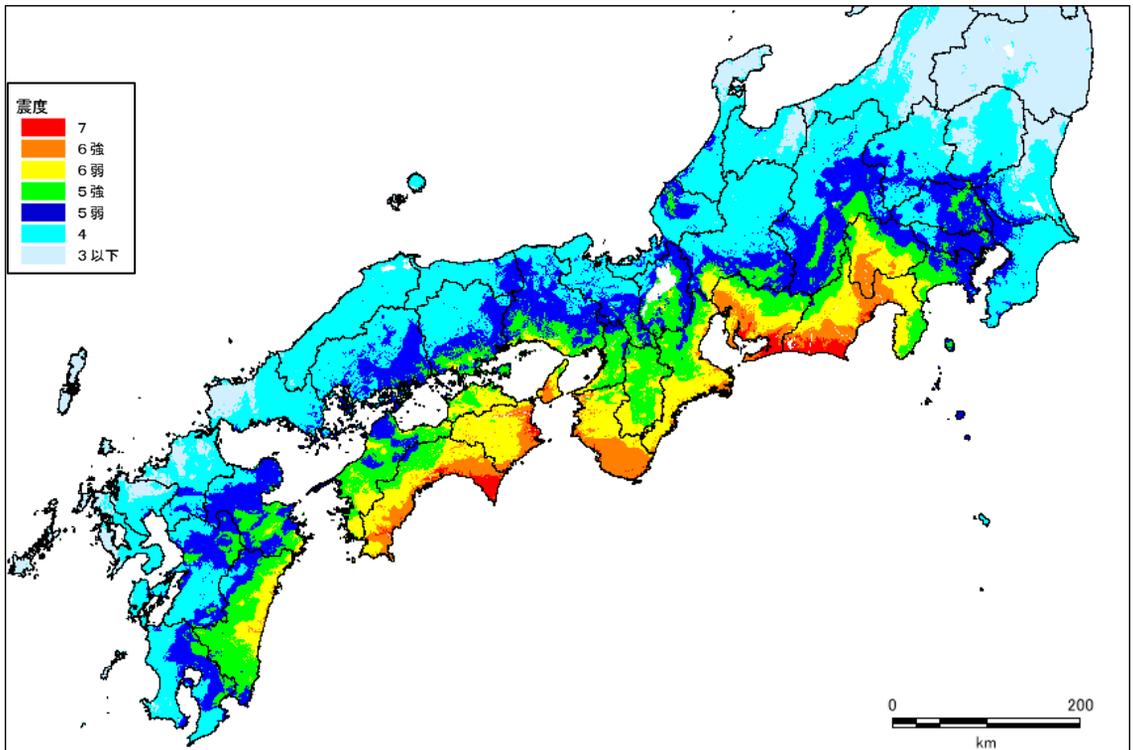


図4.11 東側ケースの震度分布

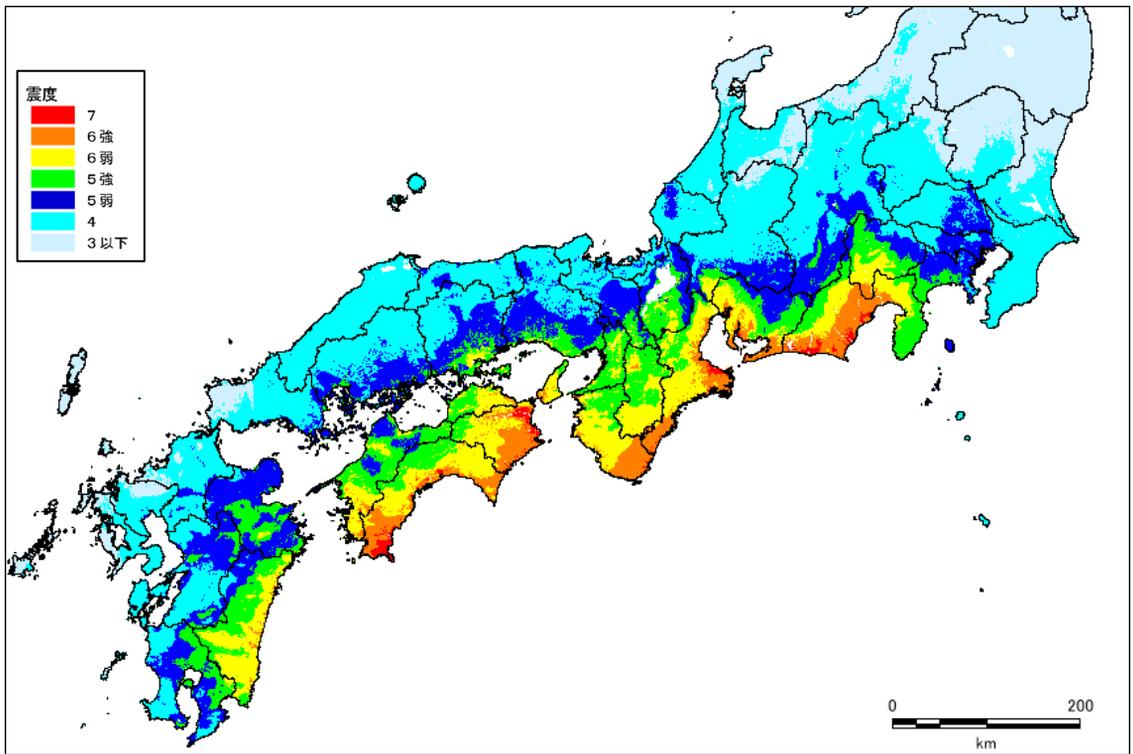


図4.12 西側ケースの震度分布

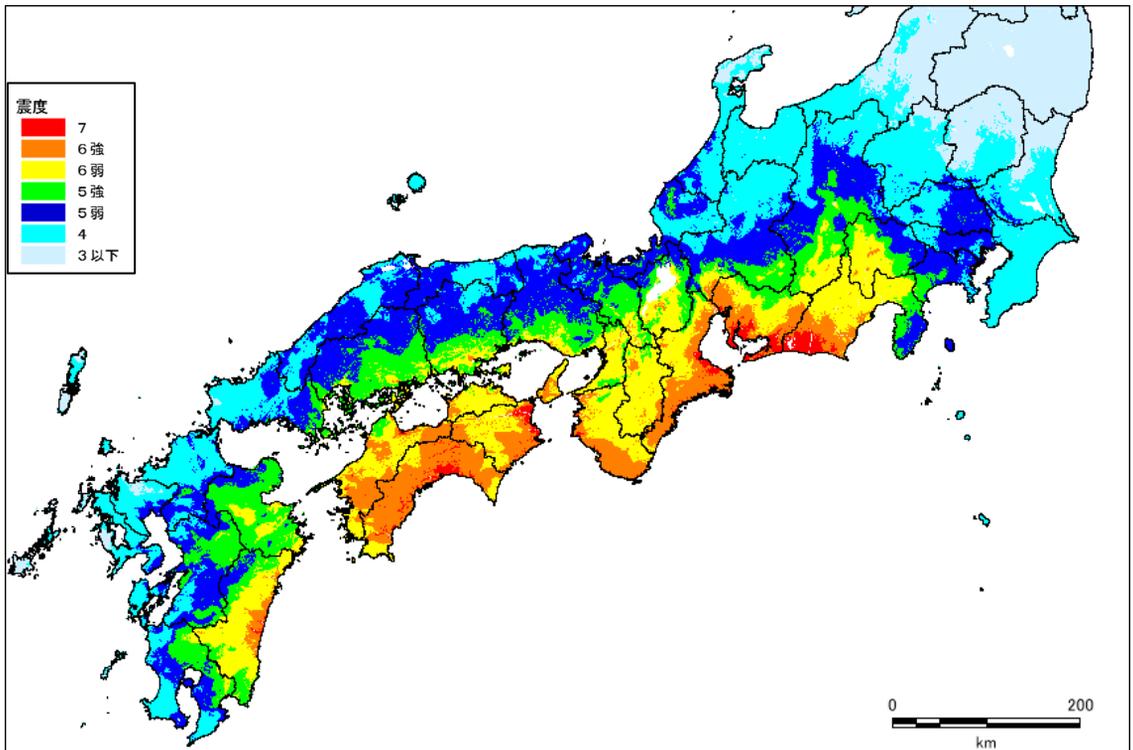


図4.13 陸側ケースの震度分布

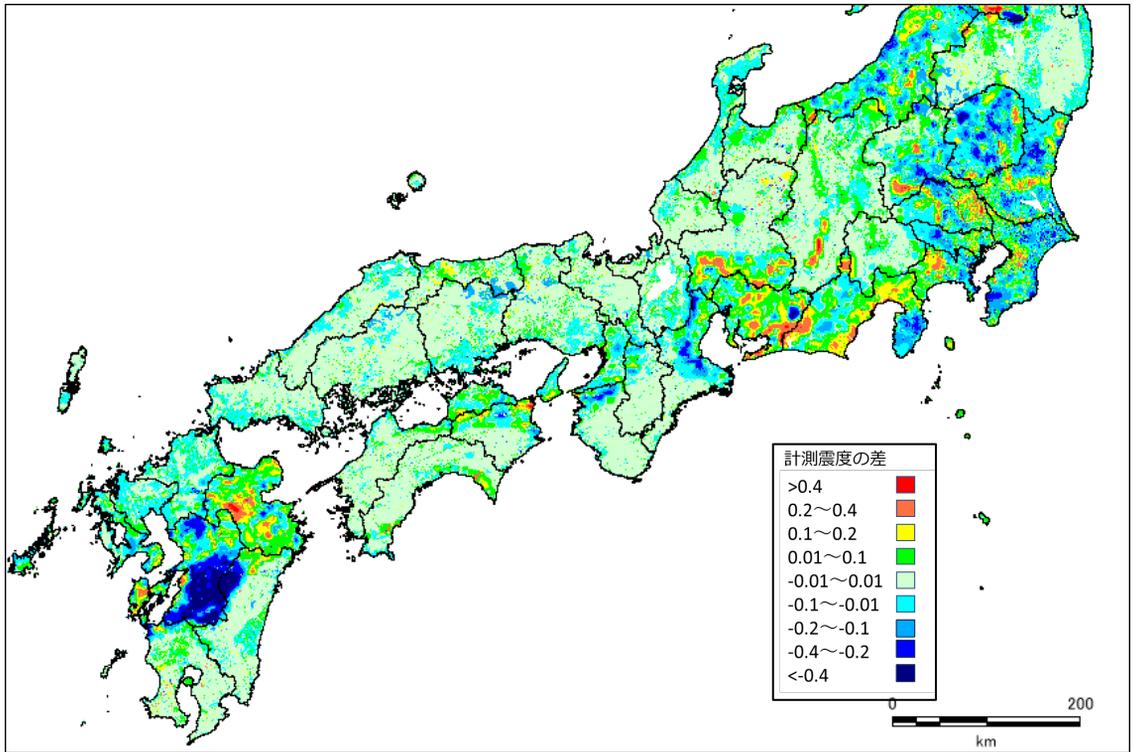


図4.14 前回報告の震度との差(基本ケース)

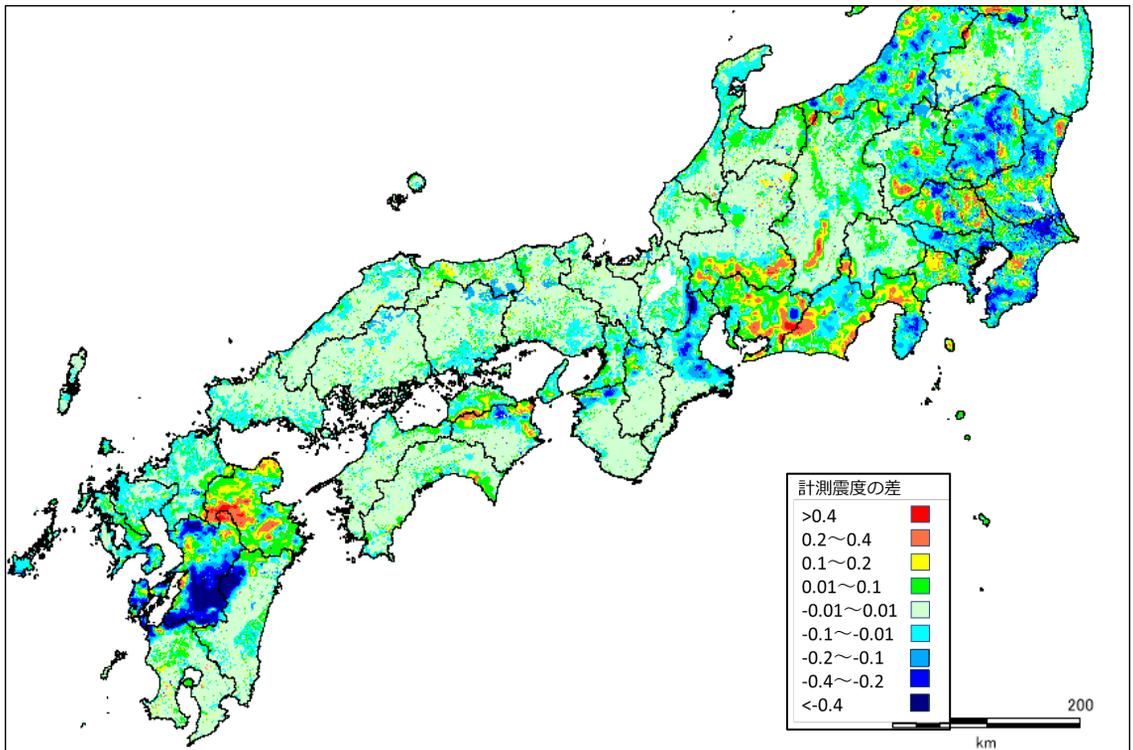


図4.15 前回報告の震度との差(東側ケース)

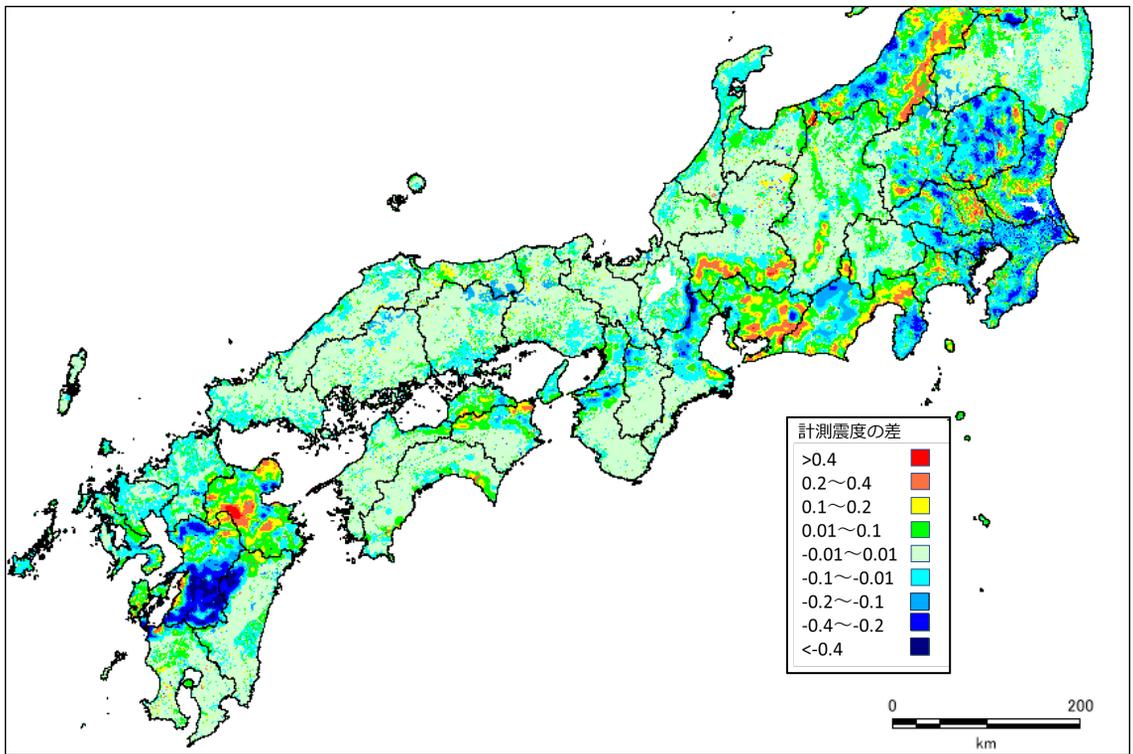


図4.16 前回報告の震度との差(西側ケース)

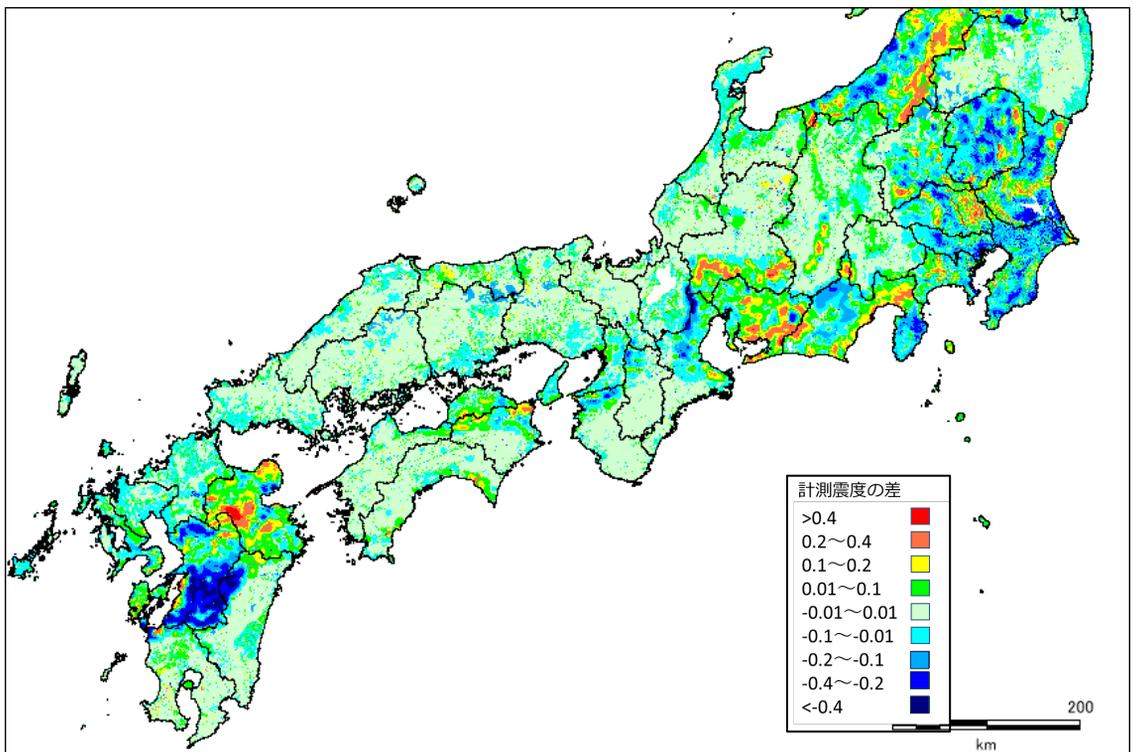


図4.17 前回報告の震度との差(陸側ケース)

表4.2 各検討ケースにおける本報告と前回報告の震度ごとの面積

ケース	震度	面積（本報告）	面積（前回報告）
基本ケース	6弱	23,704 km <sup>2</sup>	25,599 km <sup>2</sup>
	6強	10,548 km <sup>2</sup>	12,052 km <sup>2</sup>
	7	1,330 km <sup>2</sup>	1,579 km <sup>2</sup>
東側ケース	6弱	24,956 km <sup>2</sup>	24,931 km <sup>2</sup>
	6強	10,737 km <sup>2</sup>	10,742 km <sup>2</sup>
	7	2,407 km <sup>2</sup>	2,046 km <sup>2</sup>
西側ケース	6弱	24,159 km <sup>2</sup>	24,511 km <sup>2</sup>
	6強	10,894 km <sup>2</sup>	10,895 km <sup>2</sup>
	7	1,544 km <sup>2</sup>	1,171 km <sup>2</sup>
陸側ケース	6弱	36,254 km <sup>2</sup>	36,536 km <sup>2</sup>
	6強	20,462 km <sup>2</sup>	20,774 km <sup>2</sup>
	7	3,134 km <sup>2</sup>	3,243 km <sup>2</sup>

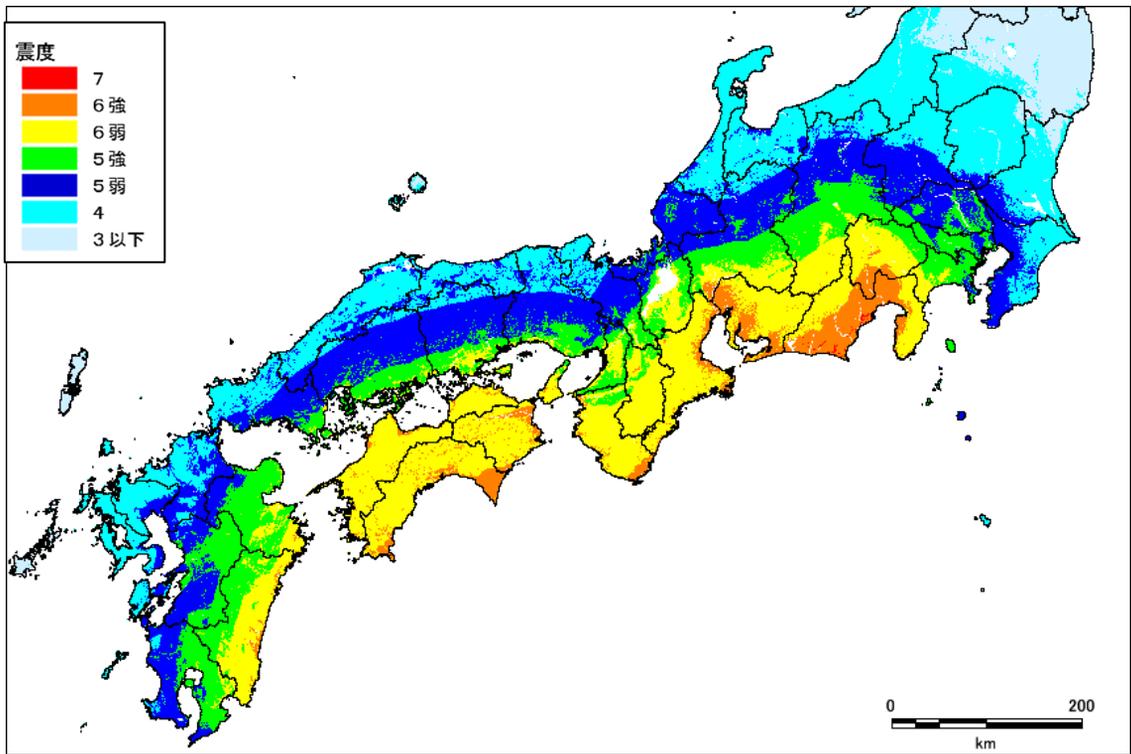


図4.18 経験的手法による震度分布

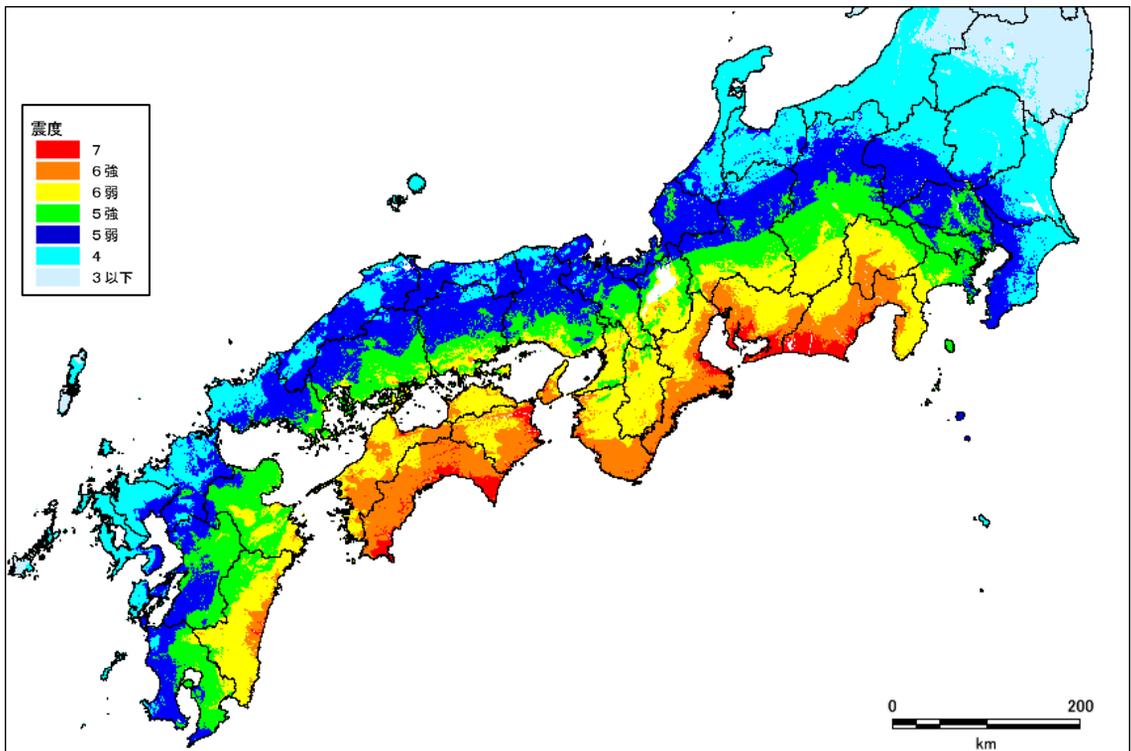


図4.19 強震波形4ケースと経験的手法の震度の最大値の分布

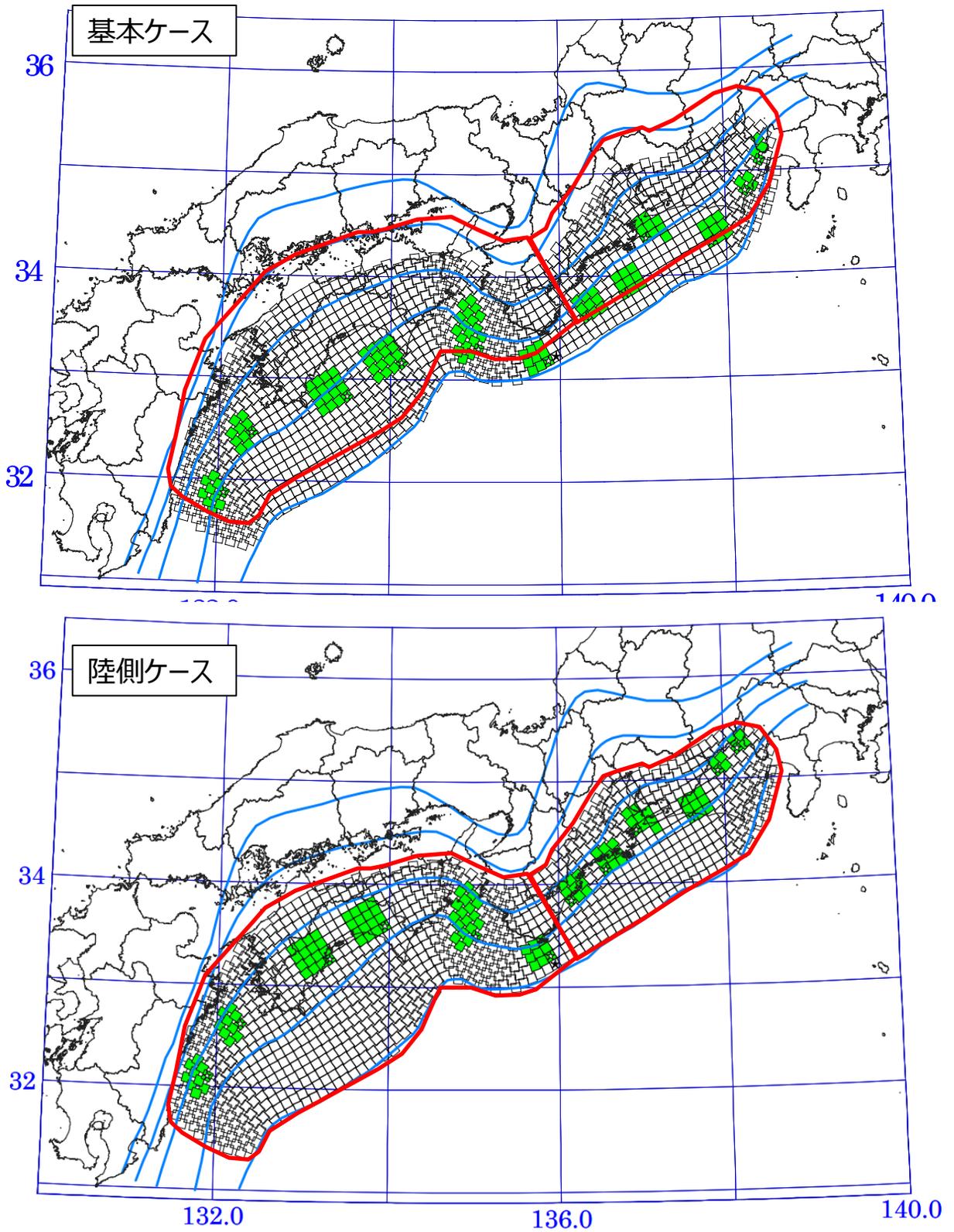


図4.20 半割れ地震の強震動生成域の設定(上:基本ケース、下;陸側ケース)

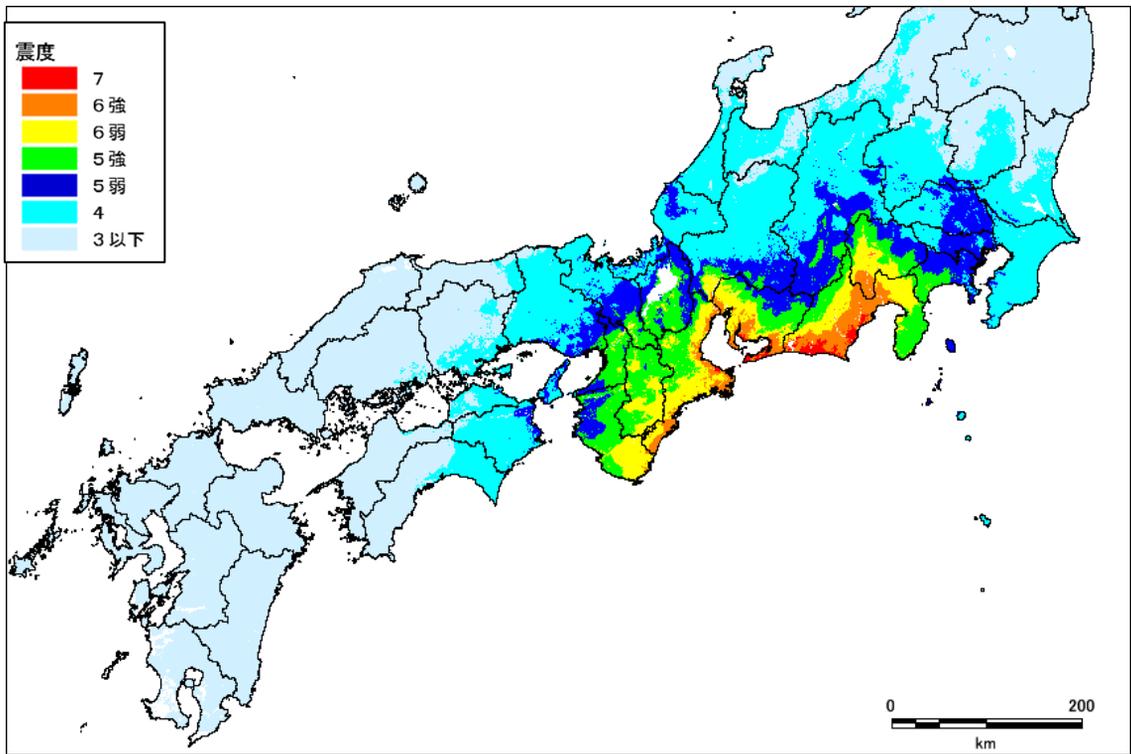


図4.21 東側半割れの震度分布(基本ケース)

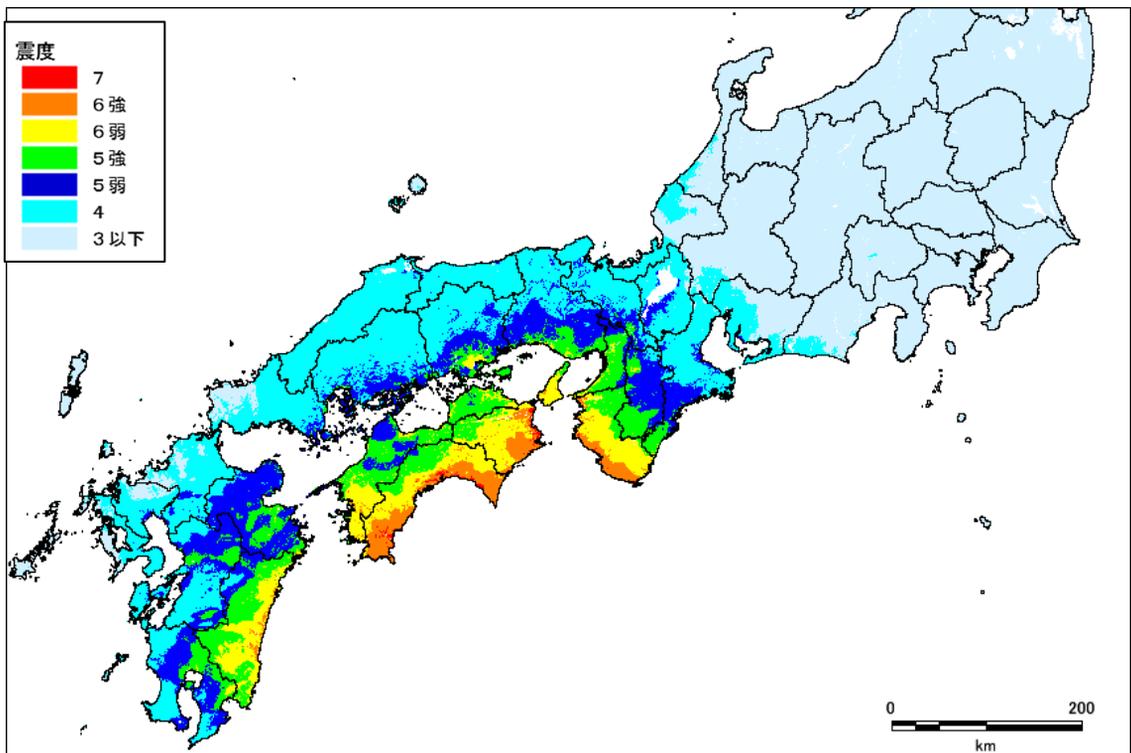


図4.22 西側半割れの震度分布(基本ケース)

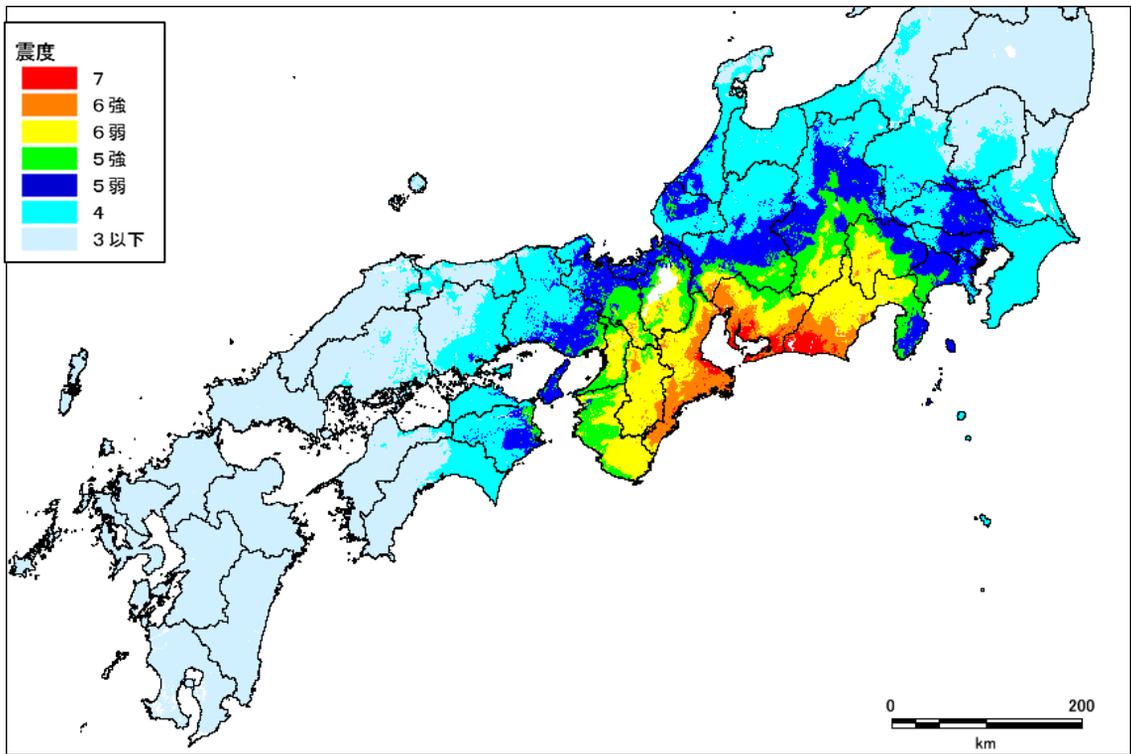


図4.23 東側半割れの震度分布(陸側ケース)

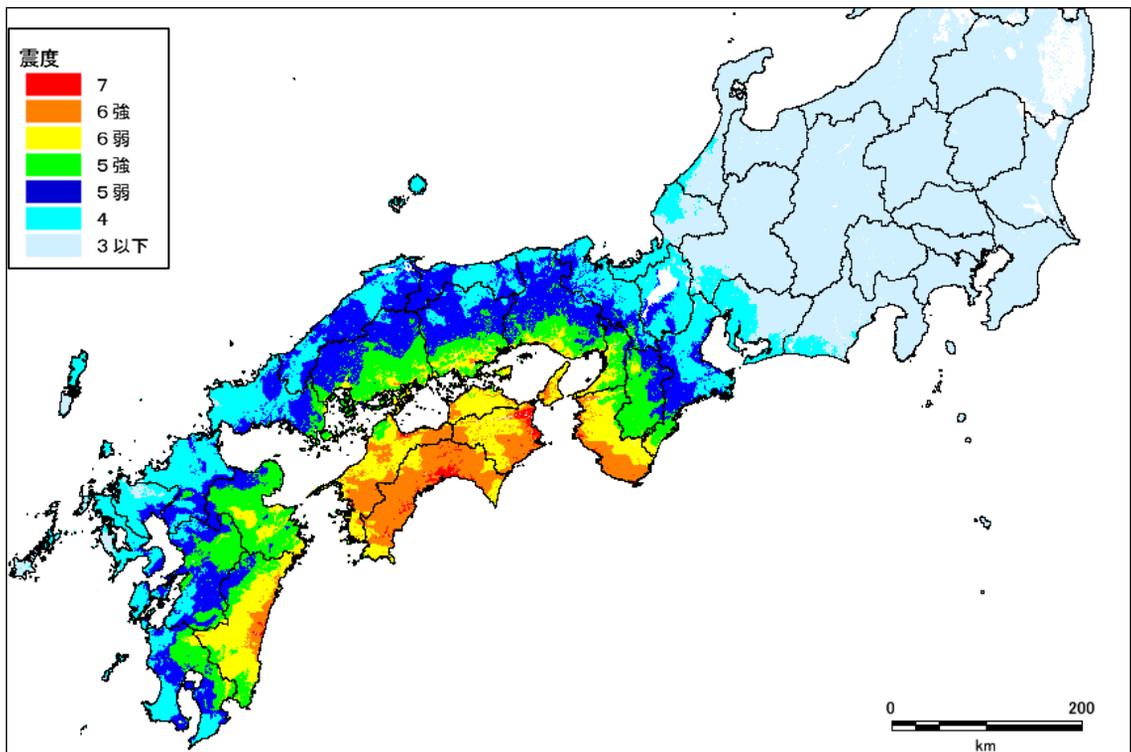


図4.24 西側半割れの震度分布(陸側ケース)

表4.3 半割れ地震による震度ごとの面積

		東側半割れ	西側半割れ	東西包絡	重複	【参考】最大クラス
基本 ケース	震度 6 弱以上	16,813 km <sup>2</sup>	18,999 km <sup>2</sup>	34,391 km <sup>2</sup>	1,422 km <sup>2</sup>	35,582 km <sup>2</sup>
	震度 6 強以上	5,943 km <sup>2</sup>	5,735 km <sup>2</sup>	11,659 km <sup>2</sup>	20 km <sup>2</sup>	11,878 km <sup>2</sup>
	震度 7 以上	876 km <sup>2</sup>	442 km <sup>2</sup>	1,318 km <sup>2</sup>	0 km <sup>2</sup>	1,330 km <sup>2</sup>
陸側 ケース	震度 6 弱以上	29,314 km <sup>2</sup>	33,316 km <sup>2</sup>	59,457 km <sup>2</sup>	3,173 km <sup>2</sup>	59,850 km <sup>2</sup>
	震度 6 強以上	9,211 km <sup>2</sup>	13,993 km <sup>2</sup>	23,182 km <sup>2</sup>	21 km <sup>2</sup>	23,596 km <sup>2</sup>
	震度 7 以上	1,919 km <sup>2</sup>	1,205 km <sup>2</sup>	3,124 km <sup>2</sup>	0 km <sup>2</sup>	3,134 km <sup>2</sup>

※「東西包絡」は、東側半割れ及び西側半割れによる地震のうち大きい方の震度を用いて面積を計算  
 ※「重複」は、東側半割れ、西側半割れのどちらの地震でも震度の条件を満たす地域の面積

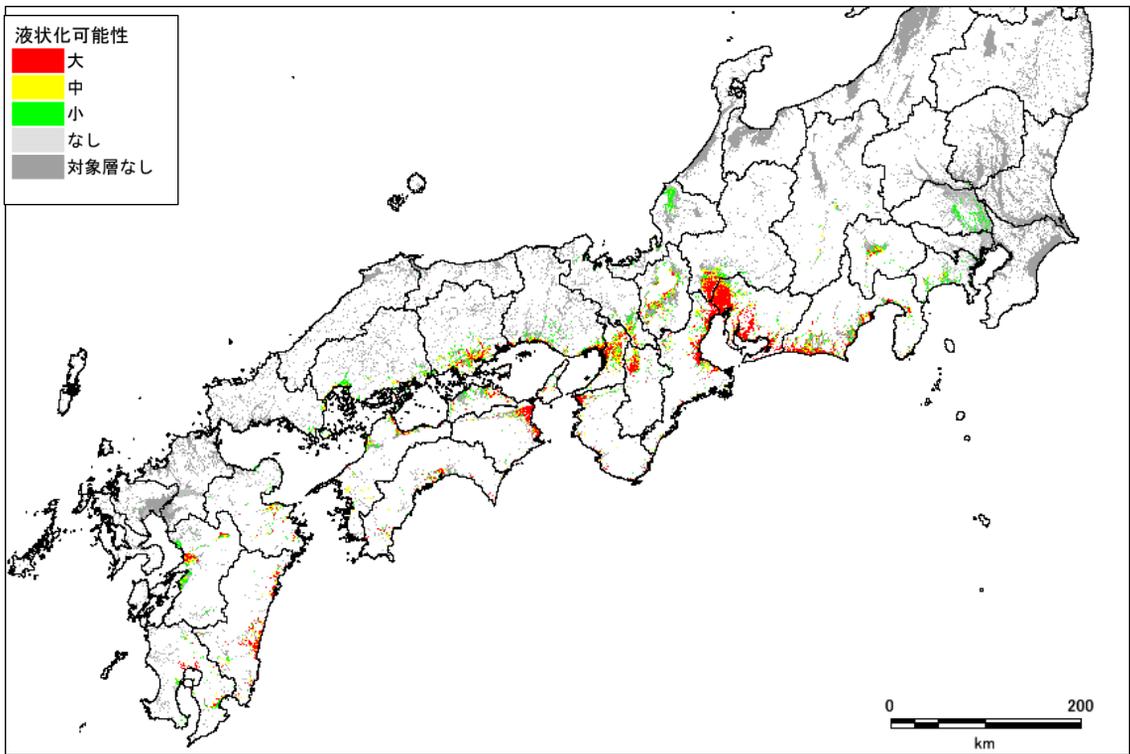


図4.25 液状化可能性の評価(基本ケース)

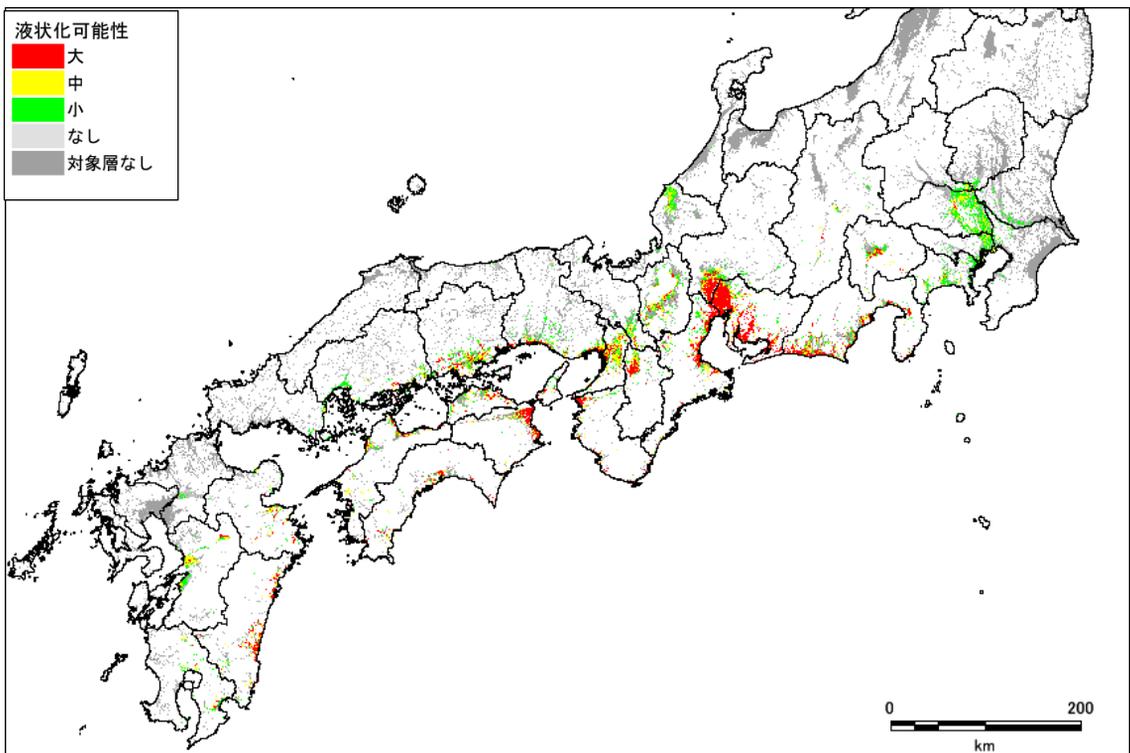


図4.26 液状化可能性の評価(東側ケース)

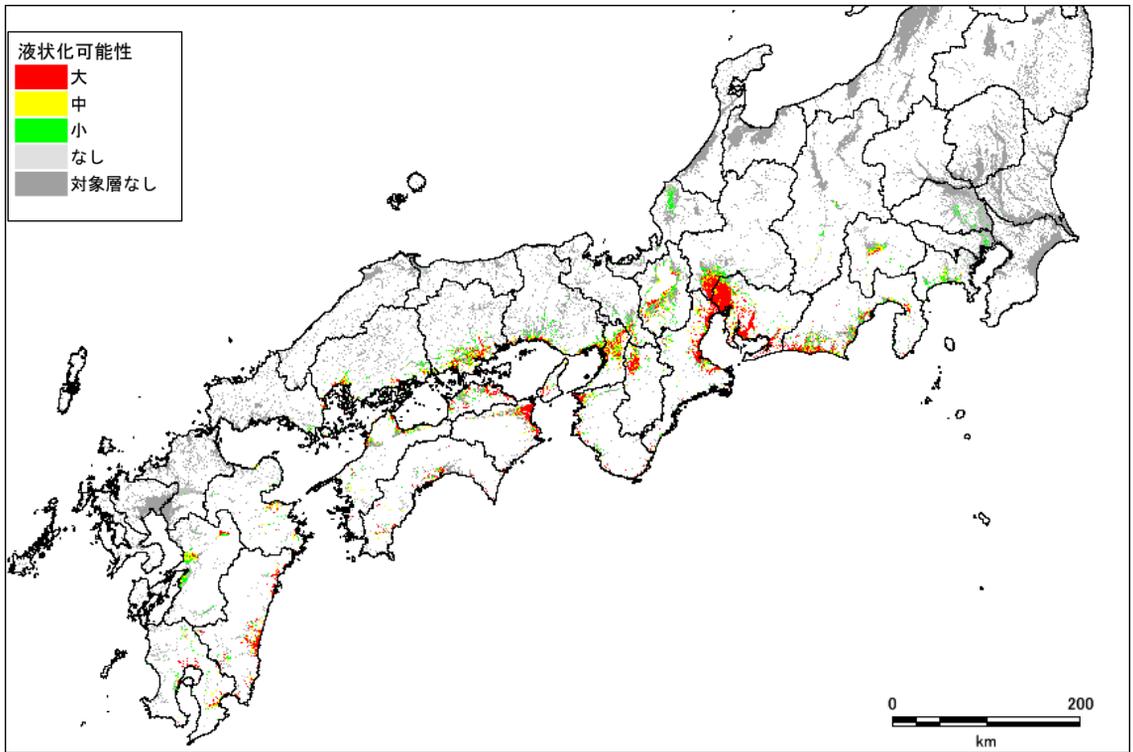


図4.27 液状化可能性の評価(西側ケース)

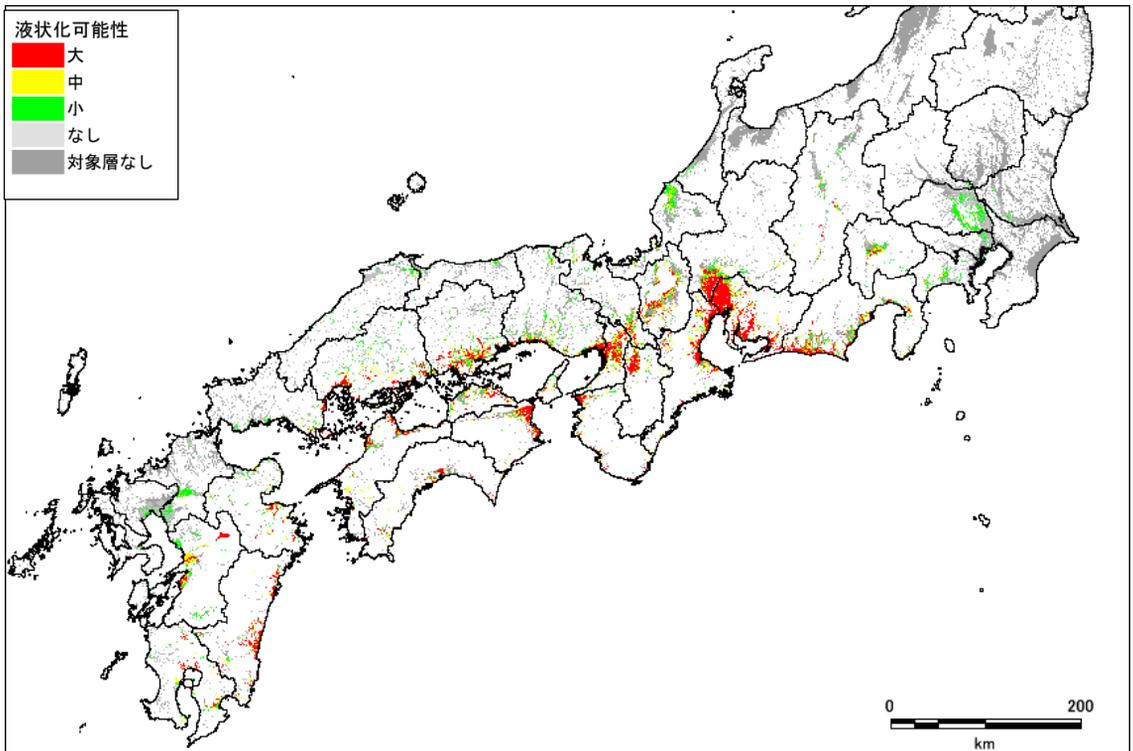


図4.28 液状化可能性の評価(陸側ケース)

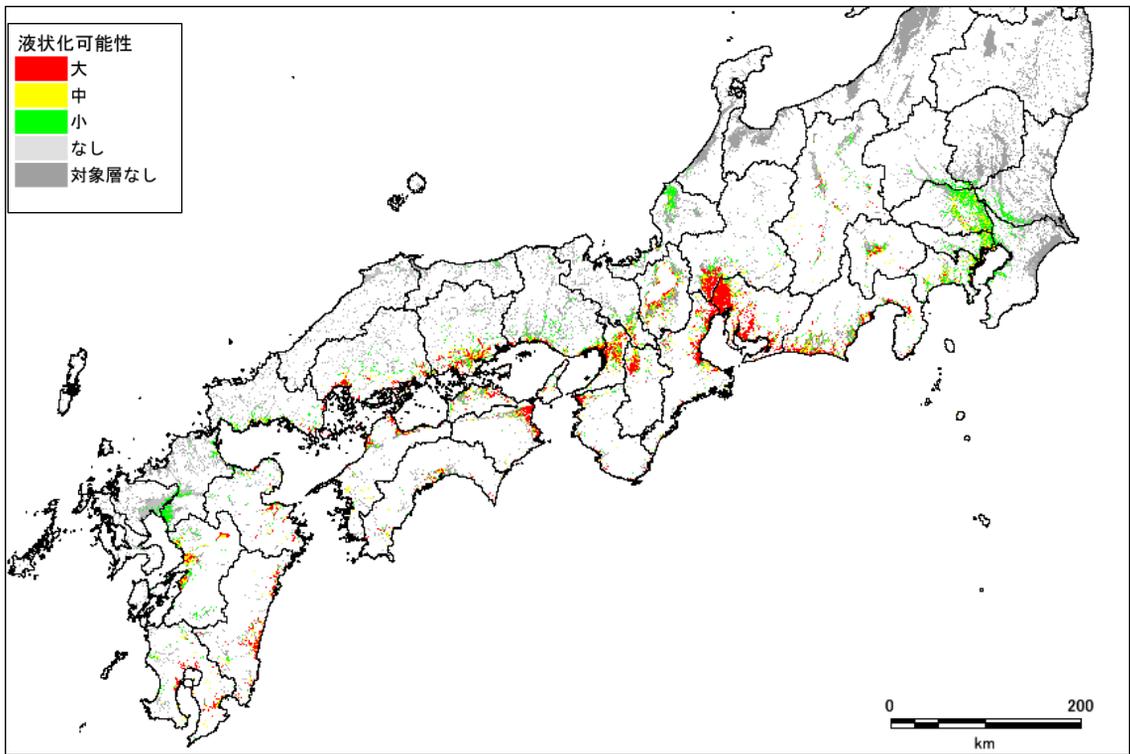


図4.29 液状化可能性の評価(経験的手法)

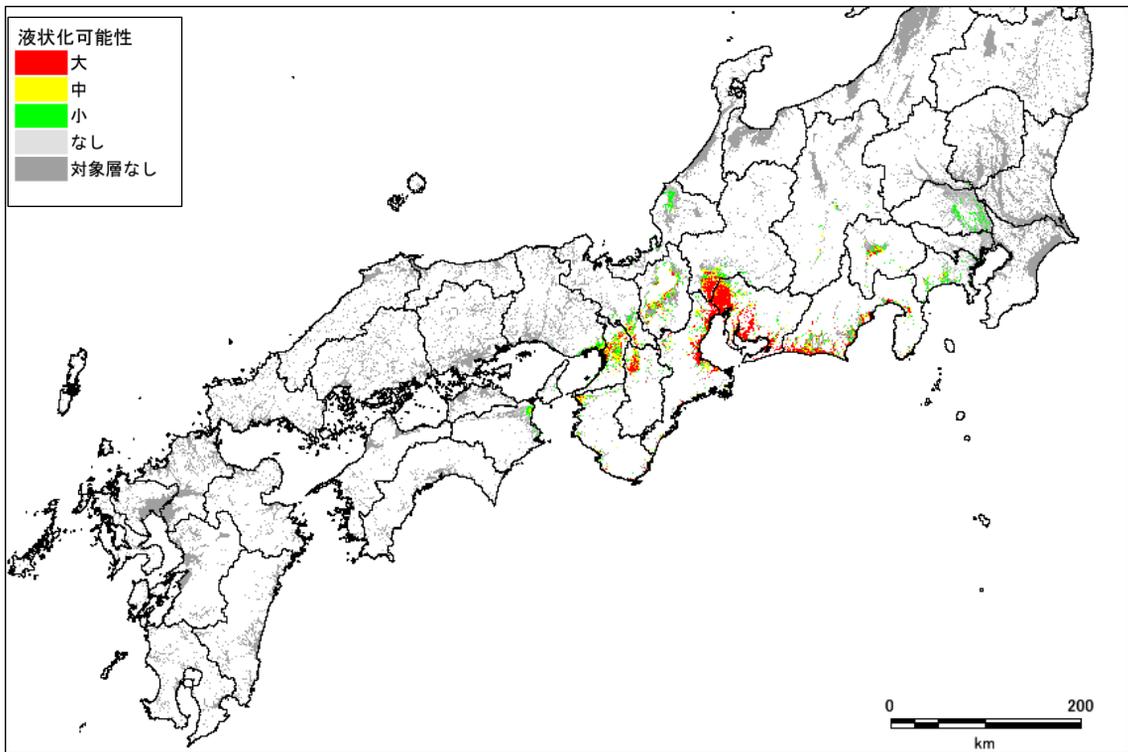


図4.30 液状化可能性の評価(東側半割れ、基本ケース)

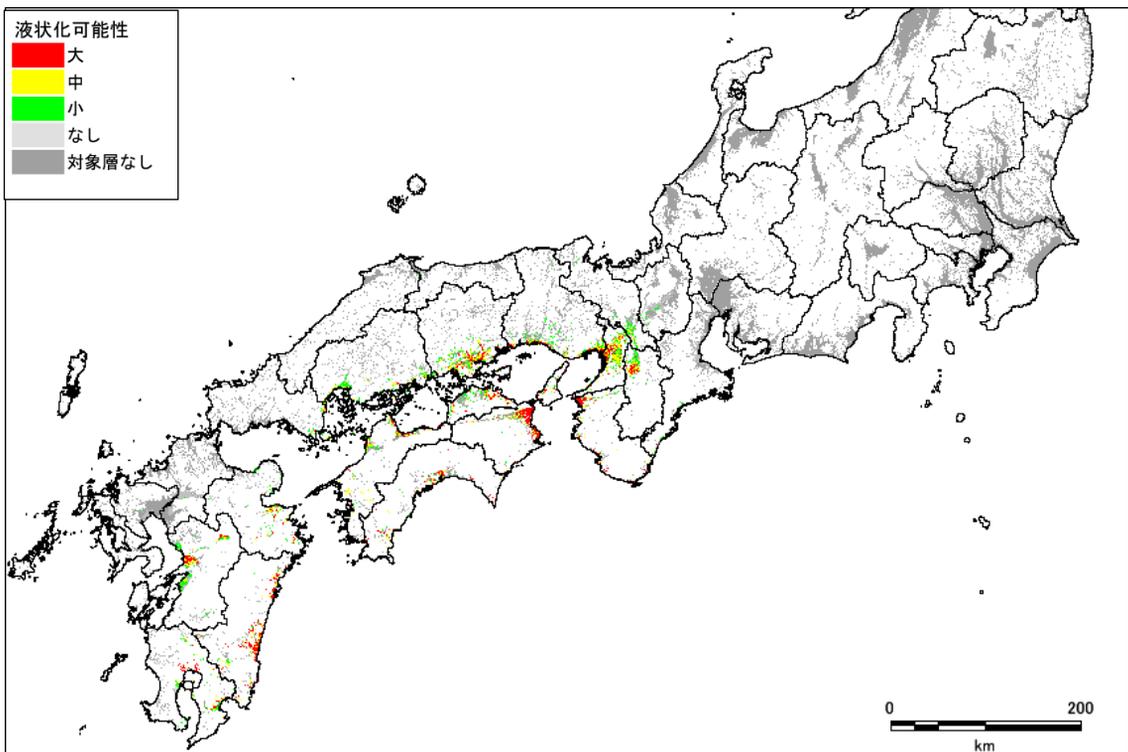


図4.31 液状化可能性の評価(西側半割れ、基本ケース)

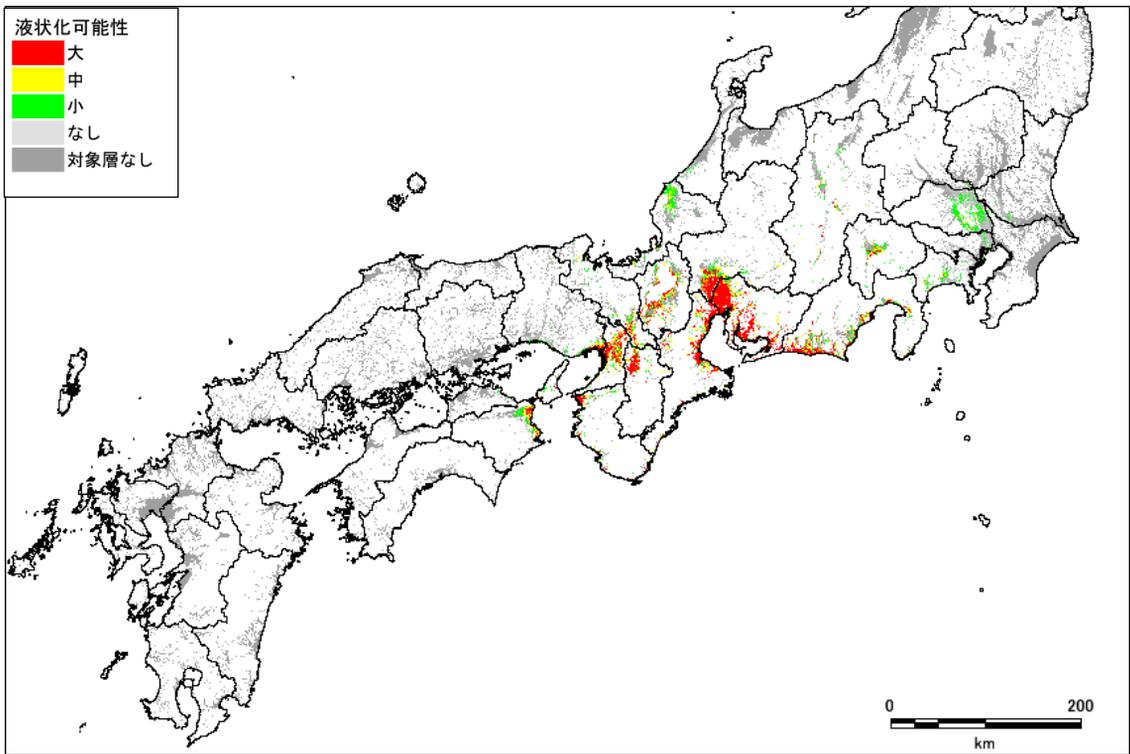


図4.32 液状化可能性の評価(東側半割れ、陸側ケース)

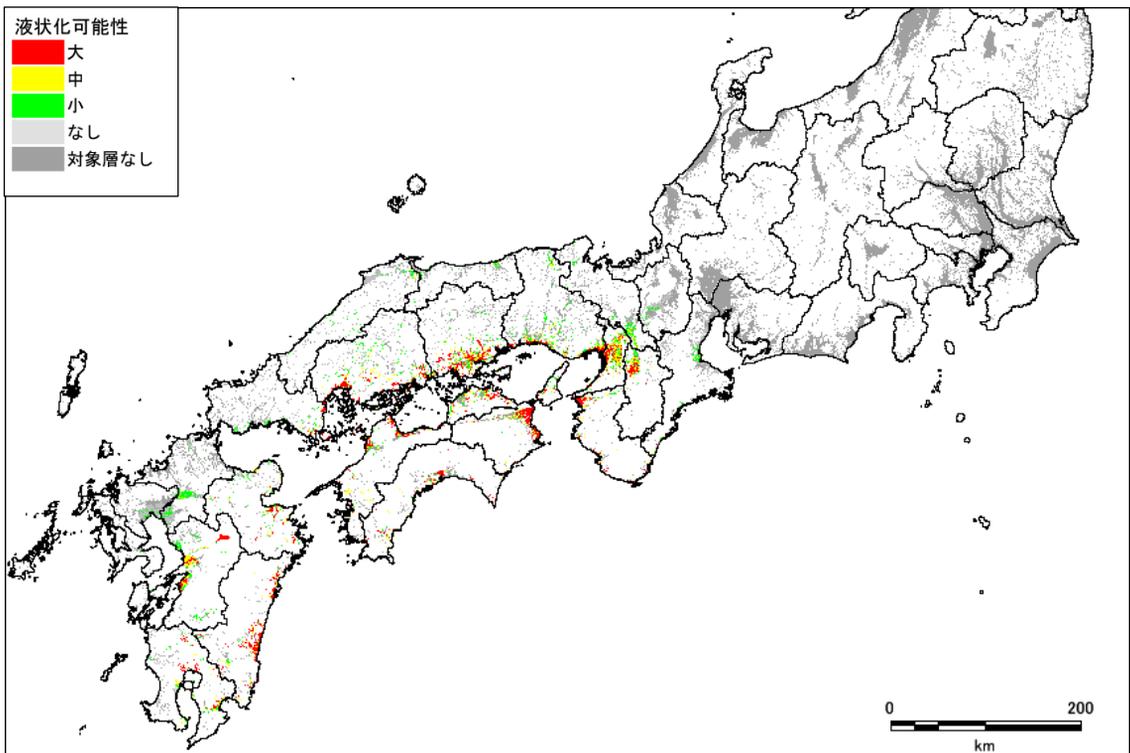


図4.33 液状化可能性の評価(西側半割れ、陸側ケース)

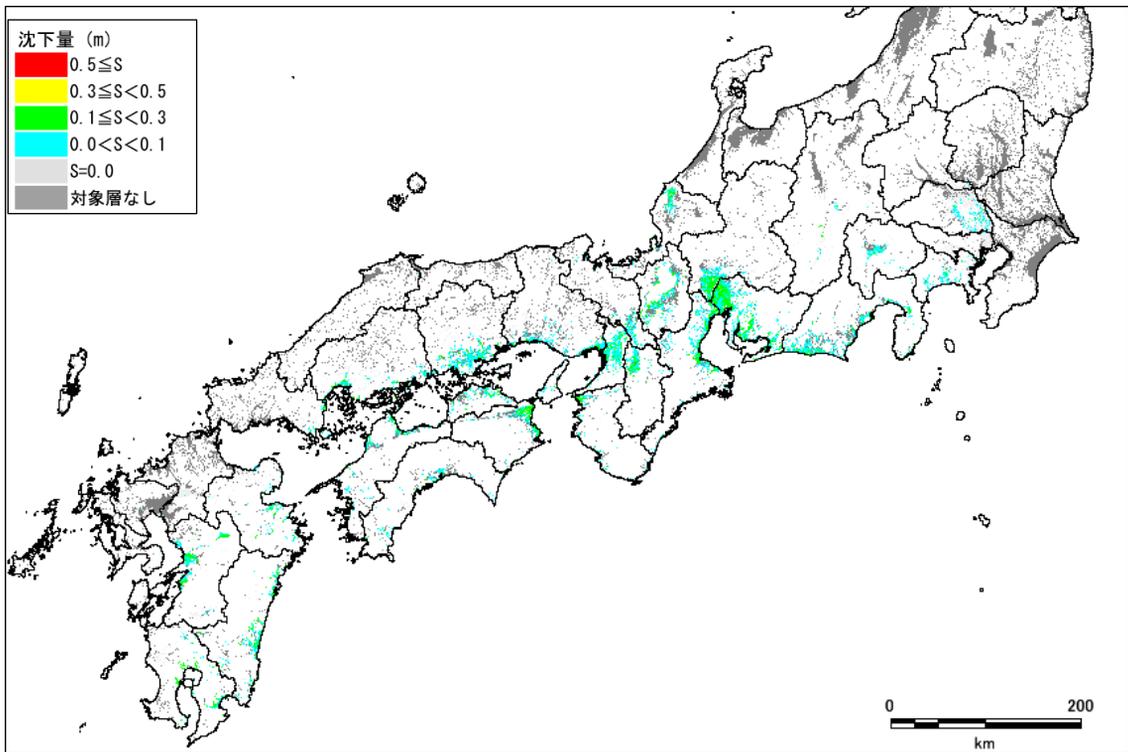


図4.34 液状化に伴う地盤の沈下量の推計結果(基本ケース)

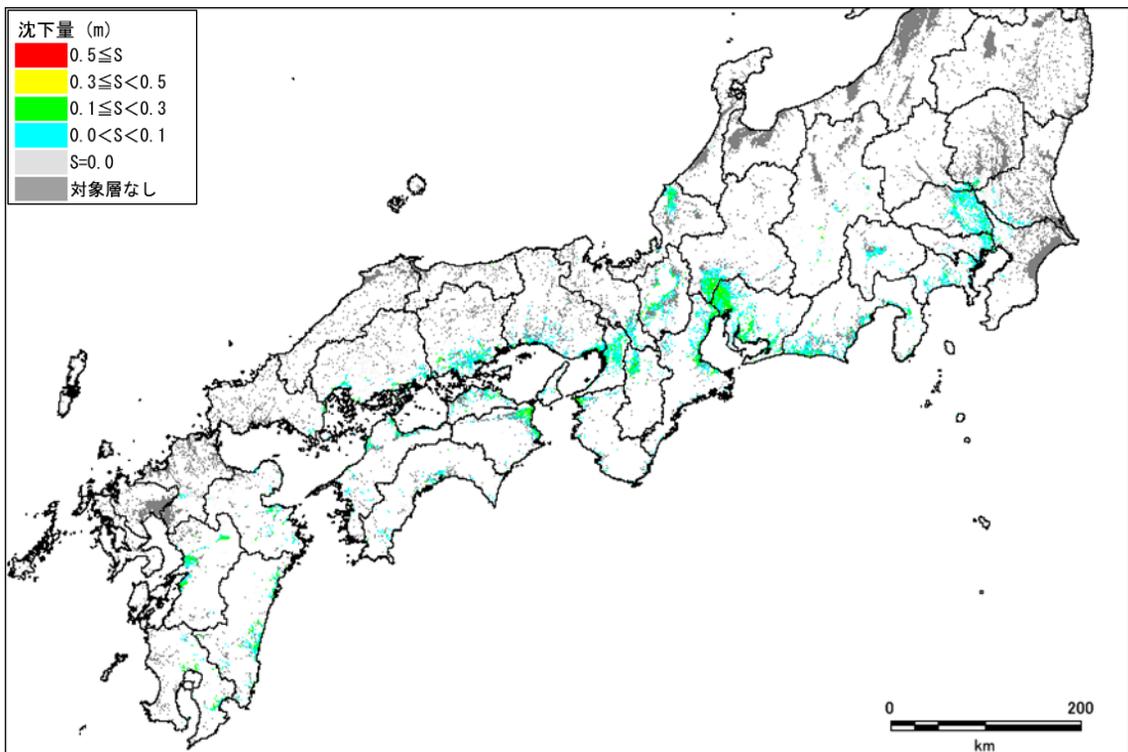


図4.35 液状化に伴う地盤の沈下量の推計結果(東側ケース)

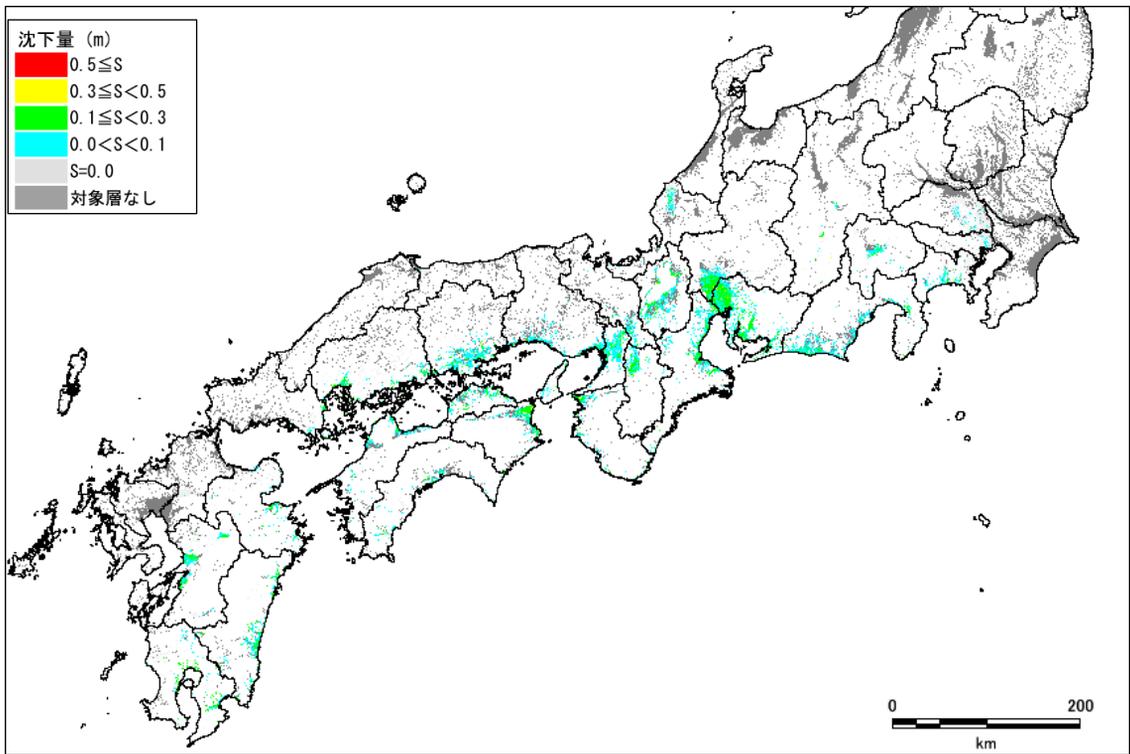


図4.36 液状化に伴う地盤の沈下量の推計結果(西側ケース)

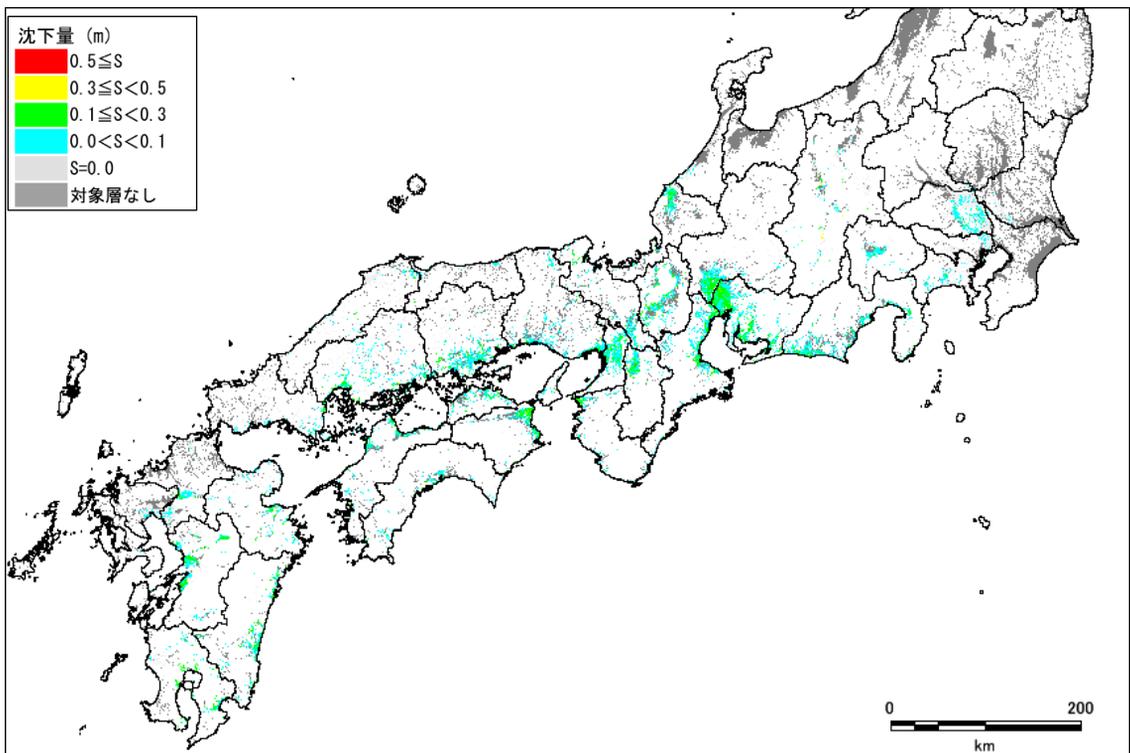


図4.37 液状化に伴う地盤の沈下量の推計結果(陸側ケース)

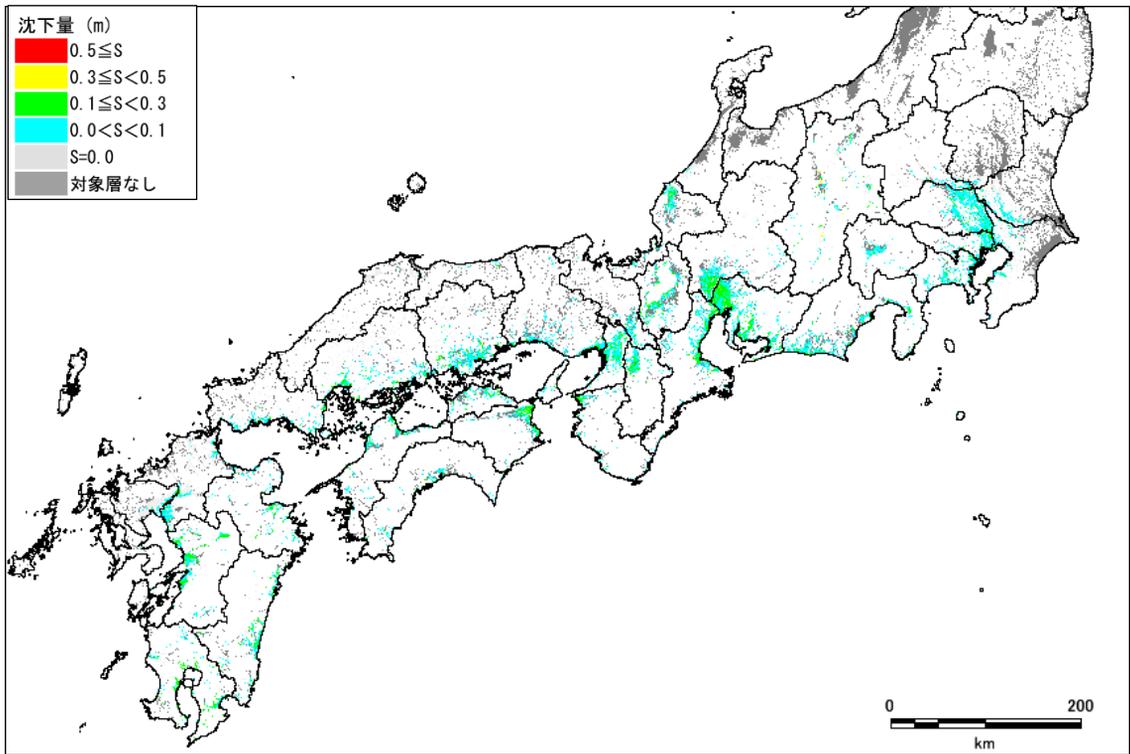


図4.38 液状化に伴う地盤の沈下量の推計結果(経験的手法)

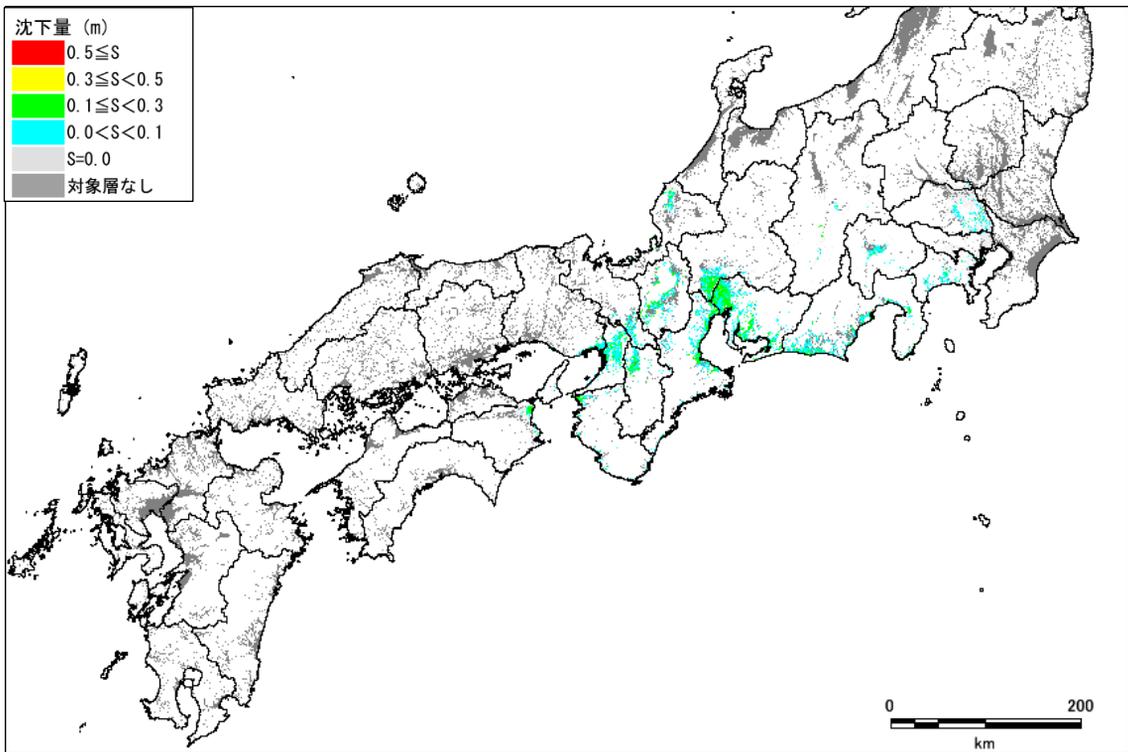


図4.39 液状化に伴う地盤の沈下量の推計結果(東側半割れ、基本ケース)

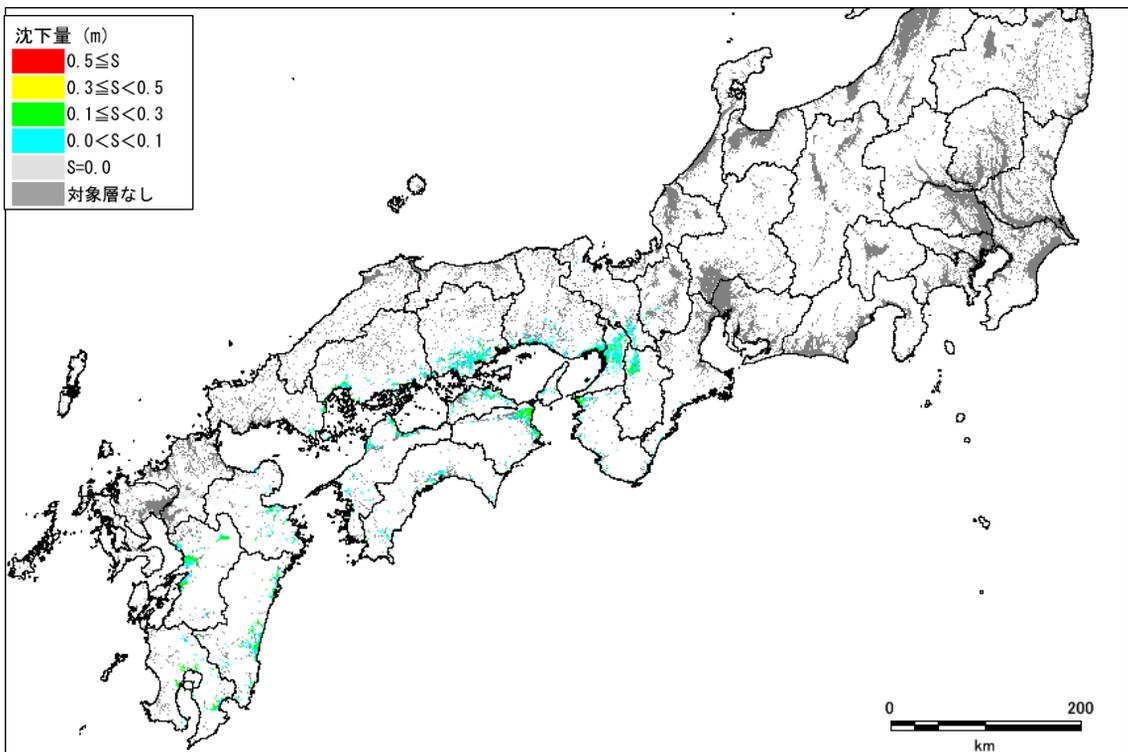


図4.40 液状化に伴う地盤の沈下量の推計結果(西側半割れ、基本ケース)

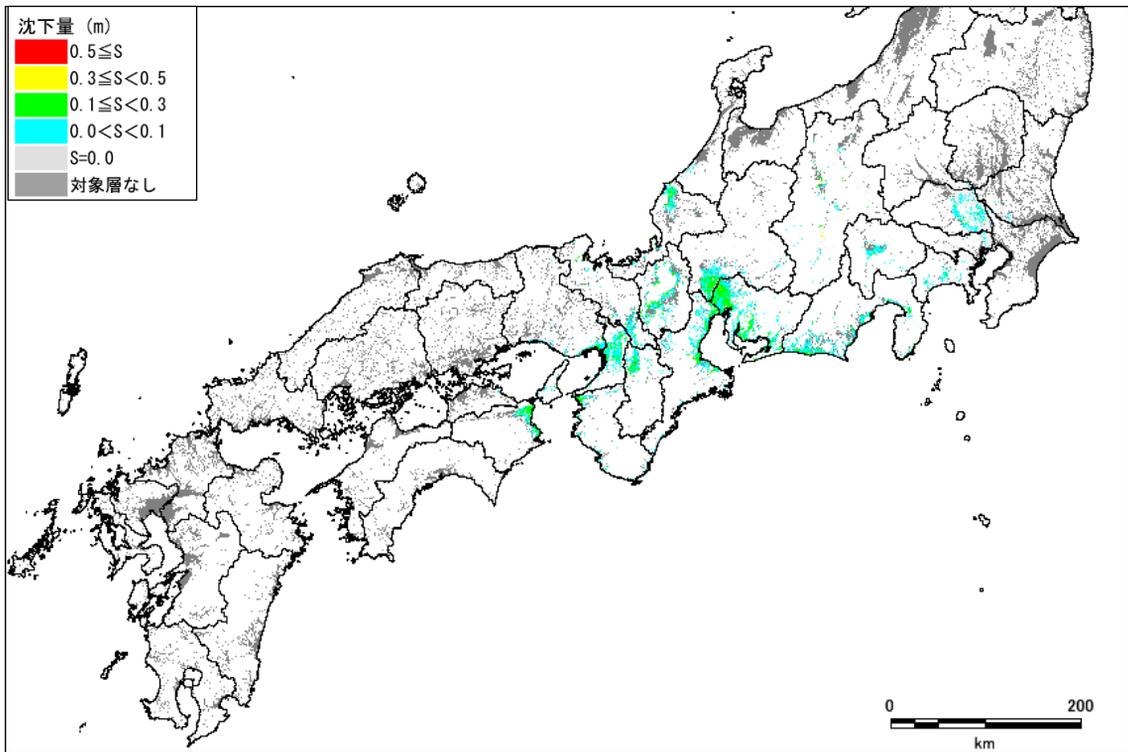


図4.41 液状化に伴う地盤の沈下量の推計結果(東側半割れ、陸側ケース)

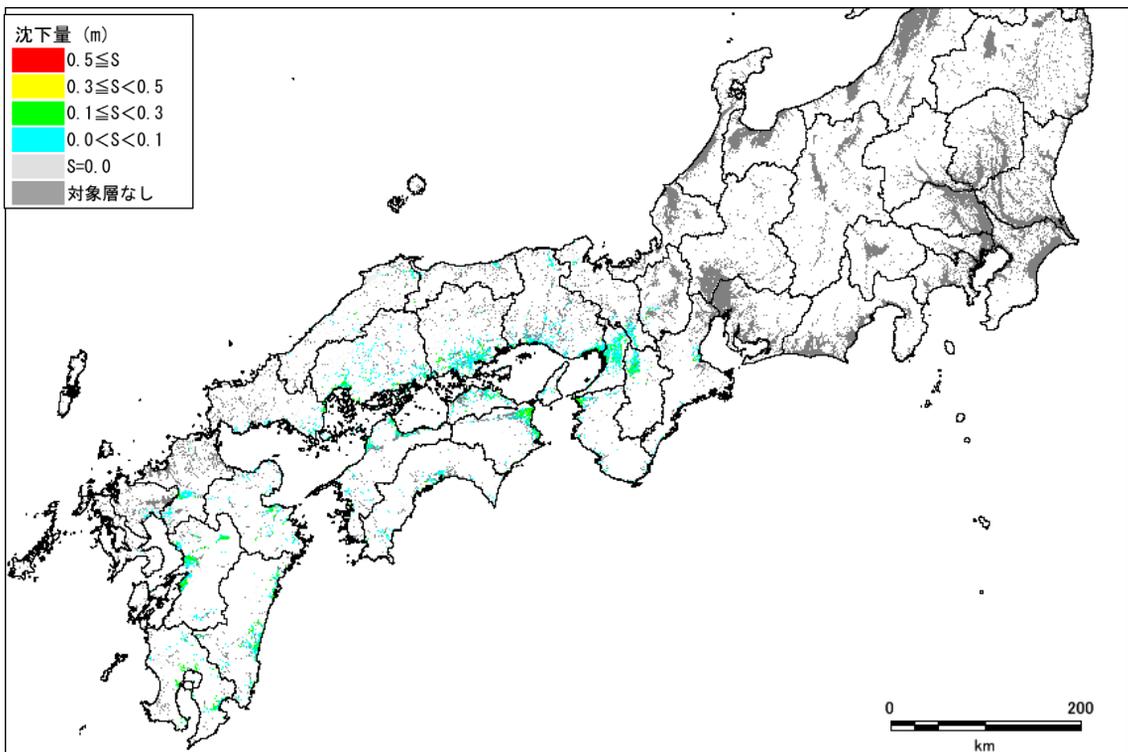


図4.42 液状化に伴う地盤の沈下量の推計結果(西側半割れ、陸側ケース)